

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

PXW-Z280V

ソフトウェアバージョン 6.0

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCAM™

XAVC

SXS

N™

MPEG HD422

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Exmor **R**
CMOS Sensor

目次

概要

各部の名称と働き	8
本体	8
画面表示	13
液晶画面 / ビューファインダー画面	13
ステータス画面	17

準備

電源	23
バッテリーパックを使う	23
コンセントにつないで使う	24
電源を入れる / 切る	24
時計を合わせる	25
機器を取り付ける	25
レンズフードを取り付ける	25
大型アイカップを取り付ける	25
画面を調節する	26
液晶画面を調節する	26
ビューファインダーを調節する	26
アサイナブルボタンで液晶画面 / ビューファインダー画面の 明るさを調節する	26
SxS メモリーカードを使う	27
SxS メモリーカードについて	27
SxS メモリーカードを入れる	27
SxS メモリーカードを取り出す	28
使用する SxS メモリーカードを切り替える	28
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	28
残りの記録可能時間を確認する	29
SxS メモリーカードを修復する	29
他のメディアを使う	30
XQD メモリーカード	30
SD カード	31
SD カードを修復する	32
ネットワークアクセス認証用のパスワードを設定する	33

基本操作手順	34
撮影手順	34
ズームする	35
フォーカスを調節する	36
撮影中に音声を聞く	37
基本設定を変更する	38
ビデオフォーマット	38
明るさを調節する	38
自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）	40
記録する音声を設定する	42
手ぶれ補正	44
タイムデータ	44
便利な機能を使う	45
ダイレクトメニュー操作	45
顔検出 AF	45
カラーバー / 基準音声信号	47
ショットマーク	47
OK/NG/ KEEP フラグ（exFAT、UDF）	47
レックレビュー	48
アサインابلボタン	48
インターバルレック	49
クリップコンティニューアスレック（exFAT、UDF）	50
ピクチャーキャッシュレック	51
スロー&クイックモーション	52
2 スロット同時記録	53
4K & HD (Sub) 記録	53
ハイダイナミックレンジ（HDR）撮影	54
フランジバックの自動調整	55
測位情報を取得する（GPS）	56
ボタン操作で音声チャンネルを切り替える	57
ブランニングメタデータ	58
ブランニングメタデータファイルを読み込む	58
ブランニングメタデータでクリップ名を設定する	59
ブランニングメタデータでショットマーク名を設定する	60
ブランニングメタデータファイルを転送する	61
プロキシ記録をする	61
本機で使用可能な SD カード	61
SD カードをフォーマット（初期化）する	61
残容量を確認する	62
プロキシ記録する	62
プロキシ記録時の設定を変更する	62
プロキシファイルを分割記録し、転送する	62
記録されるファイルについて	63
ファイルの保存先について	63

ファイル名について	63
プロキシデータのみ記録する	63
デバイスと LAN 接続する	64
ワイヤレス LAN アクセスポイントモード (Access Point モード) で接続する	64
ワイヤレス LAN ステーションモード (Station モード) で 接続する	66
LAN ケーブルを使用してデバイスと接続する	68
インターネット接続する	70
モデム / スマートフォンを使用して接続する	70
ワイヤレス LAN ステーションモード (Wi-Fi Station モード) で接続する	71
LAN ケーブルを使用して接続する	72
ネットワーク接続による対応機能一覧	73
ファイルを転送する	74
準備する	74
ファイルを選んで転送する	75
ファイルを自動転送する	76
セキュアな FTP 転送を行うには	76
映像・音声をストリーミング伝送する	77
ストリーミング伝送の伝送先とフォーマットを設定する	77
ストリーミングを開始する	77
ストリーミングを停止する	78
ネットワーククライアントモードについて	78
映像・音声を RTMP/RTMPS ストリーミング伝送する	82
RTMP/RTMPS ストリーミング伝送の伝送先とフォーマットを 設定する	82
RTMP/RTMPS ストリーミングを開始する	83
RTMP/RTMPS ストリーミングを停止する	84
Web リモコンを使用する	85
Web リモコンのメニューについて	87
モニタリング映像の設定「Monitoring Settings」	87
ファイル転送先設定「Upload Settings」	87
ファイル転送管理「File Transfer」	88

サムネイル画面

サムネイル画面の構成	91
クリップの再生	92
記録したクリップを再生する	92
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	92
再生中にショットマークを追加する (exFAT、UDF)	92
再生中の音声を聞く	92

クリップ操作	93
Thumbnail メニューの操作方法	93
クリップの詳細情報を表示する	94
クリップを保護する (exFAT、UDF)	95
クリップをコピーする	95
クリップを削除する	96
フラグを付ける / フラグを削除する (exFAT、UDF)	96
フィルタードクリップサムネイル画面で表示するクリップ を絞り込む (exFAT、UDF)	97
ショットマークを削除する (exFAT、UDF)	97
エッセンスマークサムネイル画面でクリップ (フレーム) を絞り込む (exFAT、UDF)	97
サムネイル画面、またはフィルタードクリップサムネイル 画面でクリップを転送する (exFAT、UDF、FAT)	98
サムネイル画面の情報を変更する	98
クリップの代表画を変更する	98

外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する	99
外部同期	100
パソコンでクリップを管理・編集する	102
USB ケーブルを使って接続する	102
外付け HDD / USB メディアを接続する	103

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	105
セットアップメニューの階層	105
セットアップメニューの操作方法	107
User メニューの編集	109
セットアップメニュー一覧	111
User メニュー	111
Edit User Menu	111
Camera メニュー	112
Paint メニュー	116
Audio メニュー	123
Video メニュー	124
LCD/VF メニュー	125
TC/UB メニュー	129
Recording メニュー	129
Thumbnail メニュー	132
Media メニュー	133
File メニュー	137

Network メニュー	138
System メニュー	145

設定データの保存と呼び出し

設定データ	153
設定データ保存に使用可能なメディア	153
メディアをフォーマット（初期化）する	153
残容量を確認する	154
ユーザーファイル、ALL ファイルを保存する	154
ユーザーファイル、ALL ファイルを呼び出す	154
シーンファイルを保存する	155
シーンファイルを呼び出す	156
File ID を変更するには	156

付録

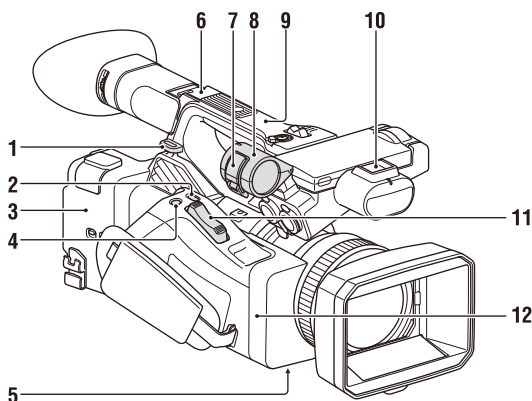
使用上のご注意	157
海外で使う	157
ビデオフォーマットについて	162
記録メディアについて	162
特殊記録の対応	163
クリップの最大記録時間	163
出力のフォーマットと制限	164
ビデオフォーマットと出力信号	164
ネットワークと映像出力の組み合わせ	168
記録機能間の制約	168
All File/Scene File に保存される項目	169
Camera	169
Paint	170
Audio	173
Video	173
LCD/VF	173
TC/UB	176
Recording	176
Thumbnail	176
Media	177
File	178
Network	178
System	181
トラブル時の対処	183
電源	183
記録・再生	183
外部機器	184
ワイヤレス LAN 使用時	184

インターネット接続	184
ND フィルターダイヤルについて	185
エラー / 警告 / 注意表示	186
エラー表示	186
警告表示	186
注意・動作確認表示	187
カメラの状態や各種設定が原因で操作が行えないときの 対応	189
ブロックダイアグラム	190
保証書とアフターサービス	193
保証書	193
アフターサービス	193
主な仕様	193
一般仕様	193
レンズ	195
カメラ部	195
ワイヤレス LAN	196
入出力	196
表示部	196
内蔵マイク	197
メディアスロット部	197
付属品	197
索引	199

各部の名称と働き

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。

本体



1. ショルダーストラップ取り付け部 (11)

2. ASSIGN7ボタン/DIRECT MENUボタン (48)

3. (Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です

4. ASSIGN8ボタン/FOCUS MAGボタン

5. ZOOMスイッチ (底面) (35)

6. マルチインターフェースシュー (Rear)

ni Multi
Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについては販売店にお問い合わせください。

ご注意

- ネジ付きのアクセサリを使用しないでください。マルチインターフェースシューが破損する場合があります。

7. マイク固定用クランパー

8. マイクホルダー (43)

9. GPSアンテナ

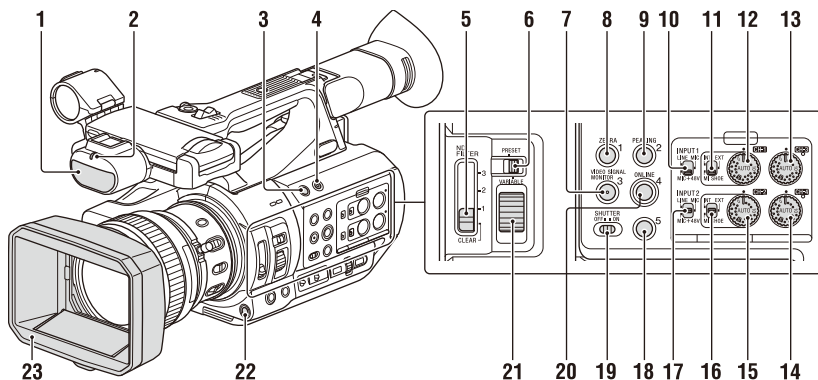
10. マルチインターフェースシュー (Front)

ご注意

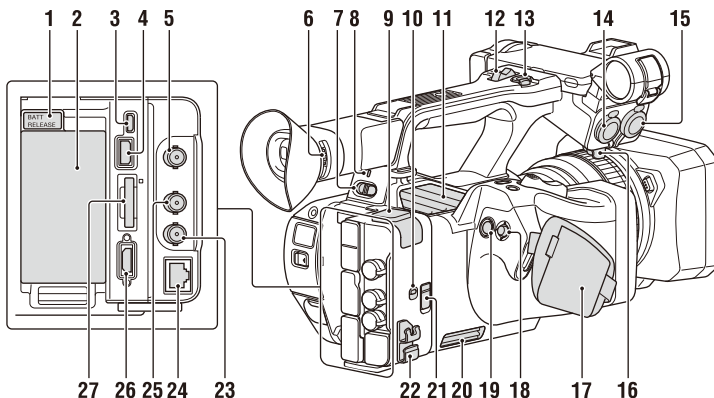
- ネジ付きのアクセサリを使用しないでください。マルチインターフェースシューが破損する場合があります。

11. ズームレバー (35)

12. Wi-Fiアンテナ



1. 内蔵マイク (42)
2. 記録/タリーランプ (Front) (150)
記録中に点灯します。
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
3. ASSIGN6ボタン
4. FULL AUTOボタン (34)
5. ND FILTERスイッチ
6. ND FILTERモード切り替えスイッチ
7. ASSIGN3ボタン/VIDEO SIGNAL MONITORボタン
8. ASSIGN1ボタン/ZEBRAボタン
9. ASSIGN2ボタン/PEAKINGボタン
10. INPUT1スイッチ (42)
11. CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ (42)
12. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル (42)
13. AUDIO LEVEL (CH3) ダイアル
14. AUDIO LEVEL (CH4) ダイアル
15. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル
16. CH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ
17. INPUT2スイッチ (42)
18. ASSIGN5ボタン
19. SHUTTERスイッチ
20. ASSIGN4ボタン/ONLINEボタン
21. NDコントロールダイヤル
22. WB SETボタン
23. レンズカバー付きフード (25)



1. BATT RELEASEボタン (23)
2. バッテリーバック装着部 (23)
3. マルチ/マイクロUSB端子 (102)
4. USB3.0 (HOST) 端子 (Aタイプ)
5. SDI OUT端子 (99)
6. 視度調節ダイヤル (26)
7. 電源スイッチ (24)
I : ON
O : STANDBY
8. 電源ランプ
9. USB2.0 (HOST) 端子 (Aタイプ) (70)
10. IN/OUT (入出力切り替え) スイッチ
11. 排気口
ご注意
 - 排気口周辺は、高温になるおそれがあります。
 - 排気口をふさがないでください。
12. ハンドルズームレバー (35)
13. ハンドル録画ボタン
HOLD位置にするとハンドル録画ボタンが効かなくなります。
14. AUDIO INPUT1端子 (42)
15. AUDIO INPUT2端子 (42)
16. ケーブルホルダー
マイクケーブルなどを固定するときに使います。
17. グリップベルト
18. マルチセクター (▲/▼/◆/SETボタン)
19. 録画ボタン (34)
20. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがないでください。

21. REMOTE端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、録画のスタート/ストップなどをコントロールできるようにした端子です。

22. ケーブルクランパー

ご注意

- ケーブル保持以外の用途には使用しないでください。

23. GENLOCK IN/VIDEO OUT端子

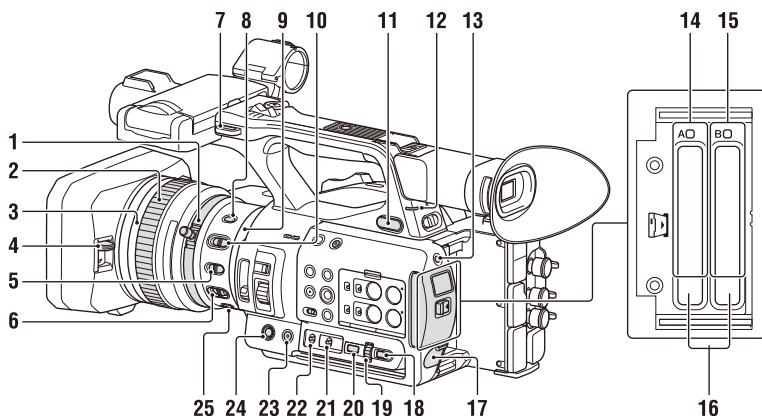
24. 有線LAN端子

25. TC IN/OUT端子

26. HDMI OUT端子 (99)

27. UTILITY SD/MSスロット/アクセスランプ

プロキシ記録、設定内容の保存・読み出し (File機能) と、バージョンアップ (ソフトウェアアップデート) 時に使用します。



1. ズームリング (36)

ご注意

- 電源スイッチをONにしてからレンズの初期動作が完了するまで動かさないください。フォーカスが合わなくなります。

2. フォーカスリング (36)

3. Full MFスイッチ (36)

フォーカスリングを前後に動かすことで、ON/OFFが切り替わります。

4. レンズカバーレバー (25)

レンズカバーを開閉します。

5. MACROスイッチ (37)

6. FOCUSスイッチ (36)

7. ショルダーストラップ取り付け部

8. STEADY SHOTボタン (44)

9. アイリスリング (38)

10. IRISスイッチ (38)

11. ϕ (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

12. 記録/タリーランプ (Rear) (150)

記録中に点灯します。

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

13. SLOT SELECTボタン

14. SxSメモリーカード Aスロット/アクセスランプ (27)

15. SxSメモリーカード Bスロット/アクセスランプ (27)

16. EJECTボタン

押すとEJECTボタンが飛び出します。もう一度押し込むとカードが取り出せます。

ご注意

- 記録中にEJECTボタンを押すと、記録が停止します。

17. DC IN端子

18. CANCEL/BACKボタン (107)

19. SEL/SETダイヤル (107)

20. MENUボタン (107)

ボタンに凸バー (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

21. WHT BALスイッチ (41)

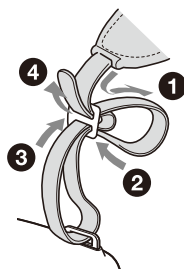
22. GAINスイッチ (39)

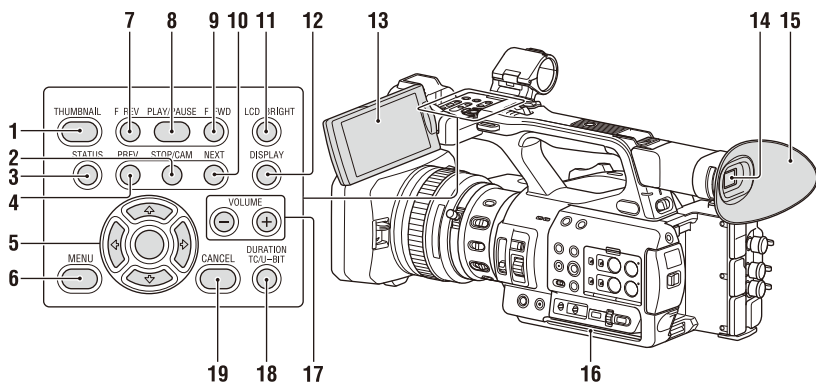
23. ASSIGN10ボタン/IRIS PUSH AUTOボタン

24. ASSIGN9ボタン

25. FOCUS PUSH AUTOボタン (36)

ショルダーストラップを取り付けるにはショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。





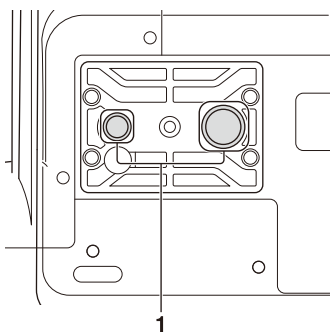
1. THUMBNAILボタン (91)
2. STOPボタン (92)
3. STATUS CHECKボタン (17)
4. PREVボタン (92)
5. 4/2/1/2/4/SETボタン (107)
6. MENUボタン (107)
7. F REVボタン (92)
8. PLAY/PAUSEボタン (92)
9. F FWDボタン (92)
10. NEXTボタン (92)
11. LCD BRIGHTボタン (26)
12. DISPLAYボタン (13)
13. 液晶画面 (26)
14. ビューファインダー (26)
15. 大型アイカップ
16. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがらないでください。

17. VOLUMEボタン (37)
18. DURATION/TC/U-BITボタン (44)
19. CANCEL (キャンセル) ボタン (107)

底面



1. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ、3/8インチ)
1/4-20UNC、3/8-16UNCのネジに対応
三脚 (別売、ネジの長さ5.5mm以下) を
取り付けます。

画面表示

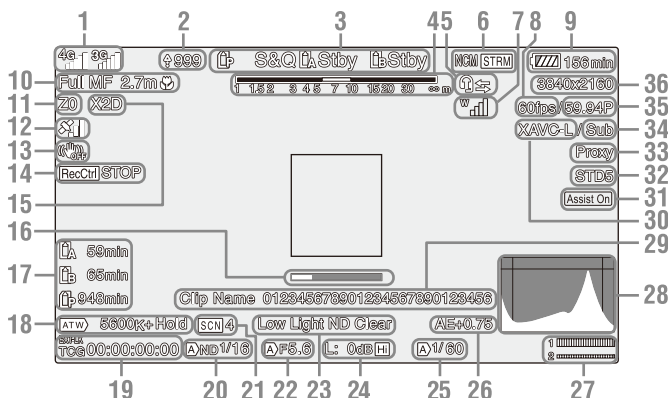
液晶画面/ビューファインダー画面

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、液晶画面/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（127ページ）。

撮影中の画面に表示される情報



1. ネットワーク状態表示（15ページ）

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

2. アップロード中表示/転送ファイル残数表示

3. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示

●Rec	記録中
Stby	記録待機中

4. 被写界深度表示

5. インカム表示（16ページ）

インカム接続の状態がアイコンで表示されます。

6. ネットワーククライアントモード状態表示（16ページ）

ストリーミング状態表示（16ページ）

RTMP/RTMPSストリーミング状態表示（16ページ）

7. デジタルUWPのRFレベル表示（16ページ）

デジタル接続ワイヤレスオーディオレシーバー使用時の電波強度を示すRFレベルがアイコンで表示されます。

8. スロー&クイックモーション撮像フレームレート表示

9. バッテリー残量/DC IN電圧表示

10. フォกัสモード表示（45ページ）

Full MFモード	Full MF
MFモード	MF
AFモード	AF

顔検出AF (AF/□/Only/※/□)	
顔検出アイコン	□
顔限定AFアイコン	Only
登録顔ありアイコン	※
顔限定AF中のAF一時停止アイコン ^{a)}	□

a) 顔が登録されていない状態で顔が検出されないとき、または顔が登録されているが登録顔が検出されないときに表示されます。

ご注意

- 被写界深度の数値は目安です。

11. ズームポジション表示

ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

12. GPS状態表示

13. 手ぶれ補正モード表示

14. SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示

LCD/VFメニューのDisplay On/OffのSDI/HDMI Rec Controlと、VideoメニューのSDI/HDMI Rec ControlのSettingがともにOnのときに表示されます。

15. デジタルエクステンダー表示

16. フォーカスアシスト表示

ご注意

- 顔検出AFを使用しているときは表示できません。

17. メディア残量表示

18. ホワイトバランスモード表示

ATW	自動モード
ATW Hold	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリー A モード
W:B	メモリー B モード

19. タイムコード表示（44ページ）

20. NDフィルター表示（39ページ）

21. シーンファイル表示（153ページ）

22. アイリスポジション表示

23. 映像レベル注意表示

24. ゲイン表示（39ページ）

25. シャッターモード/シャッタースピード表示

26. AEモード/AEレベル表示

27. オーディオレベルメーター

CH1とCH2またはCH3とCH4のオーディオレベルを表示します。

AudioメニューのAudio OutputのMonitor CH（124ページ）の設定によって、以下のように表示されます。

Monitor CHの設定	表示チャンネル
CH1/CH2	CH1/CH2
CH3/CH4	CH3/CH4
MIX ALL	CH1/CH2
CH1	CH1/CH2
CH2	CH1/CH2
CH3	CH3/CH4
CH4	CH3/CH4

ステータス画面でもオーディオレベルを確認できます。

28. VIDEO SIGNAL MONITOR表示（波形モニター/ベクトルスコープ/ヒストグラム表示）

ご注意

- VideoメニューのOutput Format設定が3840x2160Pのときは表示できません。
- VideoメニューのOutput On/OffのSDIがOffに設定されているときは表示できません。

29. クリップ名表示

30. 記録フォーマット（コーデック）表示（146ページ）

SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

31. ガンマ表示アシスト表示

32. ガンマ表示

HDRモード時のガンマ表示値は116ページ、SDRモード時のガンマ表示値は118ページをご覧ください。

33. プロキシ状態表示

Proxy	プロキシ記録On
Proxy Rec	プロキシ記録中
Proxy Rec	プロキシ記録準備中（点滅）
PxChunk	プロキシ分割記録On
PxChunk Rec	プロキシ分割記録中
PxChunk Rec	プロキシ分割記録準備中（点滅）

34. 4K & HD（Sub）記録表示

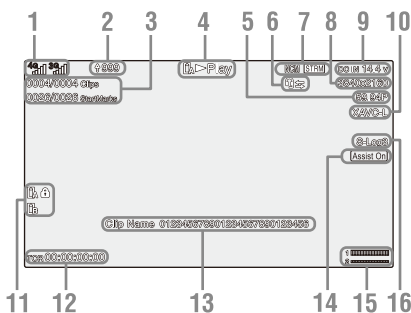
35. システム周波数とスキャン方式表示

36. 記録フォーマット（画サイズ）表示（146ページ）

SxSメモリーカードに記録される画サイズを表示します。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. ネットワーク状態表示

2. アップロード中表示/転送ファイル残数表示

3. クリップ番号/クリップ総数

4. 再生モード表示

5. 再生フォーマット（フレームレート）表示

6. インカム表示

7. ネットワーククライアントモード状態表示

ストリーミング状態表示

RTMP/RTMPSストリーミング状態表示

8. 再生フォーマット（画サイズ）表示

9. バッテリー残量/DC IN電圧表示

10. 再生フォーマット（コーデック）表示

11. メディア表示

メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に🔒マークが表示されます。

12. タイムデータ表示

LCD/VFメニューのDisplay On/OffのTimecodeがOnのとき、画面を表示した状態でDISPLAYボタンを押すと表示されます。

13. クリップ名表示

14. ガンマ表示アシスト表示

15. オーディオレベルメーター

16. ガンマ表示

ネットワーク接続のアイコン表示

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	AP
	アクセスポイント動作エラー	APx
ステーションモード	Wi-Fi接続中	
	電波強度によりアイコンが変化（4段階）	
	Wi-Fi接続断（準備中含む）	
	Wi-Fi接続エラー	
モデム/スマートフォン	3G/4G接続中	3G接続中
	電波強度によりアイコンが変化（5段階）	
		4G接続中
		3G/4Gが判別できないネットワークに接続中
	3G/4G接続断（準備中含む）	
	3G/4G接続エラー	
有線LAN	電波強度を通知しないモデム/スマートフォンなどが接続されているため電波強度が不明	
	LAN接続中	
	LAN接続断（準備中含む）	
	LAN接続エラー	

〈モデムを2台接続したときの表示例〉

接続状態	アイコン
Modem 1のみ使用中	
Modem 2のみ使用中	
両方とも使用中	

インカム接続のアイコン表示

接続状態	アイコン
<ul style="list-style-type: none"> Network Client ModeがOff 	なし
<ul style="list-style-type: none"> Network Client ModeがOnでヘッドセットが未接続 	
<ul style="list-style-type: none"> Network Client ModeがOn ヘッドセット接続中 インカムには未接続だが接続可能（接続待機状態） 	
<ul style="list-style-type: none"> Network Client ModeがOn ヘッドセット接続中 インカム接続不可状態 	
<ul style="list-style-type: none"> Network Client ModeがOn ヘッドセット、インカムともに接続中で正常通話可能状態 	

ネットワーククライアントモードのアイコン表示

Network→ Network Client Mode→Setting の設定	接続状態	アイコン
Off	－	なし
On	通常	
	接続断（接続待機）	
	接続エラー	

ストリーミングのアイコン表示

Network→ Streaming→ Settingの設定	接続状態	アイコン
Off	－	なし
On	通常（ストリーミング送信中）	
	設定中（ストリーミング送信へ移行中）	
	送信エラー	

RTMP/RTMPS ストリーミングのアイコン表示

Network→ RTMP/ RTMPS→ Settingの設定	接続状態	アイコン
Off	－	なし
On	通常（RTMPストリーミング送信中）	
	設定中（RTMPストリーミング送信へ移行中）	
	送信エラー	

デジタル UWP の RF レベルのアイコン表示

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源OFF	未受信	
通常送信状態	受信中	 (受信レベルを4段階で表示)
ミュート状態	受信中（ミュート中）	
バッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)

ステータス画面

ステータス画面で、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面の操作

ステータス画面を表示させるには

- STATUS CHECKボタンを押す

ステータス画面を切り替えるには

- SEL/SETダイヤルを回す、または▲/▼ボタンを押す

ステータス画面を消すには

- STATUS CHECKボタンを押す

カメラステータス画面

撮影画質やズームの設定、状態を表示します。

White Switch	ホワイトバランスのメモリー Bの調整値
White Switch<A>	ホワイトバランスのメモリー Aの調整値
White Switch<P>	Preset Whiteの設定値
ND<Preset>	ND FilterのPreset1～3の設定値
Zebra1	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル
Zebra2	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
Gamma	Gammaカテゴリとカーブ
Gain Switch	Gain<L>、Gain<M>、Gain<H>の設定値
Handle Zoom Speed	Handle Zoomの設定値
Scene File	使用中のScene FileとそのFile ID

オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

CH1のレベルメーター	CH1のレベルメーター
CH1 Source	CH1の入力ソース
CH1 Ref. /Level	CH1に入力されたINPUTのリファレンスレベル

CH1 Wind Filter	CH1に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH2のレベルメーター	CH2のレベルメーター
CH2 Source	CH2の入力ソース
CH2 Ref. /Level	CH2に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH2 Wind Filter	CH2に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH3のレベルメーター	CH3のレベルメーター
CH3 Source	CH3の入力ソース
CH3 Ref. /Level	CH3に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH3 Wind Filter	CH3に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH4のレベルメーター	CH4のレベルメーター
CH4 Source	CH4の入力ソース
CH4 Ref. /Level	CH4に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH4 Wind Filter	CH4に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
HDMI Output CH	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Analog Output CH	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Monitor CH	モニターチャンネルの設定状態
Headphone Out	ヘッドホン出力方式の設定状態

システムステータス画面

ビデオ信号の設定を表示します。

Frequency/Scan	システム周波数と走査方式の設定値
File System	File Systemの設定値
Codec	Codecの設定値
Simul Rec	2スロット同時記録機能のOn/Off設定
Title Prefix	クリップ名のタイトル部分

Picture Size	録画フォーマットの画サイズ
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Clip Continuous Rec	Clip Continuous RecのOn/Off状態
Picture Cache Rec	Picture Cache RecのOn/Off状態と設定値
Number	クリップ名の最後の数値部分
Shooting Mode	撮影モードの設定値
4K & HD (Sub) Rec	4K & HD (Sub) 記録機能のOn/Off状態
Proxy Rec	プロキシ記録のOn/Off状態と設定値
Genlock	ゲンロックの状態

ビデオアウトプットステータス画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

SDI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
HDMI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
VIDEO	出力画サイズ 出力On/Off
Gamma	Gammaの設定値
Color Gamut	色域の設定値
Gamma Display Assist	ガンマ表示アシストの設定値

アサインブルボタンステータス画面

各アサインブルボタンに割り当てた機能を表示します。

1	Assign1ボタンに割り当てられている機能
2	Assign2ボタンに割り当てられている機能
3	Assign3ボタンに割り当てられている機能
4	Assign4ボタンに割り当てられている機能
5	Assign5ボタンに割り当てられている機能
6	Assign6ボタンに割り当てられている機能

7	Assign7ボタンに割り当てられている機能
8	Assign8ボタンに割り当てられている機能
9	Assign9ボタンに割り当てられている機能
10	Assign10ボタンに割り当てられている機能

バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量 (%)
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量 (Ah)
Voltage	電圧 (V)
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Video Light Remaining	ビデオライトバッテリー残量表示
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

メディアステータス画面

記録メディア（SxSメモリーカードA/SxSメモリーカードB）およびUTILITYメディアの残量、残記録可能時間、寿命データを表示します。

メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアAのプロテクト情報	Aスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアAの残時間	現在と同じ状態でAスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアAの寿命	Aスロットに寿命データが入手可能なメディアが挿入されているときに、%単位で表示

メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアBのプロテクト情報	Bスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアBの残時間	現在と同じ状態でBスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアBの寿命	Bスロットに寿命データが入手可能なメディアが挿入されているときに、%単位で表示
UTILITYメディアのメディア情報	UTILITY SD/MSスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
UTILITYメディアのプロテクト情報	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
UTILITYメディアの残量メーター	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
UTILITYメディアの残量	UTILITY SD/MSスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示。または残容量を単位GBで表示する

個別 REC トリガー設定状態画面

録画ボタンとハンドドル録画ボタンの設定状態を表示します。

Rec Button	録画ボタンで記録するスロットを表示する
Handle Rec Button	ハンドドル録画ボタンで記録するスロットを表示する

GPS ステータス画面

GPSの測位状態と情報を表示します。

GPS	GPS信号の測位状態
Dilution Of Precision	測位精度の情報
Latitude	緯度情報
Longitude	経度情報
Altitude	高度情報
Positioning date and time	測位日時
Current date and time	現在日時
Time Zone	Time Zoneの設定値

ネットワークステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

Wireless LAN	ワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Wired LAN	有線LANネットワークの設定、接続状態
Modem 1	モデム/スマートフォンによるワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Modem 2	モデム/スマートフォンによるワイヤレスネットワークの設定、接続状態

Wireless LAN の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	ワイヤレスLAN設定がOFF
Access Point Mode	Non Active	アクセスポイントとして動作していない状態 Wi-Fiチップ故障時に表示
	Active	アクセスポイントとして動作中

Setting表示	Status表示	説明
Station Mode	Non Active	ステーションモードとして動作していない状態 Wi-Fiチップ故障時に表示
	Searching	前回接続したネットワーク（アクセスポイント）に接続しようとしている状態
	Disconnected	ネットワーク（アクセスポイント）に接続していない状態 DHCPでIPアドレスが割り当てられていない場合もこの状態になる
	<SSID>	<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）と接続している状態

Wired LAN の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	有線LAN設定がOFF
On	Disconnected	ネットワークと切断している状態 DHCPでIPアドレスが割り当てられていない場合もこの状態になる
	Connected	ネットワークと接続している状態

Modem 1 および Modem 2 の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	モデム/スマートフォン設定がOFF

Setting表示	Status表示	説明
On	Disconnected	ネットワークに接続していない状態
	Connected	ネットワークに接続している状態
	Connecting	ネットワークに接続しようとしている状態
	No Modem	モデム dongle が挿入されていない、またはスマートフォンが接続されていない状態

NCM/ ストリーミングステータス画面

ネットワーククライアントモードの接続状態とストリーミングの状態を表示します。

Network Mode Status	ネットワーク機能（ネットワーククライアントモード、ストリーミング、RTMP/RTMPSストリーミング）の接続状態
CCM Name	ネットワーククライアントモード時に接続中の CCM の名称
CCM Address	ネットワーククライアントモード時に接続中の CCM のアドレス
QoS Streaming1 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート1
QoS Streaming2 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート2
Streaming Status	ストリーミングの配信状態
Streaming Format	ストリーミングのフォーマット情報
Streaming Type	現在選択しているストリーミング設定の種別
Streaming Destination Address.	ストリーミングの送信先アドレス

Streaming Audio Channel	ストリーミング出力に乗せるオーディオチャンネルの設定値
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> RTMP/RTMPSストリーミング中はCH1/CH2固定です。 </div>	

Network Mode Status の内容

ネットワーククライアントモード、およびRTMP/RTMPSストリーミングの表示

状態表示	説明
Off	ネットワーククライアントモード、RTMP/RTMPSストリーミングがOFF
CCM: Connected	ネットワーククライアントモードがONでCCMに接続しており、CCMからの制御が可能な状態
CCM: Connecting	CCMへの接続をしようとしている状態
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> CCM: Connectingのまま状態が変化しない場合は、CCMのアドレス設定が間違っている可能性があります。正しいアドレスが設定されているか確認してください。 </div>	
CCM: Dest-Addr. Error	接続先のCCMのホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性がある
CCM: Auth. Failed	CCMに接続するためのユーザー名またはパスワードが間違っている可能性がある
CCM: No Network Access	ネットワーククライアントモードでネットワークに接続できないネットワークの接続状況および設定を確認が必要
CCM: Cert. Not Valid Yet	CCMの証明書が有効ではない日付設定が間違っている可能性がある

状態表示	説明
CCM: Cert. has Expired	CCMの証明書の期限が切れている日付設定が間違っている可能性がある
CCM: Root Cert. Error	CCMのルート証明書が不正
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。 </div>	
CCM: Inter. Cert. Error	CCMの中間証明書が不正
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。 </div>	
CCM: Server Cert. Error	CCMのサーバー証明書が不正
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。 </div>	
RTMP: Connected	RTMPサーバーに接続しており、RTMP/RTMPSストリーミングが可能な状態
RTMP: Connecting	RTMPサーバーに接続をしようとしている状態
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> RTMP: Connectingのまま状態が変化しない場合は、RTMPサーバーのアドレス設定が間違っている可能性があります。正しいアドレスが設定されているか確認してください。 </div>	
RTMP: Dest. Addr. Error	接続先のRTMPサーバーのホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性がある
RTMP: No Network Access	RTMPストリーミングでネットワークに接続できないネットワークの接続状況および設定を確認が必要

状態表示	説明
RTMP: Server Cert. Error	RTMPストリーミング接続で、サーバー証明書が不正

Streaming Statusの表示

状態表示	説明
Off	ストリーミングがOFF
Distributing	ストリーミングの送信中
Preparing	ストリーミングの送信準備中
Destination Address Error	送信先のホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性がある
No Network Access	ネットワークに接続できない ネットワークの接続状況および設定の確認が必要

ファイル転送ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

Auto Upload	Auto UploadのOn/Off状態
Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy) のOn/Off/Chunk状態
Total Transfer Progress	総ジョブの転送進捗状況
Default Upload Server	自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバー名
Job Status (Remain / Total)	総ジョブ数と残りのジョブ数
Current File Transfer Progress	転送中ファイルの転送進捗状況
Current Transferring File Name	転送中のファイル名
Server Address	ファイル転送先サーバーのアドレス
Destination Directory	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

ACアダプターを接続した場合は、バッテリーパックが装着されていても、ACアダプターが優先されます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック（別売）

BP-Uシリーズ

AC アダプター / チャージャー（別売）

BC-U1A

BC-U2A



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

- コンセントにつないで使うときは、ACアダプターをご使用ください。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（10ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（10ページ）を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、引き抜きます。

ご注意

- 装着する前に、専用のチャージャー BC-U1AまたはBC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- BP-U35は、モデム/スマートフォンと同時に使用できません。モデム/スマートフォンを使用する場合は、BP-U60、BP-U60T、BP-U90を使用してください。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくな

ります。BP-U90は三脚などに本機を固定して長時間撮影をする場合などに便利です。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、液晶画面/ビューファインダー画面（13ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low Battery状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅とブザー音で警告します。

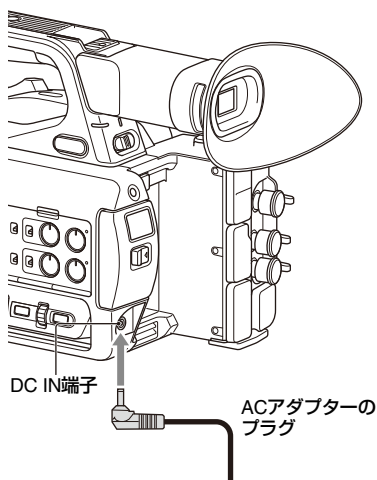
さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（Battery Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low Batteryはフル充電の10%、Battery Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、SystemメニューのBattery Alarm（151ページ）で変更することもできます。

コンセントにつないで使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



- 1 電源コードをACアダプターにつなぐ。
- 2 ACアダプターを本体のDC IN端子につなぐ。
- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないで本体を充電することはできません。

電源を入れる/切る

電源を入れるときは、電源スイッチ（10ページ）をON（**I**の位置）にします。電源を切るときは、電源スイッチをSTANDBY（**o**の位置）にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチをSTANDBYにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをSTANDBYにして電源ランプが消えてから取り外してください。ONのまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面と液晶画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

▲/▼/◆/▶ボタン（10ページ）またはSEL/SETダイヤル（11ページ）でカーソルを移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して各項目を設定します。
最後にカーソルをFinishに合わせてSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、設定画面が消え、時計合わせが完了します。

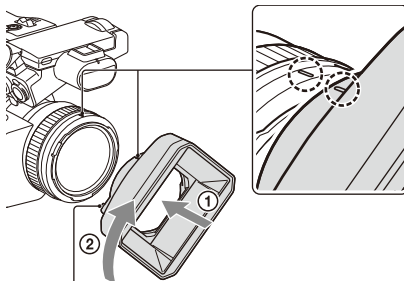
設定画面が消えた後は、SystemメニューのClock Set（151ページ）でTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーバックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 3か月近く使わないでくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（159ページ）。

機器を取り付ける

レンズフードを取り付ける



PUSH（レンズフード取り外し）ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

レンズフードを取り外す

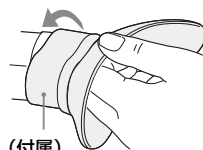
PUSH（レンズフード取り外し）ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

ご注意

- φ77mmの偏光フィルターや保護フィルターの取り付け/取り外しの際は、レンズフードを取り外してください。

大型アイカップを取り付ける

大型アイカップを少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。

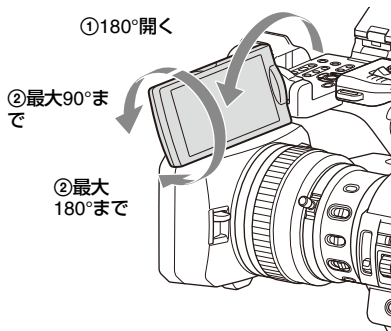


大型アイカップ（付属）

画面を調節する

液晶画面を調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節します(②)。



対面撮影にも使用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

バックライトを調節する

LCD BRIGHTボタン(12ページ)でバックライトの明るさを調節できます。

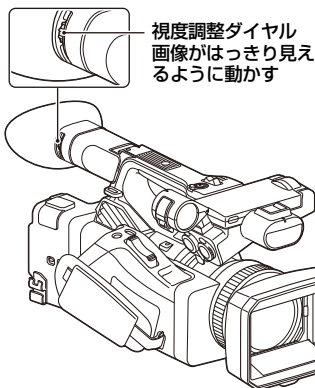
明るさを調節する

LCD/VFメニューのLCD SettingのBrightness(125ページ)で調整できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ビューファインダーを調節する

ビューファインダーで見るときは、液晶画面を閉じた状態でビューファインダーに目を近づけます。

ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダー下の視度調整ダイヤルで調節します。



明るさを調節する

LCD/VFメニューのVF SettingのBrightnessで調節します(125ページ)。

ご注意

- ・ビューファインダーから目を遠ざけたとき、画面の焼き付き防止のために画面の色を反転表示することがありますが故障ではありません。

アサイナブルボタンで液晶画面/ビューファインダー画面の明るさを調節する

アサイナブルボタン(48ページ)にLCD/VF Adjustを割り当てておくと、このボタンを押すことで、液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示することができます。

- 1 **LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押し、明るさ調節用レベルバーを表示する。**

ボタンを押すたびに、液晶画面用のレベルバー → ビューファインダー画面用のレベルバー → 非表示の順で表示が切り替わります。

- 2 **◀/▶/↔ボタンまたはSEL/SETダイヤルでレベルを調節し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

レベルバーが非表示になります。

LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押

すか、何も操作しないで3秒経過した場合も、レベルバーが消えます。

SxSメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売）に記録します。

SxSメモリーカードについて

本機で使用可能なSxSメモリーカード

下記のソニー製SxSメモリーカードをご使用ください。

下記のソニー製以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

SxS PRO+ シリーズ

SxS PRO シリーズ

SxS-1 シリーズ

これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- ◆ SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 記録メディアと対応フォーマットについては162ページをご覧ください。

ご注意

- XAVC-I 3840×2160Pで記録する場合は、SxS Pro+メモリーカードを使用してください。
- XAVC-Iの記録フォーマットでの記録やスロー&クイックモーション撮影では、SxS PROまたはSxS-1メモリーカードを使用した場合、画面に非サポートメディアのエラーメッセージが表示され、正常に記録できないことがあります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。

SxSメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部のカバーを開ける。

2 SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にして押し込む。

アクセスランプ（11ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

3 カバーを閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

SxSメモリーカードを取り出す

1 カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタンを押す。

EJECTボタンが飛び出します。

記録中の場合は、記録が停止します。

2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にSxSメモリーカードを取り出した際、SxSメモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

使用するSxSメモリーカードを切り替える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（11ページ）を押して使用するカードを切り替えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

ご注意

- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（91ページ）表示中はボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

MediaメニューのFormat Media（133ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

ご注意


- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、液晶画面/ビューファインダー画面（13ページ）のA/Bスロットメディア状態/残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。メモリーカードを挿入した状態でプロテクトスイッチを切り替えた場合、プロテクト表示になりません。メモリーカードを抜いた状態でプロテクトスイッチを切り替えてください。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、記録/タリーランプの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

- 1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、クリップ数が上限である旨が表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認す

るメッセージが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

ご注意

- FATモードで記録したSxSメモリーカードの修復はできません。

修復を実行する

◀/▶/◀▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- 1 本機のコピー機能（95ページ）を使用して、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
- 2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
- 3 フォーマットしたSxSメモリーカードに必要なクリップをコピーして戻す。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

- 2秒以下のクリップは修復できません。

他のメディアを使う

XQDメモリーカード

メディアアダプター QDA-EX1（別売）を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

使用可能な XQD メモリーカード

XQDメモリーカード Gシリーズ

XQDメモリーカード S（EB Stream）シリーズ

- ◆ メディアアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 記録メディアと対応フォーマットについては162ページをご覧ください

ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生（92ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- XAVC-Iの記録フォーマットでの記録や3840×2160Pなどの高レートフォーマット記録では、XQDメモリーカードを使用した場合、画面に非サポートメディアのエラーメッセージが表示され、正常に記録できない場合があります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。
- すべてのXQDメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。

フォーマット（初期化）する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」

す」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

MediaメニューのFormat Media（133ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

ご注意

- XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

SDカード

MEAD-SD02（別売）を使用することによって、SDカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

- ◆メディアアダプター MEAD-SD02の詳しい使いかたについては、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ◆記録メディアと対応フォーマットについては162ページをご覧ください

ご注意

- SDカードを使って高速再生（92ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。

SDXC カード（exFAT のみ）

（Speed Class：Class10）

ご注意

- exFATモード時以外では使用できません。
- SDXCカードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。違う種類のメディアを使

用した場合、記録中にメディアがフルになっても自動切り替えができません。

- ご使用になるSDXCカードによっては、画面に非サポートメディアの警告メッセージが表示され、XAVC-Iでの記録や、スロー&クイックモーション撮影（52ページ）が正常に記録できない場合があります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。
- PMWシリーズおよびPXWシリーズのカムコーダーで記録したSDXCカードは、機種によって本機で記録・再生できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

SDHC カード（FAT のみ）

（Speed Class：Class10）

ご注意

- exFAT、UDFモード時は使用できません。

フォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

MediaメニューのFormat Media（133ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中メッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

ご注意

- SDカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

SDカードを修復する

何らかの原因でSDカード内のデータに異常が発生した場合は、SDカードの修復が必要になります。

修復が必要なSDカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

ご注意

- 以下のファイルシステム、およびコーデックで記録したSDカードの修復はできません。
 - ファイルシステムがexFATでコーデックがXAVC-I
 - ファイルシステムがexFATでコーデックがDVCAM
 - ファイルシステムがFATでコーデックがMPEG HD420

修復を実行する

⬅/➡/⬅➡/➡➡ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSDカードや、エラーが発生したSDカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSDカードに交換してください。
- エラーが発生したSDカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- 1 本機のコピー機能（95ページ）を使用して、必要なクリップを他のメモリーカードへコピーする。
- 2 問題のあるメモリーカードを本機でフォーマットする。
- 3 フォーマットしたメモリーカードに必要なクリップをコピーして戻す。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 1分未満のクリップは修復できない場合があります。

ネットワークアクセス 認証用のパスワードを 設定する

本機のネットワーク機能を使用する場合、必ずネットワークアクセス認証用のパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと、ネットワーク機能を使用できません。

パスワードはNetworkメニューのAccess AuthenticationのPasswordで設定してください。

ネットワーク機能を初めて使用する場合、Password欄は空欄になっています。

ご注意

- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。
- 以下のセットアップメニューの設定や実行には、パスワードの設定が必要です。パスワードを設定しないと、メニューがグレースアウト状態になります。グレースアウト中にメニューを選択すると、「[アクセス認証]の「パスワード」を設定してください」のメッセージが3秒間表示されず。
 - Thumbnailメニュー → Transfer Clip
 - Thumbnailメニュー → Transfer Clip (Proxy)
 - Fileメニュー → All File → Load Network Data
 - Networkメニュー → Wireless LAN
 - * Systemメニュー → Assignable ButtonのNFCも対象
 - Networkメニュー → AP Mode Settings
 - Networkメニュー → ST Mode Settings
 - Networkメニュー → Wired LAN
 - Networkメニュー → Modem
 - Networkメニュー → RTMP/RTMPS
 - * Systemメニュー → Assignable ButtonのRTMP/RTMPSも対象
 - Networkメニュー → Network Client Mode
 - * Systemメニュー → Assignable ButtonのNetwork Client Modeも対象
 - Systemメニュー → Assignable Button → Intercom Level
 - * パスワードを設定しないと、インカムは使用できません。

基本操作手順

撮影手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
- 2 **必要なメモリーカードを入れる。**
SxSメモリーカードはA/B両方のメモリーカードスロットに入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
- 3 **電源スイッチをONにする。**
液晶画面/ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 4 **グリップまたはハンドルの録画ボタン（10ページ）を押す。**
記録/タリーランプが点灯して、記録が始まります。
- 5 **記録を終了するときには、もう一度録画ボタンを押す。**
記録が停止し、本機はSTBY（記録待ち）モードになります。

撮影する（フルオートモード）

FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。

フルオートモードがONになり、Auto Exposure（113ページ）が働いて、Auto ND Filter、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がONになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFにしてください。

FULL AUTOボタンのON/OFF切り替え操作を無効にするには（ボタンホールド機能）

FULL AUTOボタンを押してもフルオートモードのON/OFFが切り替わらないようにする機能です。誤操作でON/OFFが切り替わるのを防ぐことができます。

- 1 **SystemメニューのSwitch Hold Settingで、FULL AUTO Buttonを選択する。**

- 2 **FULL AUTO Buttonで、Hold(On)を選択する。**

FULL AUTOボタンのON/OFF切り替え操作が無効になります。この状態でFULL AUTOボタンを押しても、画面に「操作ホールド状態です」とメッセージが表示され、フルオートモードのON/OFFは切り替えできません。

本機能を解除するには、FULL AUTO Buttonの設定をOffに変更します。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。

メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリー

カードが入っていると、メッセージ「まもなくスロットを切り替えます」が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。

- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Content Browser」を使用してください。ご使用の前には、「Content Browser」の動作環境を確認してください。
- SDカードを使ってリレー記録を行う場合は、同じ種類のSDカードを使用してください。

クリップについて

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、MediaメニューのClip Naming（135ページ）で設定された形式でクリップ名がつけられます。

クリップの最大時間

クリップの最大記録時間は、記録フォーマットにより異なります。

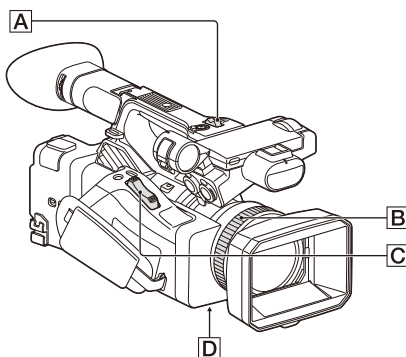
動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

記録フォーマットごとのクリップの最大記録時間については、「クリップの最大記録時間」（163ページ）をご覧ください。

クリップを削除するには

Last Clip Delete機能（149ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。全クリップの削除やクリップを指定しての削除は、サムネイル画面（96ページ）から操作してください。

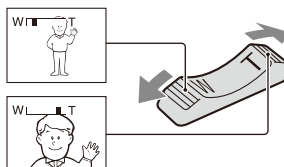
ズームする



ズームレバーを使う

- ZOOMスイッチ** **D**を「SERVO」にする。
- ズームレバー** **C**を押してズームする。
ズームレバー **C**を浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。

広角：Wide（ワイド）



望遠：Telephoto（テレフォト）

- フォーカス合わせに必要な被写体との距離は、広角は約5cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはフォーカスが合わないことがあります。
- ズームレバー **C**から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー **C**の操作音が記録されることがあります。

ハンドルズームを使う

- CameraメニューのHandle Zoom（115ページ）のSettingで、ハンドル**

ズームの動作を「Low」、「High」、「Variable」のいずれかに設定する。

- 「Variable」にすると、押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「Low」または「High」にすると、押し具合に関わらず固定スピードで動きます。CameraメニューのHandle Zoomの「Low」または「High」で、スピードを切り替えることができます。
- アサインボタン（48ページ）にHandle ZoomのSetting機能を割り当てておくと、このボタンを押すたびにハンドルズームの動作を切り替えることができます。

2. ハンドルズームレバー **A**を押してズームする。

ご注意

- ハンドルズームの動作が「OFF」になっていると、ハンドルズームレバー **A**は使えません。
- ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。

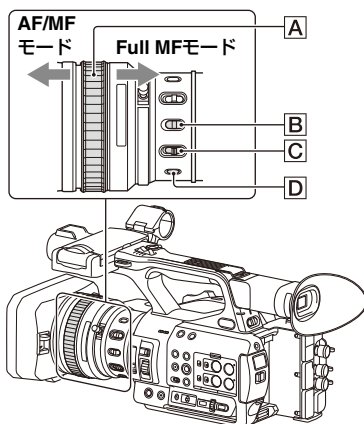
ズームリングを使う

1. ZOOMスイッチ **D**を「MANUAL」にする。
2. ズームリング **B**を回してズームする。
ズームリング **B**を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

フォーカスを調節する

フォーカス合わせのコツ

- 始めにズームをT側（望遠）でフォーカスを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてフォーカスを合わせます。



Full MFモードで調節する

フォーカスリング **A**を後方（本体側）に引くと、常に手動でフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

液晶画面/ビューファインダー画面の画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、フォーカスリングに印字されている距離指標の目盛りを使用してフォーカスを合わせることができます。フォーカスの合う距離は、距離指標の位置に対応します。

ご注意

- フォーカスリングを回すときは、両端に強く当てないでください。
- Full MFモード中は、オートフォーカス、プッシュオートフォーカスは使用できません。
- レンズのMACROスイッチの設定によらず、マクロはOFFになります。

MFモードで調節する

必要となきのみオートフォーカスを働かせることができるMF（マニュアルフォーカス）モードです。

フォーカスリング **A**を前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ **C**をMANUALにします。

一時的にオートフォーカスで撮る（プッシュオートフォーカス）

MFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTOボタン **D**、またはPush AF/Push MF

を割り当てたアサインブルボタン（48ページ）を押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、手動フォーカス合わせに戻ります。

手動フォーカス合わせで、ある被写体から別の被写体にフォーカスを移すようなときに使うと便利です。

AFモードで調節する

常にオートでフォーカスを合わせるAF（オートフォーカス）モードです。フォーカスリング[A]を前方にスライドさせ、FOCUSスイッチ[C]をAUTOにします。

一時的にマニュアルフォーカスで撮る（ブッシュマニュアルフォーカス）

AFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTOボタン、またはPush AF/Push MFを割り当てたアサインブルボタン（48ページ）を押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

ご注意

- フレームレートが100 fpsまたは120 fpsでのスロー&クイックモーションモード中は、オートフォーカス、およびブッシュオートフォーカスは使用できません。

マクロモードを使う

MFモードまたはAFモードのときは、MACROスイッチ[B]をON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効です。

拡大表示をしてフォーカスを合わせる（ピント拡大）

アサインブルボタン（48ページ）にFocus Magnifierを割り当て、そのボタンを押すと、ピント拡大画面に切り替わり、画面の一部が拡大されます。

記録フォーマットがQFHDの場合は、ボタンを押すたびに4倍、8倍の順に切り替わり

ます。▲/▼/◀/▶ボタンで拡大位置を移動させることができます。

QFHD以外の場合は、画面中央が2倍に拡大されます。

もう一度押すと元に戻ります。

フォーカスが合っているかを確認するとき便利です。

ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像は拡大されません。

撮影中に音声を聞く

ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）（11ページ）に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

ご注意

- 撮影中（記録中/記録待機中）は内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

モニター音量を調節するには

VOLUMEボタン（12ページ）を使用します。

モニター音のチャンネルを切り替えるには

AudioメニューのAudio Output（124ページ）で選択できます。

基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

ビデオフォーマット

選択できるフォーマットは、exFAT/UDF/FAT、システム周波数、コーデックの設定によって異なります。

exFAT/UDF/FATを切り替える

SystemメニューのRec Format（146ページ）のFile Systemで切り替えます。切り替えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

- 記録・再生中にexFAT/UDF/FATを切り替えることはできません。

システム周波数を切り替える

SystemメニューのRec Format（146ページ）のFrequencyで切り替えます。切り替えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

- 記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

コーデックを切り替える

SystemメニューのRec Format（146ページ）のCodecで切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

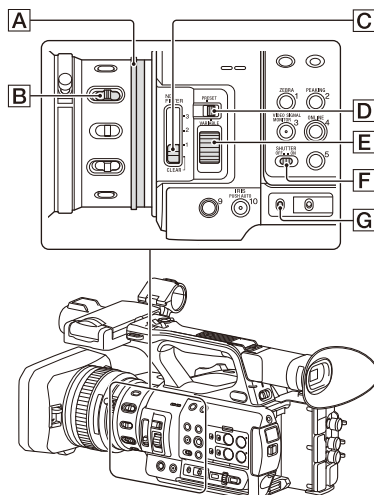
フォーマットを変更する

SystemメニューのRec Format（146ページ）のVideo Formatで切り替えます。SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

ご注意

- 記録・再生中にフォーマットを変更することはできません。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

オートアイリスで撮影する

フルオートモード（34ページ）がONのときアイリスは強制的にオートモードになります。

フルオートモードがOFFのとき

IRISスイッチ[B]をAUTOにすると、アイリスが単独でオートモードになります。IRISスイッチがAUTOのとき、ダイレクトメニュー（45ページ）で、アイリスのAUTO/MANUALの切り替えとMANUAL時の調整値の設定ができます。

マニュアルアイリスで撮影する

フルオートモードがOFFのときに、IRISスイッチ[B]をMANUALにすると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリング[A]を回してアイリス調整します。

一時的にオートアイリスに切り替える

マニュアルアイリスモードで、Push Auto Irisを割り当てたアサインボタンを押すと、ワンプッシュオートアイリス機能が働きます。

ボタンを押している間オートアイリスが働き、ボタンを離すとマニュアルアイリスモードに戻ります。

オートゲインで撮影する (AGC)

フルオートモード (34ページ) がONのとき
強制的にAGC (オートゲインコントロール) モードになります。

フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAGC (114ページ) をOnにすると、ゲインが単独でAGCモードになります。
ダイレクトメニュー (45ページ) で、AGCのON/OFFを設定できます。

固定ゲインで撮影する

1. フルオートモードをOFFにする。
2. ゲインが自動調節になっているときは、**CameraメニューのAuto ExposureのAGC (113ページ) をOffにする。**
「AGC」が消えます。
3. **GAINスイッチ [G] でH/M/Lを選択する。**
設定されたゲイン値が表示されます。
H/M/Lの値は、CameraメニューのGainで設定します (112ページ)。
ダイレクトメニュー (45ページ) でも、H/M/Lの値を設定できます。

オートシャッターで撮影する

フルオートモード (34ページ) がONのとき
強制的にオートシャッターになります。

フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (114ページ) をOnにすると、シャッター速度が単独でオートになります。
ダイレクトメニューでAuto Shutterを選択してONにすることでも、オートシャッターにできます。

固定シャッターで撮影する

フルオートモードがOFFで、CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (114ページ) がOffのときに、SHUTTERスイッチ [F] をONにすると、CameraメニューのShutter (113ページ) で設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

SHUTTERスイッチをOFFにすると、撮影フレームレートに相当するシャッター速度になります。

Camera メニューで設定する

CameraメニューのShutter (113ページ) を使用して、シャッターモードと速度を設定します。

ダイレクトメニューで設定する

ダイレクトメニュー (45ページ) で、ECSモード (113ページ) のON/OFFやシャッターの速度を設定できます。

光量を調節する (NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTERスイッチ [C] を使うと適切な明るさにすることができます。

本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND FILTERモード切り替えスイッチ [D] で切り替えます。

プリセットモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ [D] をPRESETにして、ND FILTERスイッチ [C] を以下のように切り替えます。

CLEAR : NDなし

1 : CameraメニューのND FilterのPreset 1で設定した濃度。工場出荷状態は1/4

2 : CameraメニューのND FilterのPreset 2で設定した濃度。工場出荷状態は1/16

3 : CameraメニューのND FilterのPreset 3で設定した濃度。工場出荷状態は1/64

また、ダイレクトメニュー (45ページ) でも、NDスイッチと同様の切り替えができます。

バリアブルモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ \square をVARIABLEにして、ND FILTERスイッチ \square を以下のように切り替えます。

CLEAR：NDなし

1、2、3：NDコントロールダイヤル \square でフィルター濃度を1/4～1/128の範囲で連続的に調整することができます。

フィルターの濃度調整にND FILTERスイッチ \square 1/2/3の位置は影響しません。

オート ND フィルター

ND FILTERモード切り替えスイッチがVARIABLEで、ND FILTERスイッチが1～3のとき、CameraメニューのAuto ExposureのAuto ND Filter（113ページ）をOnにすると、NDフィルター透過率を自動で調節します。

このとき、ダイレクトメニュー（45ページ）で、Auto ND FilterのON/OFFとND CLEARを設定できます。

また、Auto ND FilterをOFFに設定すると、ダイレクトメニューでNDフィルター透過率を選択できます。

Auto Exposureを設定する

NDフィルターとアイリス、ゲイン、シャッターのうち、オートに設定されている機能を使って過度な明るさを適正にコントロールします。

CameraメニューのAuto Exposure（113ページ）のModeで制御モード、Levelで補正量を設定します。

ダイレクトメニュー（45ページ）でも、制御モードと補正量を設定できます。

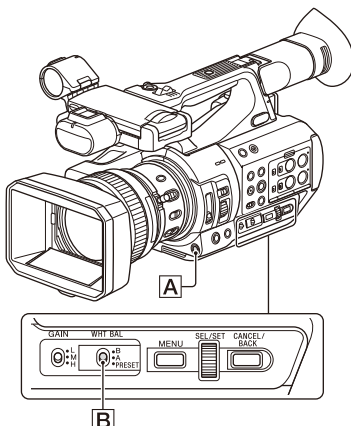
フリッカー補正機能を使用する

CameraメニューのFlicker Reduce（114ページ）のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数（50 Hzまたは60 Hz）に合わせます。

ご注意

- 撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）



撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

プリセットモード

色温度をプリセット値（工場出荷時：3200K）に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、PaintメニューのWhite（116ページ）のPreset Whiteで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。

WB SETボタン \square Aを押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

ATW(自動追尾ホワイトバランス) モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

PaintメニューのWhite SettingのATW Speed（117ページ）で、5段階の調整速度を選択できます。

アサイナブルボタン（48ページ）にATW Hold機能を割り当てておくと、そのボタン

を押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
例：
 - － 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - － 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

スイッチで切り替える

WHT BALスイッチ[B]で選択します。

B: ATWモードまたはメモリー Bモード

A: メモリー Aモード

PRESET: プリセットモード

WHT BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。PaintメニューのWhite SettingのWhite Switch (117ページ) で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。

フルオートモード (34ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。アサインابلボタン (48ページ) に、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードがOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができるようになります。

ダイレクトメニューで切り替える

DISPLAYボタン (12ページ) を押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます (13ページ)。

ATW : ATWモード

W:A : メモリー Aモード

W:B : メモリー Bモード

W:P : プリセットモード

ダイレクトメニュー (45ページ) で、以下のように調整モードを変更することができます。

WHT BALスイッチがBのとき、ATWモード/メモリー Bモードを設定できます。

WHT BALスイッチがAのとき、ATWモード/メモリー Aモードを設定できます。

WHT BALスイッチがPRESETのとき、ATWモード/プリセットモードを設定できます。

ATWモード以外に設定した場合、ダイレクトメニューで色温度を設定できます。

ダイレクトメニューで色温度表示部分を選ぶと、色温度を変更することができます。

また、プリセットモードのときは、WB SETボタンを押すと色温度を設定する状態になります。

アサインابلボタンでプリセットモードを切り替える

アサインابلボタン (48ページ) にPreset White Selectを割り当てると、そのボタンを押すたびに、プリセットモードの値が3200K、4300K、5600K、6300Kの順に切り替わります。

オートホワイトバランスを実行する

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3 明るさを調整する。
「マニュアルアイリスで撮影する」(38ページ) に従って、アイリスを調整してください。
- 4 WB SETボタン[A]を押す。
メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー (AまたはB) に保存されます。
ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

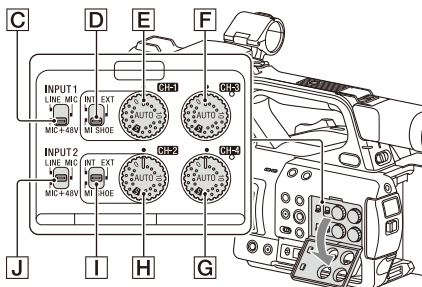
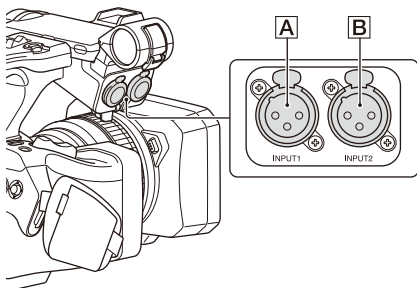
ご注意

- プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面にエラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みて

もエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

記録する音声を設定する

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。



外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

AUDIO INPUT1端子 **A**

AUDIO INPUT2端子 **B**

INPUT1スイッチ **C**

INPUT2スイッチ **J**

音源の設定用スイッチ

CH1 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **D**

CH2 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **I**

録音レベルの設定用スイッチ

AUDIO LEVEL (CH1) ダイヤル **E**

AUDIO LEVEL (CH2) ダイヤル **H**

AUDIO LEVEL (CH3) ダイヤル **F**

AUDIO LEVEL (CH4) ダイヤル **G**

ブロックダイアグラム (190ページ) を合わせてご覧ください。

内蔵マイクを使う

本体内蔵マイクを用いて、音声を収録できます。

CH1、CH2 に記録する場合

CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D** とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **I** を「INT」にする。

CH3、CH4 に記録する場合

AudioメニューのAudio Input (123ページ) のCH3 Input SelectとCH4 Input Selectで、Internal MICを選択する。

外部音声機器を使う

ミキサーなどの外部音声機器を使用することができます。

CH1、CH2 に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D** とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **I** を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声それぞれCH1/CH2に記録されます。

CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

2 INPUT1/INPUT2スイッチ (**C**/**J**) を「LINE」にする。

3 AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 (**A**/**B**) に外部音声機器を接続する。

CH3、CH4 に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (123ページ) のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1) を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声はCH3とCH4の両方に記録されます。

2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2、3を行う。

外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホンなどを取り付けて使用することができます。

CH1、CH2 に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ ☐ とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ ☐ を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声がそれぞれCH1/CH2に記録されます。

CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

2 INPUT1/INPUT2スイッチ (☐/☐) を切り替える。

MIC：電源供給不要のマイクの場合

MIC+48V：+48V電源供給を要するマイクの場合

ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「LINE」にしてください。

3 マイクホルダーの取っ手を引き上げてカバーを開ける。

4 マイクを取り付け、マイクホルダーのカバーを元どおり閉めてマイクを固定する。

5 AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 (☐/☐) にマイクケーブルを接続する。

XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、AUDIO INPUT1端

子にL (左) チャンネル、AUDIO INPUT2端子にR (右) チャンネルを接続してください。

CH3、CH4 に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (123 ページ) のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1) を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH3とCH4の両方に記録されます。

2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2～5を行う。

マルチインターフェースシュー対応マイクを使う

CH1、CH2 に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ ☐ とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ ☐ を「MI SHOE」にする。

2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

CH3、CH4 に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (123 ページ) のCH3 Input SelectでShoe CH1を選択し、CH4 Input SelectでShoe CH2を選択する。

2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

ご注意

- FrontとRearのマルチインターフェースシューで同時に2つのマイクを使うことはできません。先に接続したマイクのみ有効になります。

録音レベルを調節する

自動調節にする（AGC）

AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤル（[E]/[H]/[F]/[G]**）を「AUTO」の位置にする。**

AudioメニューのAudio Input（123ページ）のCH1&2 AGC Modeで、レベル自動調節をCH1とCH2それぞれ単独に行う（Mono）か、CH1とCH2を連動させて行う（Stereo）かを設定できます。

また、CH3&4 AGC Modeで、レベル自動調節をCH3とCH4それぞれ単独に行う（Mono）か、CH3とCH4を連動させて行う（Stereo）かを設定できます。

手動で調節する

撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤル（[E]/[H]/[F]/[G]**）を0～10の位置に回して、録音レベルを調節する。**

風切り音を低減するには、AudioメニューのAudio InputのCH Wind FilterをOnにしてください（123ページ）。

ご注意

- CH1とCH2が内蔵マイクに選択されている場合、CH1とCH2の録音レベルは共にAUDIO LEVEL(CH1)ダイヤルに連動して調整されます。
- CH3とCH4が内蔵マイクに選択されている場合、CH3とCH4の録音レベルは共にAUDIO LEVEL(CH3)に連動して調整されます。

特殊記録モードでの音声記録

インターバルレックモード、スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。

手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

レンズのSTEADY SHOTボタンを押す。

ボタンを押すごとに、手ぶれ補正モードがON/OFFします。

設定は、液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

ご注意

- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ぶれ補正をOFFにしてください。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UBメニュー（129ページ）のTimecodeで設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。

TC/UBメニューのUsers Bit（129ページ）で設定します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます（13ページ）。

表示は、DURATION/TC/U-BITボタン（12ページ）を押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

表示	内容
TCG **.*.*.*.*	タイムコード
CLK **.*.*.*.*	タイムコード（Clockモード）
UBG **.*.*.*.*	ユーザービット
DUR **.*.*.*.*	記録開始からの経過時間

便利な機能を使う

ダイレクトメニュー操作

液晶画面/ビューファインダー画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。

ダイレクトメニューは、アサインابلボタンに割り当てることによって使用できるようになります。

設定できる項目は、以下のとおりです。

- Auto Focus Mode
- ATW
- Preset White
- Color Temp.<A>|
- Scene File
- ND Filter Position
- Auto ND Filter
- ND Filter Value
- Auto Iris
- Iris Value
- AGC
- Gain Value H/M/L/Turbo
- ECS
- Auto Shutter
- Shutter Speed Value
- Shutter Angle Value
- Auto Exposure Mode
- Auto Exposure Level
- S&Q Frame Rate

ご注意

- フルオートモード（34ページ）で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケータの点灯中はダイレクトメニュー操作できません。

1 ダイレクトメニューを割り当てたアサインابلボタンを押す。

DISPLAYボタンで液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示しているときは、表示項目のうち、ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにカーソルが表示されます。

液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示していないときは、ダイレク

トメニュー操作のできる項目のみ表示され、そのいずれかにカーソルが表示されます。

2 4/5/6/7ボタンまたはSEL/SETダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

3 4/5/6/7ボタンまたはSEL/SETダイヤルで設定を選び、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

再びダイレクトメニューを割り当てたアサインابلボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了し、撮影画面に戻ります。

SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET>（151ページ）をOnにすると、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してダイレクトメニューを開始することができます。ただし、顔検出AFの登録顔機能が使用できなくなります。


顔検出AF

人物の顔を検出して、その顔にフォーカスを合わせることができます。

フォーカス調節がAFモードまたはブッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になります。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

CameraメニューのFocus（112ページ）で、顔検出AFの動作を設定する。

Face Only AF：【顔限定AF】 カメラが被写体（人物）の顔を検出したとき、人の顔にフォーカスを合わせます。顔を検出しない間は、AFが一時停止し（MF）、顔限定AF中のAF一時停止アイコン（13

ページ)が表示されます。顔検出が安定しないときに有効なモードです。

Face Priority AF:【顔優先AF】 カメラが被写体(人物)の顔を検出したとき、人の顔に優先的にフォーカスを合わせます。顔を検出しないときは、AFモードになります(初期設定)。

Off: 顔検出AF機能を無効にします。

ご注意

- Face Only AFに設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、Face Priority AFになります。
- 以下のときは、顔検出AFできません。
 - Full MFモード時
 - FocusスイッチがManualのとき(プッシュオートフォーカス実行中を除く)
 - 記録フォーマットがDVCAMのとき
- Face Only AFに設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的にFace Priority AFになります。

顔検出枠を消す

顔検出枠の表示/非表示は、LCD/VFメニューのDisplay On/OffのFace Detection Frame (127ページ)で設定できます。

登録した顔にフォーカスを合わせる

顔検出AFの動作時、フォーカスを合わせたい被写体(人物)の顔を登録することができます。

登録できる顔は1つで、既に登録されている場合は、上書きされます。

顔を登録すると顔枠が二重枠になり、登録が完了すると登録顔ありアイコン☼(13ページ)が表示されます。

顔検出AFは、登録顔と顔検出AFの動作モードとの組み合わせによって、次のように動作します。

Face Priority AF時:【登録顔優先AF】 登録顔を検出した場合、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない場合、通常のFace Priority AFとして動作します。

Face Only AF時:【登録顔限定AF】 登録顔を検出した場合のみ、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない間は、AFが一時停止し(MF)、顔限定AF中のAF一時停止Ⓜアイコン(13ページ)

ジ)が表示されます。登録した人にのみオートフォーカスしたいときに有効なモードです。

登録顔の設定

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで顔選択カーソル(オレンジ色の下線)を登録する顔に移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

他の顔枠(灰色) 登録顔枠(白色二重)



顔選択カーソル(オレンジ)

登録顔の解除

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで登録顔枠に選択カーソルを移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

登録顔が解除され、顔枠が一重枠となり、登録顔ありアイコンが消えます。

登録顔枠がない場合は、顔を検出し、顔選択カーソル(オレンジ)が表示された状態でSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを2回押すことで、登録顔が解除されます。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては、正しい効果が得られない場合や、人物以外を顔として検出する場合があります。この場合は、顔検出AF機能をOffに設定してください。
- 顔の登録は、実際に撮影する人物の顔を撮影直前に登録することをおすすめします。
- 顔の登録時に、髪型や装飾、正面を向いていないなどの理由により、登録が完了しないことがあります。その場合、顔枠は二重枠になりますが、登録顔アイコンは表示されず、登録顔なしの動作となります。
- 既に顔が登録されている場合は、一旦登録を解除してから登録することをおすすめします。
- SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET> (151ページ)をOnにした場合は、登録顔機能は使用できません。

アサインابلボタンで顔検出AFの動作を切り替える

アサインابلボタン（48ページ）にFace Detection AFを割り当てると、そのボタンを押すたびに、顔検出AFの動作がFace Priority AF、Face Only AF、Offの順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

顔検出AFの動作は、ダイレクトメニュー（45ページ）でも切り替えることができます。

カラーバー / 基準音声信号

CameraメニューのColor Bars（114ページ）のSettingsをOnにすると、撮影中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。Offにすると、映像に戻ります。

AudioメニューのAudio Input（123ページ）の1kHz Tone on Color BarsをOnにすると、カラーバーと同時に1kHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子（カラーバーのみ）から出力されます。

カラーバーの種類は、CameraメニューのColor BarsのTypeで設定できます。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時は、カラーバーを出力することはできません。
- 記録中は、カラーバーには切り替わりません（カラーバーからカメラ画像への切り替えは可能です）。

ショットマーク

exFATまたはUDFモードで記録したクリップでは、映像/音声の重要なシーンに、ショットマークを記録しておく、マークを付けたシーンだけが表示されるエッセンスマークサムネイル画面（97ページ）で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後に再生画像を確認しながら追加することができます。

撮影中にショットマークを記録する

アサインابلボタン（48ページ）に、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当て、そのボタンを、ショットマークを入りたいシーンで押します。

- ◆ 記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する（exFAT、UDF）」（92ページ）をご覧ください。
- ◆ ブランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は「ブランニングメタデータでショットマーク名を設定する」（60ページ）をご覧ください。

OK/NG/ KEEPフラグ （exFAT、UDF）

exFATまたはUDFモードで記録したクリップは、OK/NG/KEEPフラグを付加することができます。

フラグを付加することによって、必要なクリップのみフィルタードクリップサムネイル画面（97ページ）に表示させることができます。

ご注意

- クリップを保護するには、Lock Clipの設定（95ページ）が必要です。

フラグを付加する

記録中または再生中のクリップにOK/NG/KEEPフラグが付加することができます。

記録中または再生中に、Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインابلボタンを押す。

フラグを削除する

クリップに付加されたOK/NG/KEEPフラグを削除することができます。

Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインابلボタンを2回続けて押す。

- ◆サムネイル画面からもOK/NG/KEEPフラグを付加、削除することができます。詳しくは「フラグを付ける/フラグを削除する(exFAT、UDF)」(96ページ)をご覧ください。

レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認(レックレビュー)できます。

記録を停止したら、Rec Reviewを割り当てたアサインابلボタンを押す。

RecordingメニューのRec Review(131ページ)の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップの先頭から再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY(記録待機)モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

STOPボタンまたはRec Reviewを割り当てたアサインابلボタンを押す。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。
- レックレビュー中は、セットアップメニューは操作できません。
- サムネイル画面がフィルタードクリップサムネイル画面のときは、レックレビューはできません。

アサインابلボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが10個(8ページ)あります。

機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button(149ページ)を使用します。

割り当てられた機能は、アサインابلボタンステータス画面(18ページ)で確認することができます。

出荷時のアサインابلボタンに割り当てられている機能

ボタン1	Zebra
ボタン2	Peaking
ボタン3	Video Signal Monitor
ボタン4	Network Client Mode
ボタン5	Off
ボタン6	Off
ボタン7	Direct Menu
ボタン8	Focus Magnifier
ボタン9	Off
ボタン10	Push Auto Iris

割り当てられる機能

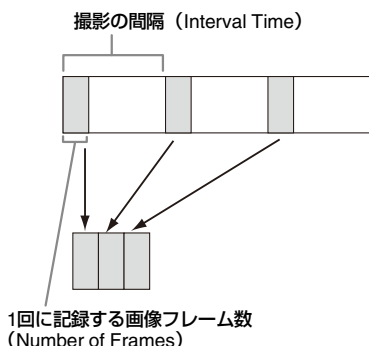
各機能の内容については、149ページをご覧ください。

- Off
- Push AF/Push MF
- Face Detection AF
- ND Filter Position
- Auto ND Filter
- Push Auto ND
- Push Auto Iris
- Turbo Gain
- AGC
- Shutter
- Auto Exposure Level
- Spotlight
- Backlight
- Flash Band Reduce
- Digital Extender x2
- Handle Zoom
- Color Bars
- Preset White Select
- ATW
- ATW Hold
- Audio Monitor CH
- Audio Mon. CH Switch
- Marker
- Zebra
- Peaking
- Video Signal Monitor
- Focus Magnifier
- Lens Info
- LCD/VF Adjust

- VF Mode
- Gamma Display Assist
- Display
- Rec
- S&Q Motion
- Clip Continuous Rec
- Picture Cache Rec
- Proxy Rec Start/Stop
- Rec Review
- Last Clip Delete
- Thumbnail
- Shot Mark1
- Shot Mark2
- Clip Flag OK
- Clip Flag NG
- Clip Flag Keep
- NFC
- Network Client Mode
- Intercom Level
- Streaming
- RTMP/RTMPS
- Auto Upload (Proxy)
- Direct Menu
- User Menu
- Menu

インターバルレック

1回に記録するフレーム数（Number of Frames）と間隔時間（Interval Time）を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。



三脚などに本機を固定して、本体の録画ボタンの代わりにWebリモコンなどのリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- インターバルレックは、スロー&クイックモーション、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。インターバルレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのInterval Rec（130ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、インターバルレックモードが有効になり、画面上に「Int Stby」が表示されます。

マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、RecordingメニューのInterval RecのPre-Lightingを設定することで、記録開始よりも2秒前、5秒前、または10秒前にライトを自動的に点灯させることができます。

ご注意

- Pre-LightingがOnのときは、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定していても、Interval Timeの設定により、ビデオライトの消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは点灯したままとなります。

インターバルレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Int Stby」表示が「Int ●Rec」と「Int ●Stby」の交互表示に変わります。

ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Frames

の設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。

- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（129ページ）。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り替えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをSTANDBYにした場合、Interval RecのSettingは自動的にOffになります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

クリップコンティニュアスレック (exFAT、UDF)

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニュアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

クリップコンティニュアスレックに対応する記録フォーマットについては、「特殊記録の対応」（163ページ）をご覧ください。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのClip Continuous Rec（130ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、クリップコンティニュアスレック機能が有効になり、画面上に「Cont Stby」が表示されます（13ページ）。

アサインブルボタンで設定する

アサインブルボタン（48ページ）にClip Continuous Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、クリップコンティニュアスレック機能のOn、Offが切り替わります。

ご注意

- クリップコンティニュアスレックは、スロー&クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録と同時にONにすることはできません。クリップコンティニュアスレックをONにするると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中はクリップコンティニュアスレックモードにできません。

クリップコンティニュアスレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cont Stby」表示が「Cont ●Rec」（●は赤）表示に変わります。

ご注意

- 記録中または記録待機中（「Cont Stby」表示が点灯した状態）にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜いたりすると、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニュアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「Cont Stby」が点滅（1回/秒）しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

クリップコンティニュアスレックモードを終了するには

記録待機中に、RecordingメニューのClip Continuous Rec（130ページ）のSettingをOffにするか、Clip Continuous Recを割り当てたアサインブルボタンを押します。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り替え
- 記録フォーマットの変更
- 電源スイッチをSTANDBYにして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する
- クリップコンティニユアスレックモードの終了

ピクチャーキャッシュレック

内蔵キャッシュメモリーに映像を常時蓄えておく（最大28秒間）ことによって、記録を開始したとき、開始の数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュレック機能は、記録フォーマット（146ページ）が下記のいずれかに設定されている場合に設定することができます。

- XAVC-I
- XAVC-L
- MPEG HD 422
- MPEG HD 420

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、スロー&クイックモーション、インターバルレック、クリップコンティニユアスレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UBメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます（129ページ）。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのPicture Cache Rec（130ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、ピクチャーキャッシュレックが有効になり、画面上に「Cache」が表示されます。

アサインابلボタンで設定する

アサインابلボタン（48ページ）にPicture Cache Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、ピクチャーキャッシュレックのOn、Offが切り替わります。

ピクチャーキャッシュレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cache」表示が「●Rec」に変わります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのPicture Cache RecのSettingをOffにするか、Picture Cache Recを割り当てたアサインابلボタンを押します。

ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- SxSメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、SxSメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Sbylに設定して記録を開始しても記録開始以前にさかのぼった記録には対応しません。録画ボタンを押した時点で点灯/消灯します。

スロー&クイックモーション

ファイルシステムがexFATで記録フォーマット（146ページ）が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット	システム周波数	S&Q フレームレート
XAVC-I 1080P	59.94/29.97/	1～60fps（1FPS単位）、100fps、120fps
XAVC-L 1080P	23.98/50/25	
XAVC-I 2160P	59.94/29.97/	1～60fps（1FPS単位）
XAVC-L 2160P	23.98/50/25	
MPEG HD422/ 1080P	29.97/23.98	1～30fps（1FPS単位）
MPEG HD420 1080P	25	1～25fps（1FPS単位）
MPEG HD422 720P	59.94/29.97/ 23.98	1～60fps（1FPS単位）
	50/25	1～50fps（1FPS単位）

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションは、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュアスレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。スロー&クイックモーションをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードのフレームレートを100fpsまたは120fpsに設定したときは、オートフォーカス機能が無効になります。
- モードによっては、撮影環境により、ノイズが目立つ場合があります。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのS&Q Motion（129ページ）で設定を行ってください。SettingをOnにすると、スロー&クイックモーションモードが有効になり、画面上に「S&Q Stby」が表示されます。

ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定する

スロー&クイックモーションモードの撮影フレームレートは、ダイレクトメニュー（45ページ）で設定することができます。

アサインابلボタンで設定する

アサインابلボタン（48ページ）にS&Q Motionを割り当てると、そのボタンを押すたびに、スロー&クイックモーションモードのOn、Offが切り替わります。また、アサインابلボタンを長押しすると、撮影フレームレート設定画面が表示され、撮影フレームレートを設定することができます。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「S&Q Stby」表示が「S&Q ●Rec」に変わります。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、Frame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーションモード撮影中は、レックレビュー操作はできません。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されます（129ページ）。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、録画ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

スロー&クイックモーションを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのS&Q MotionのSettingをOffにするか、S&Q Motionを割り当てアサインابلボタンを押します。

2スロット同時記録

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのSimul Rec (130ページ) で、SettingをOnにします。

ご注意

- 2スロット同時記録は、スロー&クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニユアスレック、4K & HD (Sub) 記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。2スロット同時記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録フォーマットがQFHDモード (3840×2160P) のとき、2スロット同時記録はできません。2スロット同時記録がOnのときに記録フォーマットをQFHDモードに変更すると、2スロット同時記録は強制的にOffになります。

2スロット同時記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

ご注意

- 2スロット同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードをご使用ください。
- メモリーカードはSxSメモリーカードを推奨します。
- SDHCカードは、2スロット同時記録機能には対応していません。
- 記録中、再生中、サムネール表示中は、2スロット同時記録機能は設定できません。
- 記録中に一方のスロットのメディアがフルになった場合は、もう一方のスロットのメディアが記録可能であれば、通常記録として継続記録します。通常記録として継続記録中にメディアを交換しても、同時記録やリレー記録は行われません。
- 2スロット同時記録モードで記録を開始したとき、どちらか一方のスロットにのみメディアが挿入されていた場合やどちらか一方のメディアがフルになっていた場合は、記録可能なメディアのみ記録を行います。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。





2スロット同時記録モードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのSimul RecのSettingをOffにします。

録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える

グリップの録画ボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

出荷時の設定は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- Rec Button:   Handle Rec Button:  

設定を変えるには

RecordingメニューのSimul RecのRec Button Setを選択する。

Rec Button Setの設定		ボタンとメモリーカード
Rec Button:   Handle Rec Button:  	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。	
Rec Button:  Handle Rec Button: 	録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。	
Rec Button:  Handle Rec Button: 	録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。	

4K & HD (Sub) 記録

1枚のSxSメモリーカードに、4K (QFHD) の映像をメインクリップ、事前編集などに活用できるMPEG HD422の映像をサブクリップとして、同時に記録することができます。

4K & HD (Sub) 記録に使用できるSxSメモリーカードの記録フォーマットは、以下のとおりです。

サブクリップの記録フォーマットは、メインクリップのシステム周波数によって決まります。

メインクリップ記録フォーマット	システム周波数	サブクリップ記録フォーマット
XAVC-I	29.97/25/	MPEG HD422
3840×2160P	23.98	1920×1080P
XAVC-L	59.94/50	MPEG HD422
3840×2160P		1920×1080i

ご注意

- 4K & HD (Sub) 記録にSDカードは使用できません。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューの4K & HD (Sub) Rec (131ページ) で、SettingをOnにします。

ご注意

- 4K & HD (Sub) 記録は、スロー&クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。4K & HD (Sub) 記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、4K & HD (Sub) 記録機能を設定できません。

4K & HD (Sub) 記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

撮影中は、画面の記録フォーマット（コーデック）の右横に「XAVC-I/Sub」または「XAVC-L/Sub」と表示されます。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

4K & HD (Sub) 記録モードを解除するには

記録待機中に、Recordingメニューの4K & HD (Sub) RecのSettingをOffにします。

ハイダイナミックレンジ（HDR）撮影

撮影モードを従来のスタンダードダイナミックレンジ（SDR）モードからハイダイナミックレンジ（HDR）モードに切り替えることができます。

ハイダイナミックレンジ（HDR）モードにすると、ダイナミックレンジを拡大し、BT.2020相当の広色域で記録や出力を行うことができます。

本機能は、File SystemがexFATの場合に有効です。

ご注意

- DVCAMのファイルフォーマットには対応していません。
- 以下の状態では本機能の設定はできません。
 - 記録中、再生中、サムネイル表示中
 - File SystemがexFAT以外
 - QoSストリーミング中
 - RTMP/RTMPSストリーミング中

HDRモードを設定する

1 SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeでHDRを選択する。

2 SystemメニューのHDR Setting→Rec/OutでHDRモード時の記録および出力信号のガンマカーブを選択する。

HDR(HLG)、またはHDR(S-Log3)から選択します。

3 手順2でHDR(HLG)を選択した場合、PaintメニューのHDR Paint Setting→HLG LookでHLGのルックを選択する。

選択できるルックについては、「HLG Look」(116ページ)をご覧ください。

ガンマ表示アシスト機能を設定する

本機の液晶画面/ビューファインダーはHDR対応ではないため、HDRとしての適切な表示にはなりません。撮影モードをHDRモードに変更した場合、ガンマ表示アシスト機

能を使用すると、撮影しやすさを考慮した表示にすることができます。
ガンマ表示アシスト機能は以下の操作で有効にできます。

LCD/VFメニューのGamma Display AssistをOnにする。

ご注意

- ガンマ表示アシスト機能は、液晶画面/ビューファインダーにのみに適用されます。記録画像や出力画像には適用されません。

ガンマ表示アシスト機能有効時に液晶画面/ビューファインダーの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときに液晶画面/ビューファインダーのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

- ① **HDR の低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する方法**
HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像を液晶画面/ビューファインダーに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。設定方法は以下のとおりです。

SystemメニューのHDR Setting→LCD/VF SDR PreviewをOffにする。

- ② **HDR から SDR への変換を想定して、簡易変換された SDR を表示する方法**
いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。
HDRとSDRのゲイン差をSDR Gainで設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。設定方法は以下のとおりです。

- 1 **SystemメニューのHDR Setting→LCD/VF SDR PreviewをOnにする。**
- 2 **SystemメニューのHDR Setting→SDR GainでSDRのゲインを調整する。**

設定範囲は、0dB～15dBです。
1dB刻みで設定できます。

ガンマ表示アシスト機能とLCD/VF SDR Previewの両方が有効な場合、ゼブラは、SDRの出力レベルとして表示されます。

なお、撮影後、SR Live Metadataを用いて表示をHDR映像からSDRに変換する場合、変換にSDR Gainが用いられ、撮影時に液晶画面/ビューファインダーで確認していた露出のSDR映像の表示に変換されます。

フランジバックの自動調整

レンズマウントの取り付け面と撮像素子面までの距離（フランジバック）を自動調整します。

レンズズームの広角端と望遠端でフォーカスが正しく合わない場合に実施します。
正しく調整されると、フォーカス調整後にズーム位置を変更しても、フォーカスが合ったまま保持されます。

ご注意

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かしたりすると、調整が正しく行われません。調整開始後は完了するまでレンズや本体に触れないでください。
- スロー&クイックモーション撮影時は、フランジバックの自動調整はできません。
- フランジバック調整中は、照明器具や太陽、明るい窓などの光源が、画枠に映り込まないようにしてください。
- フランジバック調整用チャートが必要な場合は、各販売店にお問い合わせください。

- 1 **電源スイッチをONにする。**
- 2 **コンバージョンレンズなどが装着されている場合は取り外す。**
- 3 **通常の撮影モードにする。**
- 4 **LCD/VFメニューのMarker（126ページ）で、SettingをOnにするか、Center MarkerをOff以外に設定して、画面にセンターマーカーを表示する。**
- 5 **フランジバック調整用チャートなど、コントラストのはっきりした被写体**

を約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明をあてる。

被写体は、ズームの望遠端で画面中央になるように置いてください。また、広角端にしたときに被写体より距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。

- 6** ズームを望遠端にして、フランジバック調整用チャートなどの被写体の中心を画面のセンターマーカーに合わせる。
- 7** SystemメニューのRec Format (146ページ) で、Video Formatを3840×2160P、Frequencyを59.94または50のいずれかにする。

- 8** ズームを広角端にして、フルオートモードをOFFにし、シャッタースピード、ゲイン、およびアイリスを次のように設定する (38ページ)。
シャッタースピード：オートシャッター
ゲイン：0dB
アイリス：F1.9 (開放)

- 9** 適切な明るさになるように照明やNDフィルターを調節する。

- 10** 本機底面のZOOMスイッチをSERVO側にする (電動ズームモード)。

- 11** CameraメニューのAuto FB Adjustで、Executeを選択する。
フランジバックの自動調整が始まります。
調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。
調整が正常に終了すると、メッセージが完了メッセージに変わります。

ご注意

- Auto FB Adjust実行中はNDフィルターを切り替えないでください。

調整中に **CANCEL** ボタンを押すとフランジバックの自動調整処理は中断し、実行前の状態に戻ります。

フランジバック調整が正しく行われなかった場合は


エラーメッセージが表示されます。

被写体や照明の状態を確認して、調整をもう一度やり直してください。

測位情報を取得する (GPS)






測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が本機カードスロット内のメディアに記録され、SDI出力できます。

- 1** スタンバイ中にMENUボタンを押す。
- 2** SystemメニューのGPSをOnに設定する。

が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

ご注意

- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星探索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- 出荷時の設定ではGPSはOnになっていません。GPS測位中は撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。記録を止めたい場合は、GPSをOffにしてください。
- 電源を入れてから測位を始めるまで時間がかかることがあります。

- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

ボタン操作で音声チャンネルを切り替える

AudioメニューのAudio OutputのMonitor CH（124ページ）で設定した音声チャンネルの組み合わせを、アサインナブルボタンの操作で切り替えることができます。

内蔵スピーカーやヘッドホンから聞こえる音声チャンネルを選択して、各記録チャンネルに収録される音声を確認することができます。

Audio Monitor CHが割り当てられたアサインナブルボタンを押すと、以下のように音声チャンネルが切り替わります。

現在のMonitor CHの設定値	Audio Monitor CHで切り替え後の設定値
CH1/CH2	CH1
CH3/CH4	CH3
MIX ALL	対象外
CH1	CH2
CH2	CH1/CH2
CH3	CH4
CH4	CH3/CH4

Audio Mon. CH Switchが割り当てられたアサインナブルボタンを押すと、以下のように音声チャンネルが切り替わります。

現在のMonitor CHの設定値	Audio Mon. CH Switchで切り替え後の設定値
CH1/CH2	CH3/CH4
CH3/CH4	CH1/CH2
MIX ALL	対象外
CH1	CH3

現在のMonitor CHの設定値	Audio Mon. CH Switchで切り替え後の設定値
CH2	CH4
CH3	CH1
CH4	CH2

ご注意

- Audio Monitor CHまたはAudio Mon. CH Switchのアサインナブルボタンを押したとき、現在のMonitor CHの設定値がメッセージ表示されます。
- Monitor CHの設定値を変更するには、Monitor CHの設定値がメッセージ表示されている間にAudio Monitor CHまたはAudio Mon. CH Switchのアサインナブルボタンを押します。
- Monitor CHがMIX ALLのときは、音声チャンネルは切り替わりません。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

プランニングメタデータは「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用してネットワーク経由で送受信することもできます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、ビューファインダー画面および液晶画面に表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。
- オリジナルファイル自動転送時に適用されているプランニングメタデータファイルも一緒に転送するためには、UTILITY SD/MSスロットにメディアを挿入し、プロキシ記録モードを有効にする必要があります。

- 下記条件ではプランニングメタデータは転送されません。
 - ーメディアフルの状態ではファイルを転送しているとき
 - ースロット切り替え/リレー記録時にオリジナルファイルを転送しているとき

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルを一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

SxSメモリーカードを使うときは

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル(.xml)を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、MediaメニューのPlanning Metadata (136ページ)でLoad from Media(A)またはLoad from Media(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

ファイルリスト画面が表示されます。

リストには最大512個のプランニングメタデータファイルが表示されます。

ファイルリストの並び順をMediaメニューのPlanning MetadataのSort byで変更できます。

Sort byの設定値	並び順
Date/Time (0-9)	ファイルリストのDate/Time列で昇順（生成日時が古い方を前）に並べる。
Date/Time (9-0)	Date/Time列で降順（生成日時が新しい方を前）に並べる。

プランニングメタデータファイル保存ディレクトリー

exFAT : XDROOT/General/Sony/Planning
UDF : General/Sony/Planning

ご注意

- FAT時は、プランニングメタデータファイルの読み込みはできません。

SDXCカードを使うときは

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02（31ページ）を使用してSDXCカードからプランニングメタデータファイルを読み込みます。

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル（.xml）を保存したSDXCカードをメディアアダプターにセットして本機のカードスロットに挿入します。MediaメニューのPlanning Metadata（136ページ）でLoad from Media(A)またはLoad from Media(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

ファイルリスト画面が表示されます。

リストには最大512個のプランニングメタデータファイルが表示されます。

ファイルリストの並び順をMediaメニューのPlanning MetadataのSort byで変更できます。

Sort byの設定値	並び順
Date/Time (0-9)	ファイルリストのDate/Time列で昇順（生成日時が古い方を前）に並べる。
Date/Time (9-0)	Date/Time列で降順（生成日時が新しい方を前）に並べる。

プランニングメタデータファイル保存ディレクトリー

exFAT：PRIVATE/XDROOT/General/Sony/Planning

ご注意

- UDF/FAT時は、プランニングメタデータファイルの読み込みはできません。
- SDHC/SDカードからの読み込みはできません。

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

MediaメニューのPlanning Metadata（136ページ）でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

MediaメニューのPlanning Metadata（136ページ）でClear Memoryを選択し、Executeを選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、↵は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>↵
```

```
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">↵
```

```
<PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"sp
```

```

modifiedBy="Chris">←
  <TitlespusAscii="Typhoon"sp
    xml:lang="ja">台風上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←

```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、MediaメニューのClip Naming（135ページ）のAuto Namingで、Planを選びます。

記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（_）と5桁の通し番号（00001～99999）が付加された形式で自動生成されます。

例：台風上陸_00001、台風上陸_00002、...

ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができません。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

ご注意

- ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```

<?xmlspversion="1.0"spencoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
H00123"spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z"spversion="
1.00">←
<PropertiessppropertyId=
"assignment"spclass="original"sp
update="2011-04-15T15:00:00Z"sp
modifiedBy="Chris">←
  <TitlespusAscii="Football
  Game"spxml:lang="ja">
  Football Game 15/04/2011
  </Title>←
    <Metaspname="_ShotMark1"sp
      content="Goal"/>←
    <Metaspname="_ShotMark2"sp
      content="Shoot"/>←
  </Properties>←
</PlanningMetadata>←

```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では

「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータファイルを転送する

プランニングメタデータファイルはオリジナルファイル、またはプロキシファイルと一緒に転送することができます。

プランニングメタデータファイルは、Auto Upload(Proxy)がOn、かつSDカードマウント時、またはAuto UploadとAuto Upload(Proxy)が両方ともOn、かつSDカードマウント時に自動転送することができます。

プロキシ記録については「プロキシ記録をする」(61ページ)、オリジナルファイル、およびプロキシファイルの転送については「ファイルを転送する」(74ページ)をご覧ください。

ご注意

- 以下の場合は、プランニングメタデータファイルは転送されません。
 - メディアフルにより記録が停止し、ファイルが確定した場合
 - リレー記録や2スロット同時記録により、記録メディアが変わった場合
切り替わる前のファイルのプランニングメタデータファイルは転送されません。切り替わった後に記録停止した際のファイルは、プランニングメタデータファイルが転送されません。
 - 6時間記録でファイルが分割された場合
切り替わる前のファイルにはプランニングメタデータファイルは付随しません。
 - クリップコンティニュースレックとプロキシ記録を併用した場合

プロキシ記録をする

SxSメモリーカードに記録すると同時に、プロキシデータをSDカードに記録することができます。

本機で使用可能なSDカード

SDXCメモリーカード* (Speed Class : 4以上)

SDHCメモリーカード* (Speed Class : 4以上/容量 : 32GBまで)

SDメモリーカード* (Speed Class4以上/容量 : 2GBまで)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

- 1 SDカードを、ラベルを右にして UTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。**
- 2 MediaメニューのFormat Media（133ページ）で、Utility SD/MSを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。**

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して画面を消します。


ご注意

- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。
- SDXCカードはexFATで、SDHCカードはFAT32でフォーマットされます。

残容量を確認する

メディアステータス画面（18ページ）を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

ご注意

- SDカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

プロキシ記録する

撮影前の設定

- 1 **RecordingメニューのProxy Recで、SettingをOnにする。**
- 2 **SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。**

ご注意

- プロキシ記録は、スロー&クイックモーション、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub)記録と同時にOnにすることはできません。
- プロキシ記録をOnにすると、スロー & クイックモーション以外の機能は強制的にOffになります。
- プロキシ記録がOnのときにスロー & クイックモーションをOnにするとプロキシ記録が一時的にOffになり、スロー & クイックモーションをOffにすると再びプロキシ記録がOnになります。

プロキシ記録で撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

ご注意

- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

SxSメモリーカードの記録と同時に、プロキシデータの記録も停止します。

プロキシ記録時の設定を変更する

映像のサイズを設定する

RecordingメニューのProxy RecでProxy Formatを選択し、映像のサイズを設定する。

オーディオチャンネルを設定する

RecordingメニューのProxy RecのAudio Channelで、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定することができます。

プロキシファイルを分割記録し、転送する

オートアップロードの設定をChunkにした状態で、プロキシファイルを以下の設定で分割記録すると、本線記録中でもプロキシファイルを転送することが可能になります。

- 1 **Recordingメニューで、Proxy Recを選択する。**
- 2 **Proxy RecのChunkを選択し、分割記録時間を選択する。**

30sec：30秒単位でプロキシファイルを分割して記録します（初期設定値）。

1min：1分単位でプロキシファイルを分割して記録します。

2min：2分単位でプロキシファイルを分割して記録します。

3 NetworkメニューのFile Transferで、Auto Upload (Proxy)をChunkにする。

4 プロキシ記録を開始する。
設定した分割記録時間ごとにプロキシファイルが転送ジョブとしてジョブリストに登録されます。

ご注意

- Auto Upload (Proxy)がChunkに設定されていない場合、プロキシの分割記録は行われません。

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。
タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、「/PRIVATE/PXROOT/Clip」のディレクトリーに保存されます。

ファイル名について

SxSメモリーカードに記録されるクリップ名+連番です。

- 連番は電源を切っても保存されます。All Resetを実行すると、0001に戻ります。
- ◆ クリップ名については、MediaメニューのClip Naming（135ページ）をご覧ください。

プロキシデータのみ記録する

SxSメモリーカードへの記録を行わず、UTILITY SD/MSスロットのSDカードへのプロキシデータの記録のみ単独で行うことができます。

記録されるプロキシデータの記録フォーマットは、同時記録の場合と同じです。

撮影前の設定

- 1 アサインابلボタン（48ページ）にProxy Rec Start/Stopを割り当てる。**
- 2 RecordingメニューのProxy Recで、SettingをOnにする。**
- 3 SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。**

撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

Proxy Rec Start/Stopを割り当てたアサインابلボタンを押す。

撮影を終了するには、アサインابلボタンを押します。

デバイスとLAN接続する

本機の内蔵LAN機能を使用して、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をLAN接続することができます。

LAN接続されたデバイスと本機の間では、Webリモコン（85ページ）や「Content Browser Mobile」アプリケーションなどを用いて、以下の操作が可能です。

- **プランニングメタデータ（58ページ）**
デバイスと本機でプランニングメタデータを送受信できます。
あらかじめ作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名を指定することができます。
- **LAN経由でのリモート操作**
本機とLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。
- **LAN経由でのファイル転送**
本機のSDカードに記録されたプロキシファイル（低解像度）や本機で記録したオリジナルファイル（高解像度）を、LAN経由でサーバーに転送することができます。
- **LAN経由での映像をモニタリング**
本機のカメラ映像や再生映像からストリーム（H.264）を作成し、「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってデバイスから映像をモニタリングすることができます。

「Content Browser Mobile」アプリケーション

デバイスの画面で本機をストリーミングしながら、リモート操作や本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

- ◆「Content Browser Mobile」アプリケーションについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

ご注意

- 本機のバージョンが3.00以降の場合、バージョン3.2.0以降のContent Browser Mobileをお使いください。

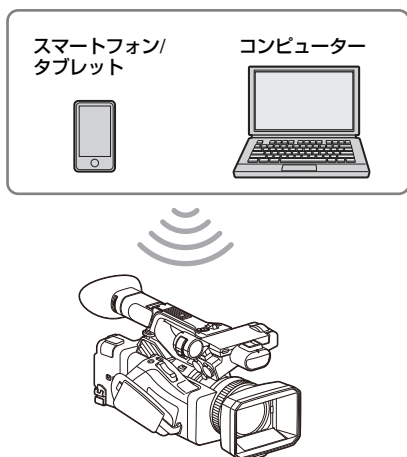
ソニーのQoS 技術を用いた高品質なストリーミング（78 ページ）

ソニー製ネットワークRXステーション（別売）またはC3 Portal*のConnection Control Manager（CCM）と本機をネットワーククライアントモードで接続して使用すると、高品質なストリーミングをすることができます。

- * C3 Portalは、ソニーが提供するクラウドサービスです。
このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。
一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域についてC3 Portalのサイトをご確認ください。
<https://www.c3p.sony.net>
また、C3 Portalのプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。
 - ー 利用規約
https://www.c3p.sony.net/site/tos_eu.html
 - ー C3 Portalのプライバシーポリシー
https://www.c3p.sony.net/site/c3p_privacy_policy.html
 - ー プロフェッショナルIDのプライバシーポリシー
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

ワイヤレスLANアクセスポイントモード（Access Pointモード）で接続する

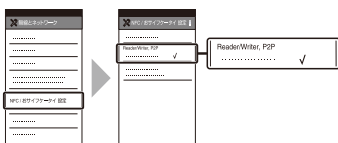
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN 接続します。




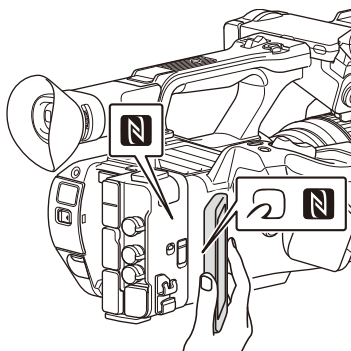
NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。


- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NFC機能を有効にする。
NFCを割り当てたアサインボタンを長押し（3秒間）するか、NetworkメニューのWireless LANのNFCを実行して、NFC接続モードにしてください。画面に  が表示されているときのみNFC機能を使用できます。
- 4 本機とデバイスをタッチする。
デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



ご注意

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応しています。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。
- 2 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
- 3 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択して接続する。

ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
- 本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings（139ページ）のCamera SSID & Passwordで表示してご確認ください。
- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

5 Webリモコンを表示する（86ページ）。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。

2 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

3 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。

本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings（139ページ）のCamera SSID & Passwordでご確認ください。

ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
- 本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings（139ページ）のCamera SSID & Passwordで表示してご確認ください。
- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

4 Webリモコンを表示する（86ページ）。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

ワイヤレスLAN ステーションモード（Stationモード）で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。

接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。

接続履歴はALLファイルに保存されますが、アクセスのパスワードは保存されないため、ALLファイルの呼び出し後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Station Modeを選択する。

4 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。

5 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。

WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

接続が完了すると、液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示のアイコンが強度1以上で点灯します。

ご注意

- 接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

6 デバイスをアクセスポイントに接続する。

接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

7 Webリモコンを表示する（86ページ）。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

ネットワーク自動検出または手動でアクセスポイントに接続する

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができません。

このときネットワーク自動検出機能を使用して、接続したいアクセスポイントを検出し、接続設定することができます。

ネットワーク自動検出機能を使用して接続する

1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」（66ページ）の手順1～3を行う。

2 NetworkメニューのST Mode SettingsのScan Networks（140ページ）で、Executeを選択する。

本機が接続先の検出を開始します。接続先を見つけると、Scan Networksの結果リストが表示されます。

3 矢印ボタンまたはSEL/SETダイヤルで接続先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して決定する。

決定すると、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面が表示されます。SSIDには選択した接続先が表示されます。

4 Passwordを選択し、パスワード入力画面でパスワードを設定する。

接続履歴にあるSSIDを選択すると、パスワードを含んだ設定値が自動的に設定されます。

パスワードを設定したら、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面に戻ります。

5 以下の接続設定を行う。

- DHCP
DHCPを設定します。
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask
本機のサブネットマスクを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

- Secondary DNS Server
アクセスポイントのセカンダリー DNSサーバーを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

6 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

手動で入力して接続する

1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(66ページ)の手順1～3を行う。

2 NetworkメニューのST Mode SettingsのManual Register (140ページ)で、Executeを選択する。

決定すると、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面が表示されます。

3 以下の接続設定を行う。

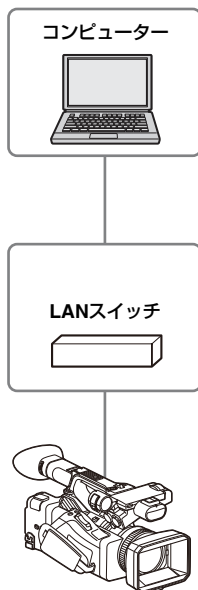
- SSID
接続先のアクセスポイントのSSIDを入力します。
- Security
暗号化方式を選択します。
- Password
接続先のアクセスポイントのパスワードを入力します。
- DHCP
DHCPを設定します。
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask
本機のサブネットマスクを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
ゲートウェイのアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。

- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

4 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

LANケーブルを使用してデバイスと接続する

本機の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続することによって、デバイスと接続することができます。



ご注意

- 有線LANは、モデム/スマートフォンと同時に使用できません。

有線LANと映像出力との組み合わせについて

VideoメニューのOutput On/Off（124ページ）で、SDI、HDMI、VIDEOのうち2つ以上Onになっている場合、有線LANは使用できません。

Output On/OffはデフォルトですべてOnに設定されていますので、有線LANを使用する場合はOutput On/Offを2つ以上Offにしてください。

また、有線LANとワイヤレスLANを同時に使用するには、Output On/OffをすべてOffにする必要があります。

ご注意

- 有線LANと映像出力を同時に使用すると、液晶画面の輝度が下がります。

LANケーブルの接続と有線LAN設定

1 本機の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続する。

2 本機の電源を入れる。

3 NetworkメニューのWired LAN（141ページ）で、SettingをOnに設定する。

4 メニューDetail Settingsで、接続設定を行う。

- DHCP
DHCPを設定します。
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask
本機のサブネットマスクを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
ゲートウェイのアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。

- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。
DNS AutoがOffのときに有効です。

5 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

ご注意

- 接続設定を変更した場合、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

インターネット接続する

本機は、モデム、スマートフォン、ワイヤレスLAN、有線LANでインターネットに接続することができます。

モデム/スマートフォンを使用し て接続する

モデム（別売）を本機に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。

さらに、複数のモデムやスマートフォンを同時に取り付けて使用することにより、ネットワーククライアントモードでの高品質なストリーミングを、2回線を使用した、より高品質かつ冗長性を持ったストリーミングとすることができます。

本機に対応しているモデム、スマートフォンについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

ご注意

- モデム/スマートフォンは、有線LANと同時に使用できません。
- バッテリーパックBP-U35を使用する場合、モデム/スマートフォンは使用できません。
- モデム/スマートフォンと映像出力を同時に使用すると、液晶画面の輝度が下がります。

モデム/スマートフォンを本機に取り付ける

次のどちらかの方法でモデム/スマートフォンを本機に取り付けます。

USB2.0 (HOST) 端子または USB3.0 (HOST) 端子に取り付ける

それぞれの端子にUSB規格に合うモデム/スマートフォンを取り付けます。両方の端子にモデム/スマートフォンを取り付けて、2台同時に使用することもできます。

ご注意

- モデム/スマートフォンの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

- 専用USBハブに取り付けたモデム/スマートフォンを使用しているときは、USB3.0 (HOST) 端子に取り付けたモデム/スマートフォンは使用できません。

USB2.0 (HOST) 端子に接続した専用USBハブ (CBK-DL1) にモデム/スマートフォンを取り付ける

USB2.0 (HOST) 端子に接続した専用USBハブにモデム/スマートフォンを1個または2個取り付けます。

ご注意

- モデム/スマートフォンおよび専用USBハブの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- 専用USBハブを接続した場合、USB3.0 (HOST) 端子に取り付けたモデム/スマートフォンは使用できません。

ネットワーク設定支援ツールでネットワークを設定する

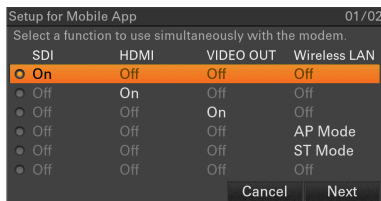
スマートフォンを使用して接続する場合、本機側で同時に使用するネットワーク機能や映像出力の組み合わせを設定する必要があります。ネットワーク設定支援ツールを使用すれば、それらの設定を簡単に行うことができます。

また、ネットワーク設定支援ツールは、本機にアクセスするために必要な情報をQRコード化することができます。

本機能を使用する場合は、あらかじめスマートフォンにC3 Portal専用アプリをインストールしてください。

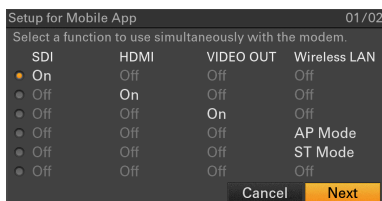
1 本機の電源を入れる。

2 NetworkメニューのSetup for Mobile Appで、Setupを選択する。 機能選択画面が表示されます。



3 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで使用したい組み合わせを選択する。

4 **Next**を選択する。



設定内容の確認画面が表示されます。

5 設定内容を確認して**OK**を選択する。

設定が開始されます。設定中は「Changing」のメッセージが表示されます。

設定が正常に終了すると、次の画面が表示されます。



ご注意

- パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出しないように注意してください。

6 スマートフォンにインストールした**C3 Portal専用アプリ**を起動して、スマートフォンのカメラでQRコードを読み取る。

C3 Portal専用アプリの操作方法については、C3 Portal専用アプリのヘルプをご覧ください。

スマートフォンに本機のアクセスに必要な情報が読み込まれます。

専用アプリについては、C3 Portalのサイトをご確認ください。

<https://www.c3p.sony.net>

ご注意

- 映像出力および無線LANの設定を変更する場合は、あらかじめVideoメニューのOutput On/Offの設定をすべてOn、かつNetworkメニューのModemのSettingをOffに設定してください。

ワイヤレスLANステーション モード (Wi-Fi Station モード) で接続する

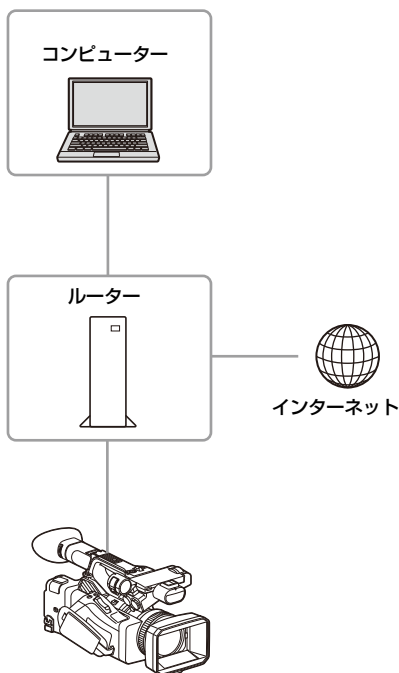
ワイヤレスLANルーター（別売）またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fiステーションモードでインターネットに接続することができます。



ワイヤレスLANルーターまたはデバイスへは、「ワイヤレスLAN ステーションモード (Stationモード) で接続する」(66ページ)の手順で接続します。

LANケーブルを使用して接続する

本機の有線LAN端子とインターネットルーターをLANケーブルで接続することによって、インターネットに接続することができます。



インターネットルーターへは「LANケーブルを使用してデバイスと接続する」(68ページ)の手順で接続します。

ネットワーク接続による対応機能一覧

ネットワーク機能とネットワーク接続モードの対応状況は以下のとおりです。

ネットワーク機能	ネットワーク接続モード				
	Access Point	Station	Modem	Wired LAN	Off
ファイル転送 (74ページ)	×	○	○	○ ¹⁾	×
ストリーミング伝送 (77ページ)	×	○	○	○	×
RTMPストリーミング (82ページ)					
モニタリング (87ページ)	○ ¹⁾	○ ¹⁾	×	○ ¹⁾	×
本機のリモート操作 (85ページ)	○ ¹⁾	○ ¹⁾	×	○ ¹⁾	×

1) 本機とネットワーク接続したデバイスの機能に対応

ファイルを転送する

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを、3G/4G回線やアクセスポイント経由で接続したインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

ご注意

- ストリーミング中は転送が中断されます。ストリーミングを停止すると転送を再開します。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は転送が中断されます。記録を停止すると転送を再開します。
- ファイル転送中に再生を行うと、再生画が乱れることがあります。

準備する

ネットワークに接続する

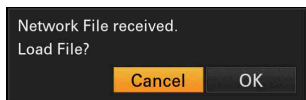
「インターネット接続する」(70ページ)の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

ファイル転送に必要な設定情報を自動で設定する(スマートフォン接続時)

スマートフォンでネットワークに接続し、かつスマートフォンにC3 Portal専用アプリがインストールされている場合、スマートフォンから本機にファイル転送に必要な設定情報を送信することができます。

- 1 **スマートフォンのC3 Portal専用アプリでファイル転送情報を本機に送信する。**
C3 Portal専用アプリの操作方法については、C3 Portal専用アプリのヘルプをご覧ください。

本機が正常にファイル転送情報を受信すると、以下のメッセージが表示されます。



- 2 **OKを選択する。**

設定の読み込みが開始されます。
設定の読み込みが正常に終了すると、「Network File loaded.」のメッセージが表示されます。

自動で設定される項目

自動で設定される項目については、下記の「ファイルの転送先を登録する」の手順2をご覧ください。

ご注意

- Root Certificateは自動では設定できません。手動で設定してください。

ファイルの転送先を登録する

あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

- 1 **NetworkメニューのFile Transferで、Server Settings1（またはServer Settings2、Server Settings3）を選択する。**

転送先設定画面が表示されます。

- 2 **転送先設定画面の各項目を設定する。**

Display Name

転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。

Service

サーバーの種類を表示します。
「FTP」：FTP サーバー

Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

Port

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

Destination Directory

転送先ディレクトリー名を入力します。

ご注意

- 編集時、編集不可能な文字は"□"で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。
- 転送先サーバーで使用できない文字をDestination Directoryに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

Root Certificate

証明書の読み込みや消去を行います。

- Load
手順3でSetを選択すると、CA証明書を読み込みます。
* 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。
- Clear
手順3でSetを選択すると、CA証明書をクリアします。
- None
読み込み／消去を行いません。

ご注意

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CA証明書をLoad/Clearすることはできません。

Root Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

Reset

Server Settingsの設定を初期値に戻します。

3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

Webリモコンの「転送先のサーバーを登録する」(87ページ)でもサーバーを登録できます。

ファイルを選んで転送する

本機のSD カードに記録したファイル、SxS メモリーカードのオリジナルファイルをサーバーに転送します。

転送は、Webリモコンで行うこともできます。詳しくは、「ファイルの転送「Slot A、Slot B、Slot SD/MS」」(88ページ)をご覧ください。

サムネイル画面からSDカードのプロキシファイルを転送する

1 ThumbnailメニューのTransfer Clip (Proxy)で、Select Clipを選択する。

画面がセットアップメニューからサムネイル画面に変わります。

転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。

2 左/右/上/下ボタンまたはSEL/SETダイヤルで転送したいファイル（クリップ）を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択したクリップにチェックマークが付きます。

3 MENUボタンを押す。

確認画面が表示されます。

4 Executeを選択する。

選択したファイルの転送とジョブリストへの登録が開始され、登録結果が表示されます。

5 OKを選択する。

ファイルを一括転送するには

手順1でSelect Clipではなく、All Clipsを選択するとファイルに対応するプロキシファイルが一括転送されます。

ご注意

- 転送できるファイルの上限は200件です。

サムネイル画面からSxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

1 ThumbnailメニューのTransfer Clipで、Select Clipを選択する。

画面がセットアップメニューからサムネイル画面に変わります。

転送操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で行えます。

2 ボタンまたはSEL/SETダイヤルで転送したいファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択したクリップにチェックマークが付きます。

3 MENUボタンを押す。

確認画面が表示されます。

4 Executeを選択する。

選択したファイルの転送とジョブリストへの登録が開始され、登録結果が表示されます。

5 OKを選択する。

ファイルを一括転送するには

手順1でSelect Clipではなく、All Clipsを選択するとファイルが一括転送されます。

ご注意

- 転送できるファイルの上限は200件です。

ファイル転送の確認をする

NetworkメニューのFile TransferのView Job Listを選択して表示される画面で確認できます。

ご注意

- 転送ジョブは200件まで登録可能です。
- ジョブリストは本機の電源を切っても保持されますが、電源スイッチをSTANDBYにせずにバッテリーパックを取り外すなどして電源を切った場合には、最大で10分間程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリスト上に保存されません。

- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

ファイルを自動転送する

NetworkメニューのFile TransferでAuto Upload（143ページ）またはAuto Upload (Proxy)（143ページ）をOnに設定すると、ネットワーク接続状態の場合、記録終了時にDefault Upload Server（143ページ）で設定されたサーバーまたはC3 Portalに対して自動的にオリジナルファイルやプロキシファイルを送信します。オリジナルファイルとプロキシファイルの両方を自動転送設定している場合には、プロキシファイルが優先して自動転送されます。

ご注意

- ネットワークの状況次第では、転送ジョブの順番が入れ替わります。
- 長時間記録中の自動分割時は、転送ジョブの順番が入れ替わることがあります。

セキュアなFTP転送を行うには

ファイル転送先サーバーとの接続にFTPESのExplicitモード（FTPES）を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、Using Secure ProtocolをONに設定し、証明書の読み込みを行います。

設定方法については、「ファイルの転送先を登録する」（74ページ）をご覧ください。

映像・音声をストリーミング伝送する

カムコーダーで撮影・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送することができます。

ストリーミング伝送の伝送先とフォーマットを設定する

ストリーミングの伝送先は、Destination Settingsとして3つまで設定できます。

- 1 **NetworkメニューのStreamingで、Destination Settings1（またはDestination Settings2、Destination Settings3）を選択する。**
ストリーミングの接続先設定画面が表示されます。
- 2 **接続先設定画面の各項目を設定する。**

Display Name

Destination Settingsのメニュー上の表示名を設定します。

Streaming Type

ストリーミング用の映像の種類を表示します（MPEG-2 TS/UDP固定）。

Streaming Format

ストリーミングする映像のフォーマットを設定します。

- 1920x1080 9M
- 1920x1080 6M
- 1920x1080 3M
- 1280x720P 9M
- 1280x720P 6M
- 1280x720P 3M
- 1280x720P 2M
- 640x360P 3M
- 640x360P 2M
- 640x360P 1M
- 480x270P 1M
- 480x270P 0.5M

- 480x270P 0.3M
- 480x270P 0.2M
- 320x180P 0.2M

Audio Channel

ストリーミング出力に乗せるAudio Channelを選択します。

- CH1/CH2
- CH3/CH4
- CH1
- CH2
- CH3
- CH4

ご注意

- 選択できるAudio Channelは、Streaming Formatにより制約を受けます。

Destination Address

ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。

Destination Port

ストリーミングに使用する伝送先サーバーのポート番号を入力します。

Reset

Destination Settingsの設定を初期値に戻します。

- 3 **設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。**
設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- 4 **NetworkメニューのStreamingのDestination Selectで、手順1～3で設定したDestination Settings1（またはDestination Settings2、Destination Settings3）を選択する。**

ストリーミングを開始する

- 1 「インターネット接続する」（70ページ）または「デバイスとLAN接続する」（64ページ）の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。

2 NetworkメニューのStreamingで、SettingをOnにする。

設定に応じてストリーミングが開始されます。
アサインボタン（48ページ）にStreamingを割り当て押すことでストリーミングを開始できます。

ご注意

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - － NetworkメニューのNetwork Client ModeのSettingがOnのとき
 - － NetworkメニューのRTMP/RTMPSのSettingがOnのとき
 - － SystemメニューのRec FormatのCodecがDVCAM(MXF)のとき
 - － RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
 - － RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
 - － RecordingメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- ストリーミングを開始してから実際に映像・音声にストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの伝送先設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示にxが表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏れいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、Streaming Formatでより小さいサイズフォーマットを選んでください。
- モニタリング中にストリーミングを開始すると、モニタリングは停止します。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。

ストリーミングを停止する

NetworkメニューのStreamingで、SettingをOffにする。

ストリーミングが停止します。
Streamingを割り当てたアサインボタンを押すことでストリーミングを停止できます。

ネットワーククライアントモードについて

ネットワーククライアントモードを有効にし、本機とソニー製ネットワークRXステーション（別売）、またはC3 PortalのConnection Control Manager（以降「CCM」）を接続して使うことで、高品質なストリーミングが可能になります。
また、ネットワーククライアントモードを使用して、本機のUSB3.0（HOST）端子に接続したヘッドセットでカムコーダーとネットワークRXステーション、またはC3 PortalのCCMでインカム通話を行うことができます。

ネットワーククライアントモードの接続先を設定する

ネットワーククライアントモードの接続先は、NCM Settingsとして3つまで設定できます。

1 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、NCM Settings1（またはNCM Settings2、NCM Settings3）を選択する。

ネットワーククライアントモードの接続先設定画面が表示されます。

2 接続先設定画面の各項目を設定する。

Display Name

NCM Settingsのメニュー上の表示名を設定します。

CCM Address

接続先のCCMのアドレスを入力します
(ホスト名またはIPアドレス)。

CCM Port

接続先のCCMのポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

CCM Certificate

CCM接続用の証明書の読み込みや消去について設定します。

- Load
手順3でSetを選択すると、証明書を読み込みます。
- * 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに"CCM_certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。
- Clear
手順3でSetを選択すると、証明書をクリアします。
- None
読み込み／消去を行いません。

ご注意

- CCM接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CCM接続用の証明書をLoad/Clearすることはできません。

CCM Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

Camera Control

CCM接続時のカメラコントロール許可／不許可を設定します。

Camera Setting

CCM接続時のAll File操作の許可／不許可を設定します。

Reset

NCM Settingsの設定を初期値に戻します。

- 3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。
設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- 4 NetworkメニューのNetwork Client ModeのNCM Settings Selectで、手順1～3で設定したNCM Settings1 (またはNCM Settings2、NCM Settings3) を選択する。

ネットワーククライアントモードで接続する

- 1 「インターネット接続する」(70ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。
- 2 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、SettingをOnにする。
ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションまたはC3 Portalと接続します。
ネットワークRXステーションの操作により、ライブストリーミングが開始されます。操作については、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはC3 Portalのヘルプをご覧ください。
なお、アサインボタン (48ページ) にNetwork Client Modeを割り当て押すことで、SettingをOn/Offできます。

ご注意

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - SystemメニューのRec FormatのCodecがDVCAM(MXF)のとき
 - RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
 - RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
 - RecordingメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- ネットワーククライアントモード移行について
 - 通常のストリーミング (77ページ)、RTMPストリーミング (82ページ) 中はネットワーククライアントモードに移行できません。
 - ネットワーククライアントモードに移行すると、通常のストリーミング、モニタリング (87ページ) はできません。

- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリングは停止します。
- ストリーミングについて
 - ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
 - ファイル転送中にネットワーククライアントモードでのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
 - ネットワーククライアントモードでのストリーミング中にSettingをOffにした場合は、ストリーミングが停止します。
 - ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、NCM Settings SelectとNCM Settings Selectで選択されているNCM Settingsの内容は変更できません。
 - ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
 - ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、記録設定は変更できません。
 - ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、有線LAN設定は変更できません。
 - QoSストリーミング中にサムネイルや再生画面に遷移すると、ストリーミングが停止します。
 - ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線Rec Formatによって変わります。
- User NameとPasswordと証明書はALLファイルに保存されませんので、ALLファイルの読み込み後に再設定する必要があります。

ネットワーククライアントモードでファイルを転送する

ネットワークRXステーションのCCMと本機をネットワーククライアントモードで接続して、CCMで設定されたサーバーへファイル転送することができます。

1 転送したいファイルを選ぶ。

- プロキシ記録を転送する場合
「SDカードのプロキシファイルを転送する」(89ページ)の手順1~4参照
- オリジナルファイルを転送する場合
「SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する」(89ページ)の手順1~4参照

2 Transferをタップする。

転送先に「NCM：RX Server」が表示されます。

「NCM：RX Server」を転送先に指定します。

3 Transferをタップする。

CCMで設定されたサーバーへ、選んだファイルの転送を開始します。

ご注意

- ネットワーククライアントモードでないときも、転送先を「NCM：RX Server」にできます。この場合は、転送は保留となり、ネットワーククライアントモードでCCMに接続後、CCMで設定されたサーバーへ転送を開始します。

ネットワーククライアントモードでインカム通話をする

ネットワーククライアントモードを使用して、本機のUSB3.0 (HOST) 端子に接続したヘッドセットでカムコーダーとネットワークRXステーション、またはC3 PortalのCCMでインカム通話を行うことができます。

ご注意

- ヘッドセットは必ず本機のUSB3.0 (HOST) 端子に接続してください。
- 接続規格はUSB2.0相当です。
- USBハブを介してヘッドセットを接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USB3.0 (HOST) 端子とUSB2.0 (HOST) 端子の両方にヘッドセットを接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USB2.0 (HOST) 端子にヘッドセットを接続すると、インカム通話が行えなくなる場合があります。USB2.0 (HOST) 端子に接続したヘッドセットを抜いた上で、いったん電源スイッチをSTANDBYに変更したあと、再度電源スイッチをONにしてください。
- インカム通話中にNetwork Client ModeのSettingをOffにすると、インカム通話が停止します。
- インカム通話中にNCM Settings SelectとNCM Settings Selectで選択されているNCM Settingsの内容を変更すると、インカム通話が停止します。
- メニューの設定が以下の場合、CCMからカムコーダー（本機）にインカム通話の開始指示はできません。
 - CameraメニューのFocusのFace Detection AFがFace Only AF または Face Priority AF
 - RecordingメニューのProxy RecのSettingがOn
 - Recordingメニューの4K & HD(Sub)RecのSettingがOn

1 「インターネット接続する」(70ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

2 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、SettingをOnにする。

ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーション、またはC3 PortalのCCMと接続します。以降の操作については、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはC3 Portalのヘルプをご覧ください。

3 CCMから接続されたカムコーダー(本機)にインカム通話の開始指示を行う。

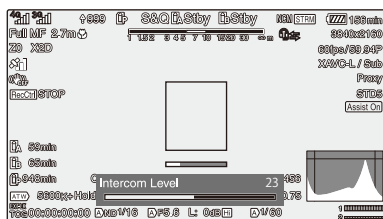
CCMからの開始指示を受信するとモニター画面上にインカム接続アイコンが表示されます(16ページ)。

4 CCMから接続されたカムコーダー(本機)にインカム通話の停止指示を行う。

通話を中止するには、CCMからカムコーダー(本機)にインカム通話の中止指示を行います。

インカムの受話レベル調整

ヘッドセットの音量ボタンを操作すると、モニター画面に受話レベル調整用レベルバーが表示されます。アサインボタンにIntercom Levelが割り当てられていれば、そのボタンを押してモニター画面に受話レベル調整用レベルバーを表示することもできます。



受話レベル調整用レベルバーが表示された状態で受話レベルを調整してください。ヘッドセットの音量を大きくするボタンを押す、またはSEL/SETダイヤルを上に戻す

か▲/▼/◀/▶ボタンの▲または▶を押すと、音量が大きくなります。ヘッドセットの音量を小さくするボタンを押す、またはSEL/SETダイヤルを下に戻すか▲/▼/◀/▶ボタンの▼または◀を押すと、音量が小さくなります。

ご注意

- 受話レベル調整はヘッドセットの機能に依存するため、ヘッドセットの音量ボタンを押したとき、以下のいずれかの調整が行われます。
 - ヘッドセット内部の受話レベルのみ調整される
 - ヘッドセット内部の受話レベルとカムコーダー側が持つ受話レベルの両方が調整される
 - ヘッドセットに受話レベル調整機能がないとき、カムコーダー側の受話レベルのみ調整される
- ヘッドセットの機能に依存して以下のような動作となる場合があります。
 - ヘッドセットの音量ボタンの1回押したとき、受話レベル値が2レベル以上変化する
 - ヘッドセットの音量ボタンを2回以上押さないとき、受話レベル値が変化しない
 - 受話レベル値が2レベル以上変化しないと、実際の音量が変化しない
 - 音量ボタンを押してもモニター画面に受話レベル調整用レベルバーが表示されない
- ヘッドセットのみで受話レベルを調整する場合、モニター画面に受話レベル調整用レベルバーは表示されません。
- 通信状況や処理の負荷状況によっては、音質が悪くなることがあります。

映像・音声をRTMP/ RTMPSストリーミング 伝送する

Adobe Systems社が開発したRTMP（Real Time Messaging Protocol）でカムコーダーで撮影・再生している映像・音声を低遅延でストリーミング伝送することができます。SSLで暗号化したRTMPSにも対応しています。

RTMP/RTMPSストリーミング 伝送の伝送先とフォーマットを 設定する

- 1 **NetworkメニューのRTMP/RTMPS→RTMP Settings Selectで、RTMP Settings1（またはRTMP Settings2、RTMP Settings3）を選択する。**

RTMP/RTMPSストリーミングの接続先設定画面が表示されます。

- 2 **接続先設定画面の各項目を設定する。**

Display Name

RTMP Settingsのメニュー上の表示名を設定します。

Streaming Format

ストリーミングする映像のフォーマットを設定します。

- 1920x1080 9M
- 1920x1080 6M
- 1280x720P 3M
- 640x360P 1M

Destination URL

接続するRTMPサーバーのURLを設定します。

"rtmps://"で始まるURLは、RTMPSストリーミングと認識され、ストリーミングデータは暗号化されます。この場合、

RTMPS接続用の証明書が必要になります。

Stream Name

ストリーミングサーバーから配布されるストリーミングチャンネル名を設定します。

RTMPS Certificate

RTMPSストリーミングを使用するときに設定する項目です。

RTMPS接続用の証明書の読み込みや消去について設定します。

- Load

証明書を読み込みます。

- * 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリに"RTMPS_certificate.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。

- Clear

証明書をクリアします。

- None

読み込み／消去を行いません。

ここで証明書を読み込まない場合は、本機内蔵の既定証明書が使用されます。なお、既定証明書は、ユーザー任意の既定証明書に変更することも可能です。既定証明書の変更については、「本機内蔵の既定証明書をユーザー任意の既定証明書に変更する」（83ページ）をご覧ください。

- 3 **設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。**

設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

ご注意

- RTMPS接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840x2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、RTMPS接続用の証明書をLoad/Clearすることはできません。

RTMPS Certificate Status

RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示します。

Load from Utility SD/MS

UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアに記録されているRTMP/RTMPSのDisplay Name、Destination URL、およびStream Nameの情報を本機に読み込みます。

ご注意

- Display Name、Destination URLおよびStream Nameを読み込むためのファイルを作成するには公開鍵が必要です。公開鍵はFile メニューのNetwork Public Key→Key Export (138ページ) でSDカードに保存できます。保存した公開鍵でアプリケーションソフト「Streaming Setting Transfer」を使用して読み込むためのファイルを作成してください。

Reset

各設定項目を初期値に戻します。

本機内蔵の既定証明書をユーザー任意の既定証明書に変更する

- 1 **UTILITY SD/MSスロットにユーザー任意の既定証明書が保存されているSDカードを挿入する。**
- 2 **NetworkメニューのRTMP/RTMPSで、Replace Default Certificatesを選択し、Executeを選択する。**
証明書ファイルが書き込まれているか確認用のメッセージが表示されます。
- 3 **OKを選択する。**
ユーザー任意の既定証明書が本機に読み込まれます。
読み込まれるファイル：SDカードのルートディレクトリ直下の"RTMPS_DefaultCertificates.pem"

読み込みが正常に終了すると、「Certificate loaded.」のメッセージが表示されます。

本機内蔵の既定証明書に戻す

NetworkメニューのRTMP/RTMPSで、Reset Default Certificatesを選択し、Executeを選択する。

操作が正常に終了すると、「Certificates have been reset.」のメッセージが表示されます。
ユーザーが任意に登録した既定証明書が削除され、本機内蔵の既定証明書が有効になります。

既定証明書の状態を確認する

NetworkメニューのRTMP/RTMPSで、Default Certificates Statusの表示を確認する。

本機内蔵の既定証明書が使用されている場合は、Preinstallと表示されます。
ユーザー任意の既定証明書が使用されている場合は、ユーザー操作が行われた日時が表示されます。
表示形式：
年4桁（西暦）+月2桁+日2桁+時2桁（24時間）+分2桁+秒2桁
表示例：
2021年12月1日12時34分56秒→
20211201123456

RTMP/RTMPSストリーミングを開始する

- 1 「インターネット接続する」（70ページ）または「デバイスとLAN接続する」（64ページ）の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。
- 2 **NetworkメニューのRTMP/RTMPSで、SettingをOnにする。**
設定に応じてRTMP/RTMPSストリーミングが開始されます。
アサインボタン（48ページ）にRTMP/RTMPSを割り当て押すことでもストリーミングを開始できます。

ご注意

- メニューの設定が以下の場合、RTMP/RTMPSストリーミングを開始できません。
 - － NetworkメニューのNetwork Client ModeのSettingがOnのとき
 - － NetworkメニューのStreamingのSettingがOnのとき
 - － SystemメニューのRec FormatのCodecがDVCAM(MXF)のとき
 - － RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
 - － RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
 - － RecordingメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- RTMP/RTMPSストリーミングを開始してから実際に映像・音声ストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- RTMP/RTMPSストリーミングの伝送先設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、RTMP/RTMPSストリーミング状態表示に×が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がRTMP/RTMPSストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- RTMP/RTMPSストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、Streaming Formatでより小さいサイズフォーマットを選んでください。
- モニタリング中にRTMP/RTMPSストリーミングを開始すると、モニタリングは停止します。
- RTMP/RTMPSストリーミング中は、ファイルを転送できません。RTMP/RTMPSストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にRTMP/RTMPSストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。RTMP/RTMPSストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- RTMP/RTMPSストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- RTMP/RTMPSストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線のRec Formatによって変わります。

RTMP/RTMPSストリーミングを停止する

NetworkメニューのRTMP/RTMPSで、SettingをOffにする。

ストリーミングが停止します。

RTMP/RTMPSを割り当てたアサインブルボタンを押すことでもストリーミングを停止できます。

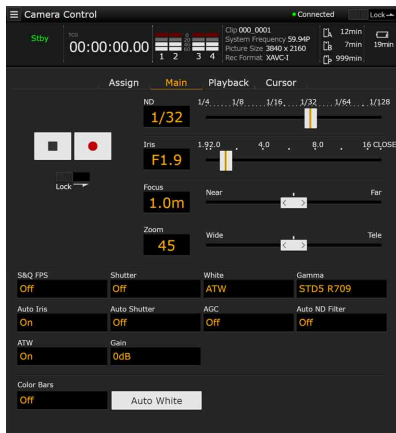
Webリモコンを使用 する

ネットワーク接続時は、スマートフォン/タブレットやコンピューターから、本機に内蔵されたWebリモコンにアクセスすることができます。

Webリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

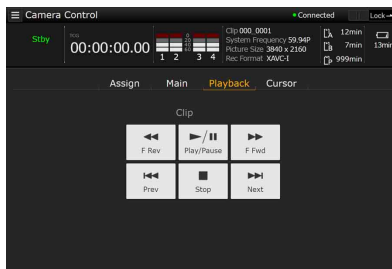
Camera Control 画面

Main画面



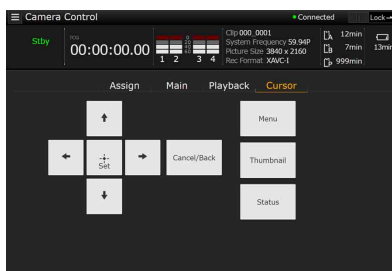
- ステータス表示
- 記録開始・停止ボタン
- NDスライダー
- Irisスライダー
- Focusスライダー
- Zoomスライダー
- 撮影設定表示
S&Q FPS, Shutter, White, Gamma, Auto Iris, Auto Shutter, AGC, Auto ND Filter, ATW, Gain, Color Bars, Auto White

Playback画面



- ステータス表示
- 再生操作ボタン
F Rev, Play/Pause, F Fwd, Prev, Stop, Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー /ステータス表示
Up, Left, Set, Right, Down, Cancel/Back, Menu, Status, Thumbnail

Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
アサインボタン1〜10

Webリモコンを表示する

1 本機とデバイスをネットワーク接続 (64ページ) する。

2 デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.198.122.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.198.122.1/rm.html」と入力します。

本機のIPアドレスは、ネットワークステータス画面（19ページ）で確認してください。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Networkメニュー→Access Authentication→User NameおよびPassword) を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。

以降は、画面表示のとおりに操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、ボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- 次の場合は、Webリモコン画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザーの表示を更新してください。
 - － 接続中に本機を再起動した場合
 - － 接続中に本機を操作した場合
 - － デバイスを再接続した場合
 - － ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Webリモコンが機能なくなることがあります。
- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

Webリモコンの対応デバイスについて


Webリモコンに対応しているデバイス、OS、ブラウザーは以下の表のとおりです。


デバイス	OS	ブラウザー
タブレット	Android 8/9/10	Chrome
	iOS12/13.3/14/15	Safari

デバイス	OS	ブラウザー
コンピューター	Windows 8.1/10	Chrome
	macOS 10.14/10.15	Safari

「Content Browser Mobile」アプリケーションの対応デバイスについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

Webリモコンのメニューについて

画面左上の  をタップすると、画面選択メニューが現れます。Monitoring Settingsを選択すると、モニタリング設定画面が表示されます。

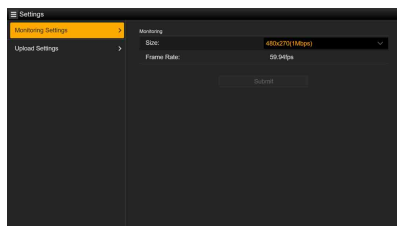
モニタリング設定画面で画面左上の  をタップすると、ファイル転送などの設定メニューが表示されます。

メニューの項目

- Remote Control
 - Camera Control
- Monitoring
 - Monitoring Settings
- File Transfer
 - Slot A
 - Slot B
 - Slot SD/MS
 - Job List
 - Upload Settings

モニタリング映像の設定「Monitoring Settings」

デバイスでモニタリングするときのフォーマットを設定します。



Size

モニタリング用の映像のサイズとビットレートを設定します。

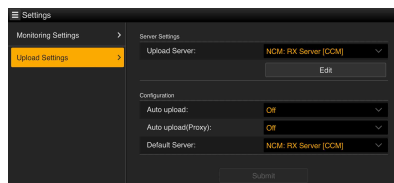
- 480x270(1Mbps)
- 480x270(0.5Mbps)

Frame Rate

モニタリング用の映像のフレームレートが表示されます。

ファイル転送先設定「Upload Settings」

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーの設定変更を行います。

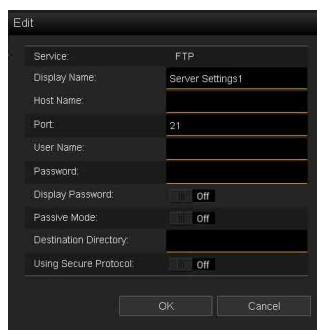


転送先のサーバーを登録する

Upload Serverのリストでサーバーを選択し、Editをタップすると、サーバー設定用の画面が表示されますので、各項目を設定してサーバーを登録します。

NetworkメニューのFile Transfer（74ページ）でもサーバーを登録できます。

ここで設定したサーバーが、Slot A、Slot B、Slot SD/MSの画面でのファイル転送時の転送先リストに表示されます。



設定後にOKをタップすると設定を反映し、Cancelをタップすると、設定を中止します。

Service

サーバーの種類を表示します。

「FTP」：FTP サーバー

Display Name

リストに表示されるサーバー名を入力します。

Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

Port

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

User Name

ユーザー名を入力します。

Password

パスワードを入力します。

ご注意

- パスワードは、セキュリティ観点からEdit画面を開くたびにクリアされます。サーバー設定を変更した場合は、パスワードを再入力してください。

Display Password

パスワードの表示/非表示を切り替えます。OFFにすると、設定されているパスワードは表示されません。パスワード入力中は、文字はすべてアスタリスクで表示されます。ONにすると、設定されているパスワードが表示されます。パスワード入力中は、文字はすべて表示されます。

Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

Destination Directory

転送先ディレクトリーを入力します。

ご注意

- 転送先サーバーで使用できない文字を転送先ディレクトリーに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。ONにすると証明書の状況が表示されます。

証明書の読み込みや消去は、Select Functionをタップして、表示されるメニューで行います。

- Load
CA証明書を読み込みます。
- * 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。
- Clear
CA証明書をクリアします。
- None
読み込み／消去を行いません。

ご注意

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。

登録済みのサーバーの設定を変更する

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設定変更画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更します。

NetworkメニューのFile Transfer（143ページ）でもサーバーを設定できます。

Auto Upload (Proxy)の設定がChunkの場合

Auto Upload設定がChunkの場合は、Proxy RecのChunkで設定した時間ごとにDefault Upload Serverで設定した転送先に、自動的にプロキシファイルを送信します。

Default Upload Server

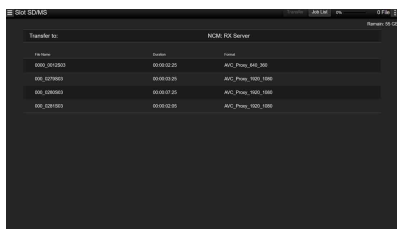
デフォルトのファイル転送先を選択します。

ファイル転送管理「File Transfer」

SxSメモリーカードに記録されているオリジナルファイルやSDカードに記録されているプロキシファイルの転送、転送ファイルの管理、転送先の設定を行います

ファイルの転送「Slot A、Slot B、Slot SD/MS」


Slot A、Slot Bに挿入されているメディアに記録されているクリップ、またはUTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアに記録されているプロキシファイルの一覧を表示します。

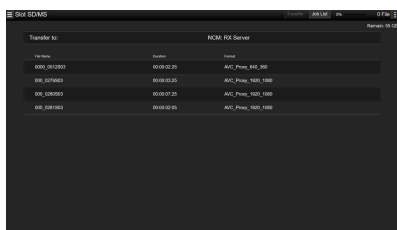


表示されているファイルを選択して、インターネット上のサーバーへ転送することができます。

SD カードのプロキシファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する（64ページ）。
- 2 デバイスのブラウザーを起動して本機のWebリモコンを表示する（86ページ）。
- 3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

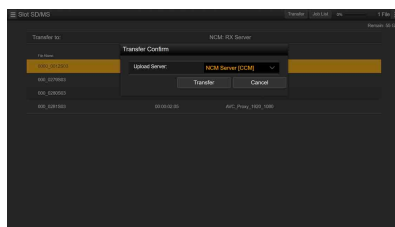
 をタップし、File TransferのSlot SD/MSをタップします。UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。



- 4 転送したいファイルを選ぶ。
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。（SD カードのみ）

- 5 Transferをタップする。
「転送先のサーバーを登録する」（87ページ）のDefault Upload Serverでデ


フォルト設定された転送先が表示されます。
転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。
必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリー名を入力します。



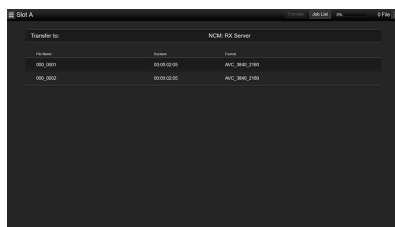
- 6 Transferをタップする。
選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

SxS メモリーカードのオリジナルファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する（64ページ）。
- 2 デバイスのブラウザーを起動して本機のWebリモコンを表示する（86ページ）。
- 3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

 をタップし、File TransferのSlot AまたはSlot Bをタップします。Slot AまたはSlot Bに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。

例：Slot A画面



4 転送したいファイルを選ぶ。

ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。

5 Transferをタップする。

「転送先のサーバーを登録する」(87ページ)のDefault Upload Serverでフォルト設定された転送先が表示されます。

転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。

必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリー名を入力します。

6 Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。

転送を中止するときは、Cancelをタップします。

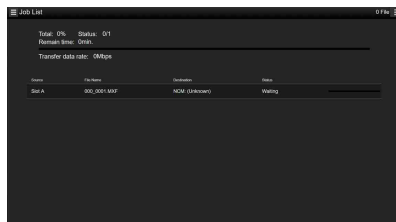
- Select All : リストを全選択します。
- Clear completed : 転送済みファイルリストを削除します。

ご注意

- 分割記録中の分割クリップのジョブを削除すると、以後その記録中の分割クリップは転送されません。
- Webリモコンでは、分割記録されたプロキシファイルは個別のクリップとして表示されます。これらのクリップは削除できません。また、これらクリップをWebリモコンから転送した場合、サーバー側でクリップを自動連結できません。

ファイル転送の確認「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。本機はFTPレジューム機能（転送途中からのファイルの再転送機能）に対応しています。



Job List			
Total	0%	Status	0/1
Remain time	0min		
Transfer data rate : 0Mbps			
Index	File Name	Destination	State
Item 0	001_001.M3U	ACM (Unknown)	Waiting

- Total : 転送する全ファイルの進捗状況です。
- Status : 転送中のファイルの進捗状況です。
- Remain time : 予想残り転送時間表示です。
- Transfer data rate : 転送レート表示です。

ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除する

1 ファイルを選ぶ。

2 画面右上の をタップして、項目を選ぶ。

- Abort selected : 転送を中止します。
- Delete from list : 転送リストからファイルを削除します。
- Start selected : ファイルの転送を開始します。

サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタン（12ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、液晶画面/ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

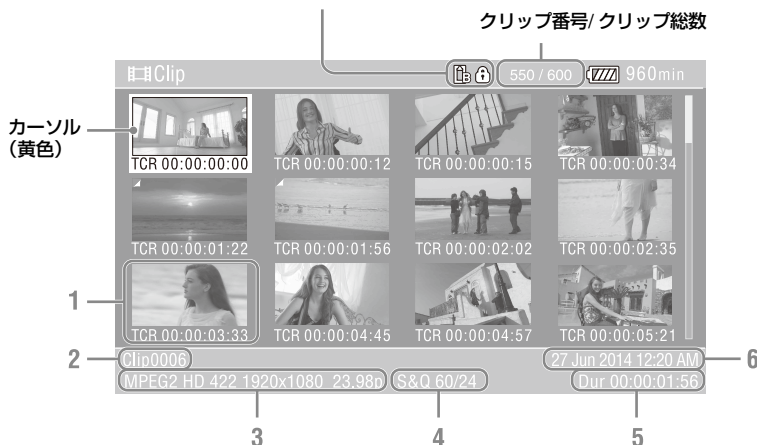
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

ご注意

- サムネイル画面には、現在選択しているフォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット（初期化）などを行う際にはご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

現在選択されているSxSメモリーカードを表示
(プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)



1. サムネイル（縮小画）

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View（98ページ）のThumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの収録時間（Duration）

6. 作成日時

クリップの再生

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するSxSメモリーカードを入れる。
- 2 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
- 3 PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
- 4 PLAY/PAUSEボタンを押す。
ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンで行います。

PLAY/PAUSEボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F FWDボタン/F REVボタン：高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

STOPボタン：再生を停止し、記録停止状態にします。

先頭のサムネイルを選択するには

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

最終のサムネイルを選択するには

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 **⏮/⏪/⏩/⏭**ボタンを押すか、または**SEL/SET**ダイヤルを回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。

2 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、再生操作ボタンのPREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中にショットマークを追加する（exFAT、UDF）

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

ショットマークを入れたい部分で、**Shot Mark1**または**Shot Mark2**を割り当てたアサインابلボタンを押す。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

再生中の音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子（11ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEボタン（12ページ）を押して音量を調節します。

モニターするチャンネルは、AudioメニューのAudio Output（124ページ）で選択できます。

クリップ操作

クリップの保護や削除、詳細情報の確認、クリップへのクリップフラグの付加、削除などの操作には、Thumbnailメニューを使用します。

Thumbnailメニューの操作方法

Thumbnailメニューは、サムネイル画面の表示中のみ操作できます。

- 1 THUMBNAILボタンを押す。**
サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。
- 3 ▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルでThumbnailを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

Thumbnailメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目／細目は以下の操作で選択します。

▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルで項目／細目を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

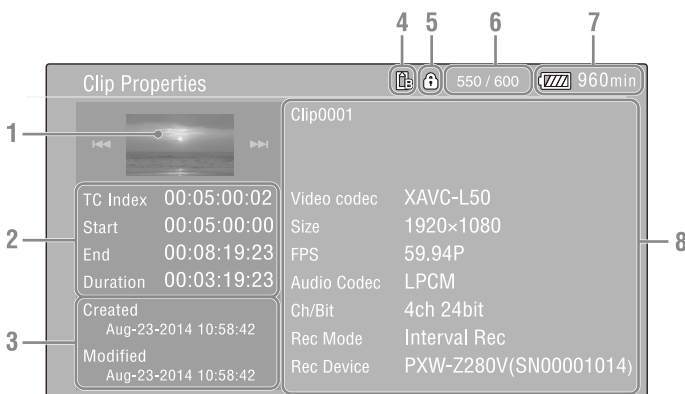
CANCEL/BACKボタン（11ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップの詳細情報を表示する

ThumbnailメニューでDisplay Clip Propertiesを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

TC Index：表示されている画像のタイムコード

Start：記録開始点のタイムコード

End：記録終了点のタイムコード

Duration：収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. 現在選択されているメモリーカード

5. メディアプロテクトアイコン

6. クリップ番号/クリップ総数

7. バッテリーアイコン

8. クリップの情報

クリップ名

記録フォーマット

特殊記録撮影情報

収録機器名

クリップを保護する (exFAT、UDF)

特定のクリップまたはすべてのクリップを保護して、クリップを削除できない状態にすることができます。

保護されたクリップのサムネイルには🔒が付きます。

クリップの保護操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面(97ページ)で行います。

特定のクリップを保護する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **保護するクリップを選択する。**
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタンを押す。**
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**
クリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

すべてのクリップを保護する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Lock All Clipsを選択し、Executeを選択する。**
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

すべてのクリップの保護を解除する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Unlock All Clipsを選択し、Executeを選択する。**
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップの保護が解除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
例：ABCD0002 → ABCD0002(1)
ABCD0002(1) → ABCD0002(2)
ABCD0005(3) → ABCD0005(4)
- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- exFAT、UDFの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

特定のクリップをコピーする

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **コピーするクリップを選択する。**
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタンを押す。**
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**
クリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

クリップを一括コピーする

同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clipで、All Clipsを選択し、Executeを選択する。**
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。

ご注意

- 保護されているクリップは削除できません。削除したいときは、保護を解除してください。

特定のクリップを削除する

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **削除するクリップを選択する。**
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタンを押す。**
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**
クリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

クリップを一括削除する

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clipで、All Clipsを選択し、Executeを選択する。**
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

フラグを付ける/フラグを削除する (exFAT、UDF)

クリップにクリップフラグ（OK、NG、KEEPマーク）を付けると、フィルタードクリップサムネイル画面（97ページ）で、クリップフラグを基にクリップを絞り込んで表示することができます。

クリップフラグを付ける

- 1 **クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択する。**

2 ThumbnailメニューのSet Clip Flagで、クリップフラグの付加動作 (Add OK、Add NG、Add KEEP) を選択する。

選択したクリップのサムネイルにクリップフラグが付けられます。

アサインابلボタン（48ページ）に、Clip Flag OK、Clip Flag NG、Clip Flag Keepを割り当て、そのボタンを押すことでクリップフラグを付けることもできます

クリップフラグを削除する

1 クリップフラグを削除したいクリップのサムネイルを選択する。

2 ThumbnailメニューのSet Clip Flagで、Delete Clip Flagを選択する。

選択したクリップのクリップフラグが削除されます。

フィルタードクリップサムネイル画面で表示するクリップを絞り込む (exFAT、UDF)

ThumbnailメニューのFilter Clipsで、絞り込み対象のクリップフラグ (OK、NG、KEEP) を選択し、Executeを選択する。

選択したクリップフラグで絞り込まれたクリップ画面が表示されます。この画面をフィルタードクリップサムネイル画面と呼びます。

ThumbnailメニューのFilter ClipsでAllを選択すると、絞り込みを解除して、クリップサムネイル画面に戻ります。

DISPLAYボタンで切り替えることもできます。

ショットマークを削除する (exFAT、UDF)

クリップに付けられたショットマークを削除することができます。

ショットマークの削除は、エッセンスマークサムネイル画面で行います。

1 ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark Thumbnailで、削除するショットマークの種類 (Shot Mark1またはShot Mark2) を選択する。

エッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

2 ショットマークを削除するフレームのサムネイルを選択する。

3 ThumbnailメニューのSet Shot Markで、Delete Shot Mark1またはDelete Shot Mark2を選択する。

選択したフレームのショットマークが削除されます。

エッセンスマークサムネイル画面でクリップ（フレーム）を絞り込む (exFAT、UDF)

クリップに1つ以上のエッセンスマーク (ショットマーク、レックススタートマーク) が記録されている場合に、エッセンスマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。この画面をエッセンスマークサムネイル画面と呼びます。

ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark Thumbnailで、絞り込み対象のエッセンスマークを選択する。

All : エッセンスマークが付いたすべてのフレームが対象

Rec Start : レックススタートマークがついているフレームおよび先頭フレームにレックススタートマークが付いていないクリップの先頭フレームが対象

Shot Mark0～Shot Mark9 : 各ショットマークが付いたフレームが対象

選択したエッセンスマークで絞り込まれたエッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

選択したフレームがクリップの代表画に設定されます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

サムネイル画面、またはフィルタードクリップサムネイル画面でクリップを転送する (exFAT、UDF、FAT)

SxSメモリーカードのクリップを選択して、サーバーに転送することができます。
転送方法は、「ファイルを選んで転送する」(75ページ)をご覧ください。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

ThumbnailメニューのCustomize ViewのThumbnail Captionで、表示したい内容を選択する。

Date Time：作成日時または最終変更日時

Time Code：タイムコード

Duration：収録時間

Sequential Number：サムネイル番号

クリップの代表画を変更する

エッセンスマークサムネイル画面で選択したフレームを、クリップの代表画にすることができます。

- 1 エッセンスマークサムネイル画面で、代表画にしたいフレームのサムネイルを選択する。
- 2 ThumbnailメニューのSet Index Pictureを選択する。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display（124ページ）をOnに設定してください。

SDI OUT端子（BNC型）

Videoメニュー（124ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

ご注意

- 本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。（75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。）やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、VideoメニューのSDI/HDMI Rec Control（124ページ）のSettingをOnに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

HDMI OUT端子（Type Aコネクター）

Videoメニュー（124ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、TC/UBメニューのHDMI TC Out（129ページ）のSettingをOn、およびVideoメニューのSDI/HDMI Rec Control（124ページ）のSettingをOnに設定すると、HDMI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することにより、本機と同期した記録が可能になります。

GENLOCK IN/VIDEO OUT端子（BNC型）

VideoメニューのOutput Formatの設定を変更することにより、HD-Y信号、HD-Sync信号またはダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力することができます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

詳細は「ビデオフォーマットと出力信号」（164ページ）をご覧ください。

マルチ/マイクロUSB端子

AVケーブルVMC-15MR2（別売）を使用し、2チャンネルの音声信号を出力することができます。

REMOTE端子

リモートコントロールユニットRM-30BPを接続すると、さまざまなカメラ機能のリモート操作が可能になります。

なお、フォーカス、アイリス、およびズーム機能を使用するときは、以下の操作が必要です。

フォーカス

- レンズのAFリングをAFに設定します。
- レンズのFOCUSスイッチをMANUALに設定し、画面に「MF」と表示されることを確認します。

アイリス

レンズのIRISスイッチをAUTOに設定します。このとき画面に「AE」と表示されていないことを確認します。「AE」が表示されている場合は、RM-30BPのIRISボタンを押して表示を消してください。

ズーム

レンズのズームスイッチを「SERVO」に設定します。

外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN/VIDEO OUT端子（10ページ）に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920 x 1080 59.94i 720 x 486 59.94i 1280 x 720 59.94P
29.97P	1920 x 1080 59.94i 720 x 486 59.94i
23.98P	1920 x 1080 47.95i (23.98PsF)
59.94i	1920 x 1080 59.94i 720 x 486 59.94i
50P	1920 x 1080 50i 720 x 576 50i 1280 x 720 50P
25P	1920 x 1080 50i 720 x 576 50i
50i	1920 x 1080 50i 720 x 576 50i

ご注意

- 選択している記録フォーマットが1280x720 60pの場合、映像信号とタイムコード信号の両方を入力する必要があります。
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free RunやClock）に設定してください。

1 TC/UBメニューのTimecodeを次のように設定する。

Mode : Preset

Run : Free Run

2 DURATION/TC/U-BITボタン (12ページ) を押して、画面にタイムコードを表示させる。

3 IN/OUTスイッチ (10ページ) がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN/VIDEO OUT端子とTC端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「Ext LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/UBメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をSTANDBYにしてください。

システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード（スロー&クイックモーションまたはインターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

1 TC/UBメニューのTimecodeで本機のタイムコードを設定する (44ページ)。

2 IN/OUTスイッチ (10ページ) がOUT側になっていることを確認し、TC端子とGENLOCK IN/VIDEO OUT端子 (10ページ) を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。

パソコンでクリップを管理・編集する

USBケーブルを使って接続する

本機とコンピュータを付属のUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピュータの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピュータでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

- 本機はコンピュータからのバスパワーでは動作しません。それぞれ電源を用意してください。
- 本機が以下の状態のときは、拡張ドライブとして認識されません。
 - ー 記録中（特殊記録を含む）
 - ー 再生中（高速再生中、一時停止中も含む）
 - ー サムネイル画面表示中
 - ー メディア初期化中
 - ー メモリーカードの修復および管理ファイル更新の実行中、実行前確認中
 - ー ストリーミング中
 - ー ネットワーククライアントモードで接続中
- 本機とPCをUSB接続しているときに、メディアアダプターにセットしたSDカードを抜き挿ししたり、異なる種類のメディアに交換したりすると、USB接続の切断・再接続が行われることがあります。

1 本機のマルチマイクロUSB端子とコンピュータをUSBケーブルで接続する。

2 本機の電源スイッチをONにする。
液晶画面/ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

- 確認メッセージが消えた場合は、再度USBケーブルを抜き差ししてください。なお、記録/再生/サムネイル画面中は確認メッセージは表示されません。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択する。

4 Windowsの場合、「コンピュータ」/「PC」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。
Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - ー 電源を切る。電源コードを抜く。
 - ー SxSメモリーカードを抜く。
 - ー USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、SxSメモリーカードを取り外すときは、メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

アプリケーションソフトウェアを使う

コンピュータのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（197ページ）をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

- Explorer（Windows環境）やFinder（Mac環境）を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめパソコンのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

外付けHDD／USBメディアを接続する

本機のUSB3.0（HOST）端子に外付けHDDやUSBメディアを接続すると、SxSメモリーカードスロットに挿入されている記録メディアのクリップを、外付けHDDやUSBメディアにコピーすることができます。

クリップをUSBメディアにコピーする

1 MediaメニューのUSBのSelect Folder（134ページ）を選択する。

2 フォルダーの一覧からクリップのコピー先フォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

画面のNewを選択して、新しいフォルダーを任意に作成することもできます。

ご注意

- フォルダーを指定しない場合は、コピーするクリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名とするフォルダーが自動的に作成され、クリップはそのフォルダーにコピーされます。

3 MediaメニューのUSBのCopy to USB（134ページ）で、コピー対象の記録メディアが挿入されている、SxSメモリーカードスロットを選択する。

Media(A) to USB：スロットAに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(B) to USB：スロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(A)(B) to USB：スロットA、およびスロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

ご注意

- 手順2でコピー先フォルダーを指定して、Media(A)(B) to USBを選択した場合、スロットAのクリップは、指定先のフォルダーにコピーされます。スロットBのクリップは、クリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名として自動的に作成されるフォルダーにコピーされます。

4 **↵/⏪/⏩/⏴/⏵ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**対象の記録メディアのクリップがすべてUSBメディアにコピーされます。

ご注意

- コピーするクリップと同じファイル名のクリップがコピー先フォルダーに既に存在する場合、そのクリップはコピーされません。

外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示する

MediaメニューのUSBのView Clip List（134ページ）で、外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示することができます。

外付けHDD／USBメディア内のフォルダー名を変更する

1 MediaメニューのUSBのRename Folder（134ページ）を選択する。

2 フォルダーの一覧からフォルダー名を変更するフォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

ファイル名の入力画面が表示されます。

3 フォルダー名を入力し、Doneを選択する。

フォルダー名が変更されます。

コピーのリードチェックエラーを行う

MediaメニューのUSBのError Check（134ページ）をOnにすると、クリップの書き込み後、リードチェックエラーを行うことができます。

外付けHDD／USBメディアを初期化する

- 1 **MediaメニューのUSBのFormat USB（134ページ）を選択する。**
- 2 **↕/↗/↖/↘ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
初期化（フォーマット）が開始されま
す。
- 3 **初期化完了のメッセージが表示され
たら、OKを選択する。**

外付けHDD／USBメディアの空き容量を確認する

外付けHDD／USBメディアの空き容量は、MediaメニューのUSBを選択したときに表示される画面のMedia Remainの行に、GB単位で表示されます。

外付けHDD／USBメディアへの電源供給について

USB3.0（HOST）端子から外付けHDD／USBメディアへの電源供給は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行うと自動的に開始されます。

ただし、以下の表に示す状態のときは、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行っても、電源供給は開始されません。電源供給を開始するには、表に示す対策を行ってください。

状態	対策
クリップ記録中、再生中、サムネイル表示中、プロキシ記録中、メディアの初期化・修復・管理ファイル更新実行中、本機ソフトウェアのバージョンアップ中、本機のリセット中、ネットワーク設定のリセット中、コンピュータとの接続中、確認画面表示中、ストリーミング中	

状態	対策
電源電圧不足	バッテリーを交換する。 入力電源を差し替える。
Rec FormatのFile SystemがexFAT以外	exFATにする。
Network Client ModeがOn	Network Client ModeをOffにする。

ご注意

- 外付けHDDやUSBメディアのクリップを、SxSメモリーカードスロットに挿入されている記録メディアにコピーすることはできません。
- USB3.0（HOST）端子への電源供給中は、クリップ記録はできません。クリップ記録を開始する場合は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を終了してください。

セッティングメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセッティングメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

- Userメニュー**：任意の設定を集めたメニュー（Edit User Menuで編集可能）
- Edit Userメニュー**：Userメニューの編集用メニュー
- Cameraメニュー**：撮影に関する設定
- Paintメニュー**：画質に関する設定
- Audioメニュー**：音声に関する設定
- Videoメニュー**：映像出力に関する設定
- LCD/VFメニュー**：液晶画面とビューファインダー表示に関する設定
- TC/UBメニュー**：タイムコードとユーザービットに関する設定
- Recordingメニュー**：録画に関する設定
- Thumbnailメニュー**：サムネイル表示に関する設定
- Mediaメニュー**：メディアに関する設定
- Fileメニュー**：ファイルに関する設定
- Networkメニュー**：ネットワークに関する設定
- Systemメニュー**：システムに関する設定

セッティングメニューの階層

MENU

- User
 - Base Setting
 - HDR Setting
 - Rec Format
 - S&Q Motion
 - Picture Cache Rec
 - Simul Rec
 - 4K & HD (Sub) Rec
 - Proxy Rec
 - Output Format
 - Assignable Button
 - Delete Clip
 - Wireless LAN

- Wired LAN
- Modem
- Format Media
- Menu Settings
- Edit User Menu
 - Add Item
 - Customize Reset
- Camera
 - Focus
 - ND Filter
 - Gain
 - Shutter
 - Auto Exposure
 - Color Bars
 - Flicker Reduce
 - Flash Band Reduce
 - Handle Zoom
 - Auto Black Balance
 - Auto FB Adjust
 - Video Light Set
- Paint
 - HDR Paint Setting
 - White
 - White Setting
 - Offset White
 - Black
 - Gamma
 - Black Gamma
 - Low Key Saturation
 - Saturation Mode
 - Noise Suppression
 - Knee
 - White Clip
 - Detail(QFHD)
 - Detail(HD)
 - Detail(SD)
 - Skin Detail
 - Aperture
 - Matrix
 - Multi Matrix
 - Maintenance
- Audio
 - Audio Input
 - Audio Output
- Video
 - Output On/Off

	<ul style="list-style-type: none"> Output Format Output Display SDI/HDMI Rec Control Down Converter 	Network	<ul style="list-style-type: none"> Setup for Mobile App Access Authentication Wireless LAN AP Mode Settings ST Mode Settings Wired LAN Modem Network Client Mode File Transfer Streaming RTMP/RTMPS Network Reset
LCD/VF	<ul style="list-style-type: none"> LCD Setting VF Setting Peaking Marker Zebra Gamma Display Assist Display On/Off 		
TC/UB	<ul style="list-style-type: none"> Timecode Users Bit HDMI TC Out 	System	<ul style="list-style-type: none"> Base Setting HDR Setting Rec Format Assignable Button Switch Hold Setting Tally Language Clock Set Hours Meter GPS Battery Alarm DC Voltage Alarm Menu Settings Fan Control All Reset Version
Recording	<ul style="list-style-type: none"> S&Q Motion Interval Rec Picture Cache Rec Clip Continuous Rec Simul Rec 4K & HD (Sub) Rec Proxy Rec Rec Review 		
Thumbnail	<ul style="list-style-type: none"> Display Clip Properties Set Shot Mark Set Clip Flag Lock/Unlock Clip Delete Clip Copy Clip Copy Sub Clip Transfer Clip Transfer Clip (Proxy) Set Index Picture Thumbnail View Filter Clips Customize View 		
Media	<ul style="list-style-type: none"> Update Media Format Media USB Clip Naming Planning Metadata 		
File	<ul style="list-style-type: none"> User File All File Scene File Network Public Key 		

セットアップメニュー の操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。

メニュー操作部

MENU ボタン（11 ページ）

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

SEL/SET ダイアル（11 ページ）

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SEL/SETダイアルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACK ボタン（11 ページ）

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

⬅/➡/⬅➡/➡➡/SET ボタン

⬅/➡/⬅➡/➡➡ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

ご注意

- ピント拡大画面（37ページ）になっていると、セットアップメニューは操作できません。

メニューを設定する

⬅/➡/⬅➡/➡➡ボタンを押すか、またはSEL/SETダイアルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイアルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 SEL/SETダイアルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。

ABC：英大文字
abc：英小文字
123：数字
!#\$：特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
⬅/➡：カーソル位置を移動します。
BS：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

メニューのロックと解除

セットアップメニューの表示をロックして、Userメニューだけを表示させることができます。

メニューをロックする

- 1 **SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。**
- 2 **SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。**

ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- 3 **Onを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

- 4 **任意の番号を入力する。**

0000～9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、カーソルがSETに移動します。

- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

入力が確定します。設定が完了したメッセージが表示され、Userメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- 下表のセットアップメニューのメニュー項目をUserメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサインブルボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサインブルボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインブルの設定が強制的にOffになります。

セットアップメニューのメニュー項目	アサインブルボタンの選択肢
Camera>Focus>Face Detection AF	Face Detection AF
Camera>Gain>Gain <Turbo>	Turbo Gain
Camera>Auto Exposure>Level	Auto Exposure Level
Camera>Auto Exposure>Mode	Spotlight
Camera>Auto Exposure>Mode	Backlight
Camera>Auto Exposure>Auto ND Filter	Auto ND Filter
Camera>Auto Exposure>AGC	AGC
Camera>Auto Exposure>Auto Shutter	Shutter
Camera>Color Bars>Setting	Color Bars
Camera>Flash Band Reduce>Setting	Flash Band Reduce
Camera>Handle Zoom>Setting	Handle Zoom
Paint>White>Preset White	Preset White Select
Audio>Audio Output>Monitor CH	Audio Monitor CH Audio Mon. CH Switch
LCD/VF>VF Setting>Color Mode	VF Mode
LCD/VF>Peaking>Setting	Peaking
LCD/VF>Marker>Setting	Marker
LCD/VF>Zebra>Setting	Zebra
LCD/VF>Gamma Display Assist>Setting	Gamma Display Assist
LCD/VF>Display On/Off>Lens Info	Lens Info
LCD/VF>Display On/Off>Video Signal Monitor	Video Signal Monitor
Recording>S&Q Motion>Setting	S&Q Motion
Recordings>Picture Cache Rec>Setting	Picture Cache Rec
Recording>Clip Continuous Rec>Setting	Clip Continuous Rec
Recordings>Rec Review>Setting	Rec Review

セットアップメニューのメニュー項目	アサインابلボタンの選択肢
Thumbnail>Set Shot Mark>Add Shot Mark1	Shot Mark1
Thumbnail>Set Shot Mark>Add Shot Mark2	Shot Mark2
Thumbnail>Set Clip Flag>Add OK	Clip Flag OK
Thumbnail>Set Clip Flag>Add NG	Clip Flag NG
Thumbnail>Set Clip Flag>Add KEEP	Clip Flag Keep
Network>Wireless LAN>NFC	NFC
Network>Network Client Mode>Setting	Network Client Mode
Network>File Transfer>Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy)
Network>Streaming>Setting	Streaming
Network> RTMP/RTMPS> Setting	RTMP/RTMPS
User	User Menu

メニューのロックを解除する

- SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。**
- SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。**

ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- Offを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。
- メニューをロックしたときの番号を入力する。**
数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。

すべての桁を入力したら、カーソルがSetに移動します。

5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

Userメニューの編集

UserメニューのEdit User Menuで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、Userメニューをより使いやすく編集することができます。

項目／細目を追加する

- UserメニューのEdit User MenuのAdd Itemを選択する。**
追加が可能な項目が表示されます。
- 追加する項目を選択する。**
追加する細目を選択する画面が表示されます。
- 追加する細目を選択する。**
すべての細目を追加する場合はAllにチェックを付けます。
追加する細目を指定する場合は、追加する細目にチェックを付けます。
- OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
項目／細目の追加が完了します。

ご注意

- 同じ項目／細目を2回登録することはできません。
また追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

項目の細目を編集する

表示する項目を任意に設定することができます。

- 1 **UserメニューのEdit User Menuで、編集する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 **Edit Sub Itemを選択する。**
Edit Sub Item画面が表示されます。
最初に開いたときは、すべての細目にチェックが付いています（すべての細目が表示される状態）。
細目のチェックを外すとUserメニューに表示されなくなります。
- 3 **OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
編集が完了します。

項目を削除する

- 1 **UserメニューのEdit User Menuで、削除する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 **Deleteを選択する。**
項目が削除されます。

項目を移動する

- 1 **UserメニューのEdit User Menuで、移動する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 **Moveを選択する。**
移動する項目がハイライトされ、移動先を示す三角マークと線が表示されません。
- 3 **三角マークと線を項目の移動先に移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
項目が移動します。

Userメニューを工場出荷時の状態に戻す

- 1 **UserメニューのEdit User MenuのCustomize Resetを選択する。**
Customize Reset画面が表示されます。
- 2 **Resetを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
確認画面が表示されます。
- 3 **Executeを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
Userメニューが工場出荷時の状態に戻ります。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**18dB**）で示します。

Userメニュー

User	
工場出荷時の登録項目	内容
Base Setting	System>Base Settingの内容。
HDR Setting	System>HDR Settingの内容。
Rec Format	System>Rec Formatの内容。
S&Q Motion	Recording>S&Q Motionの内容。
Picture Cache Rec	Recording>Picture Cache Recの内容。
Simul Rec	Recording>Simul Recの内容。
4K & HD (Sub) Rec	Recording>4K & HD (Sub) Recの内容。
Proxy Rec	Recording>Proxy Recの内容。
Output Format	Video>Output Formatの内容。
Assignable Button	System>Assignable Buttonの内容。
Delete Clip	Thumbnail>Delete Clipの内容。
Wireless LAN	Network>Wireless LANの内容。
Wired LAN	Network>Wired LANの内容。
Modem	Network>Modemの内容。
Format Media	Media>Format Mediaの内容。
Menu Settings	System>Menu Settingsの内容。
Edit User Menu	Edit User Menuを表示する。

Edit User Menu

Edit User Menu		
項目	細目と設定値	内容
Add Item	-	項目／細目を追加する。
Customize Reset	Reset	Userメニューを工場出荷時の状態に戻す。
登録済みの項目 を選択すると表 示される項目	Delete	項目を削除する。
	Move	項目を移動する。
	Edit Sub Item	項目の細目を編集する。

Cameraメニュー

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Focus 顔検出AFの設定	Face Detection AF	顔検出AFの有効/無効を設定する。
	Face Only AF / Face Priority AF / Off	
ND Filter NDフィルターの 設定	Preset1 1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	NDフィルターのプリセット値1を設定する。
	Preset2 1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	NDフィルターのプリセット値2を設定する。
	Preset3 1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	NDフィルターのプリセット値3を設定する。
Gain ゲインの設定	Gain<L> 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	GAINスイッチをLにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain<M> 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	GAINスイッチをMにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain<H> 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	GAINスイッチをHにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain <Turbo> 42dB / 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	Turbo Gainを割り当てたアサインボタンを押して、Turbo Gain機能を有効にしたときのゲイン値を設定する。
	High Sensitivity Mode On / Off	高感度モードをON/OFFする。
	Shockless Gain On / Off	ショックレスゲイン機能をON/OFFする。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter 電子シャッター の動作条件の設 定	Mode	電子シャッターのモードを選択する。
	Speed / Angle	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。
	Shutter Speed	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	64F, 32F, 16F, 8F, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1/24, 1/25, 1/30, 1/32, 1/33, 1/40, 1/48, 1/50, 1/60 , 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000	
	Shutter Angle	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	
Auto Exposure 明るさの自動補 正	ECS On / Off	ECSモードをON/OFFする。 液晶画面/ビューファインダー画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。
	ECS Frequency 8000 ~ 23.99 (60.00)	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	Level	補正量を設定する。
	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	
	Mode Backlight / Standard / Spotlight	制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード（中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード） Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード（中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白濁れを軽減するモード）
	Speed -99~+99 (±0)	制御スピードを設定する。
	Auto ND Filter On / Off	NDフィルター透過率の自動調整機能をON/OFFする。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Exposure 明るさの自動補正	AGC On / Off	AGC（オートゲインコントロール）機能をON/OFFする。
	AGC Limit 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB	AGC機能の最大ゲインを設定する。
	AGC Point F2.8 / F4 / F5.6	AGC機能がOnのとき、AGCを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Auto Shutter On / Off	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11 / F16	オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Clip High light On / Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をON/OFFする。
	Detect Window 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / Custom	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。（露出手動調整しているときは無効）
	Detect Window Indication On / Off	Detect WindowをON/OFFする。
	Average Peak Level Ratio -99～+99 (±0)	Auto Exposure用の検出に使う映像信号の平均値とピーク値の比を設定する。
	Custom Width 40～999 (500)	Detect Windowの幅を設定する。
	Custom Height 70～999 (500)	Detect Windowの高さを設定する。
	Custom H Position -479～+479 (±0)	Detect Windowの水平位置を設定する。
	Custom V Position -464～+464 (±0)	Detect Windowの垂直位置を設定する。
Color Bars カラーバーの設定	Setting On / Off	カラーバーをON/OFFする。
	Type ARIB / 100% / 75% / SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
Flicker Reduce フリッカー補正の設定	Mode Auto / On / Off	フリッカー補正モードを設定する。
	Frequency 50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。
Flash Band Reduce フラッシュバンド補正の設定	Setting On / Off	スチルカメラ用のフラッシュがたかれた瞬間を撮影した際に、フレーム内の映像の上部のみ、または下部のみが白飛びするのを補正する機能をON/OFFする。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Handle Zoom ハンドルズーム スピードの設定	Setting	ハンドルズームスピードを設定する。
	Off / Low / High / Variable	(ハンドルズームスイッチが「FIX」のときのみ有効)
	High 1〜8 (8)	ハンドルズームスピードHigh選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
	Low 1〜8 (3)	ハンドルズームスピードLow選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none">ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。		
Auto Black Balance オートブラック バランスの設定	Auto Black Balance Execute / Cancel	オートブラックバランス機能を実行する。
	<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none">記録中、カラーバー表示中は設定できません。インターバルレックモード、フレームレックモード、スローシャッターモードのときは設定できません。	
Auto FB Adjust オートフランジ バックの設定	Auto FB Adjust Execute / Cancel	Executeを選択すると、レンズズームの広角端、望遠端でそれぞれ自動フォーカス合わせを実施し、フォーカス調節後にズーム位置を変えてもフォーカスが合ったまま保持するオートフランジバック機能を実行する。
Video Light Set	Video Light Set	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。
	Power Link / Rec Link /	Power Link：本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。
	Rec Link + Stby	Rec Link：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。
		Rec Link + Stby：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

Paintメニュー

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HDR Paint Setting ハイダイナミックレンジモードの設定	HLG Look Natural / Live / HLG2 / HLG1	Shooting ModeがHDRのときのHLGのルックを設定する。 Natural：ITU-R BT.2100(HLG)に準拠した特性。 Live：ITU-R BT.2100(HLG)に準拠し、よりHDRの効果を引き出す特性。 HLG2：ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。 HLG1：HLG2よりもノイズを抑えたい場合の設定。ただし、撮影できるダイナミックレンジは狭くなる。 HLG1、HLG2はLiveと同じ特性のルックで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したもの。
	HDR Black Offset -95～+103 (±0)	Shooting ModeがHDRのときのSDR設定（Master Black）に対するHDRのBlackのオフセット
	HDR Knee On / Off	Shooting ModeがHDRのときのHDR信号に対するニー補正機能をON/OFFする。
	HDR Knee Point -99～+99 (±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニーポイントを設定する。
	HDR Knee Slope -99～+99 (±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニースロープを設定する。
White ホワイトバランスの設定	Preset White 10000K～2100K (3200K)	ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度調整をする。
	<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。 	
	Color Temp <A> 50000K～1500K (3200K)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
	Color Temp Balance <A> -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値（Rゲイン、Bゲイン連動）を設定する。
	R Gain <A> -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
	B Gain <A> -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
	Color Temp 50000K～1500K (3200K)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
	Color Temp Balance -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値（Rゲイン、Gゲイン連動）を設定する。
	R Gain -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
	B Gain -99.0～+99.0 (±0.0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
White Setting ホワイトバランスの調整	Shockless White Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り替わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
	ATW Speed 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。
	ATW Mode Natural / Pure	ATW（自動追尾ホワイトバランス）の動作を設定する。 Natural：シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるようにATWを自動調整する。 Pure：青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにATWを自動調整する。
	White Switch Memory / ATW	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
	Filter White Memory On / Off	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をON/OFFする。
Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定	Offset White <A> On / Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か、付加しないか（Off）を選択する。
	Warm Cool <A> -99.0～+99.0 (±0.0)	Offset White<A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する（オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整）。
	Warm Cool Balance <A> -99.0～+99.0 (±0.0)	Warm Cool <A>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
	Offset White On / Off	メモリー Bのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か、付加しないか（Off）を選択する。
	Warm Cool -99.0～+99.0 (±0.0)	Offset WhiteがOnの場合に、メモリー Bのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する（オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整）。
	Warm Cool Balance -99.0～+99.0 (±0.0)	Warm Cool の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
	Offset White <ATW> On / Off	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か付加しないか（Off）を選択する。
	Warm Cool <ATW> -99.0～+99.0 (±0.0)	Offset White<ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。
	Warm Cool Balance <ATW> -99.0～+99.0 (±0.0)	Warm Cool<ATW>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Black ブラックの設定	Setting On / Off	ブラック補正をON/OFFする。
	Master Black -99.0～+99.0 (±0.0)	マスターブラックレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gamma ガンマ補正の設定	Setting On / Off	ガンマ補正機能をON/OFFする。
	Master Gamma -99~+99 (±0)	マスターガンマレベルを設定する。
	Gamma Category STD / HG	スタンダードガンマ (STD)、HGを選択する。
	Gamma Select	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
	Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6 x5.0	
	Gamma CategoryがHGのとき HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / HG4 4609G33	
Black Gamma ブラックガンマ レベルの調整	Setting On / Off	ブラックガンマ補正機能をON/OFFする。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
	Range Low / L.Mid / H.Mid	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。
	Master Black Gamma -99~ +99 (±0)	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Low Key Saturation ローキーサチュレーション補正の設定	Setting On / Off	ローキーサチュレーション補正機能をON/OFFする。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ローキーサチュレーション機能を有効にするには Saturation ModeをLow Keyに設定してください。 Low Key SaturationとKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
	Level -99~+99 (±0)	低輝度エリアの色の飽和度 (サチュレーション) を設定する。
	Range Low / L.Mid / H.Mid	ローキーサチュレーション補正を有効にする輝度レベルを選択する。
Saturation Mode サチュレーション補正の設定	Saturation Mode Knee / Low Key	サチュレーション機能をレベルが高いところ (Knee) で働かせるか低いところ (Low Key) で働かせるかを選択する。
	Knee Saturation On / Off	ニーサチュレーション機能をON/OFFする。
	Black Gamma On / Off	ブラックガンマ補正機能をON/OFFする。
	Low Key Saturation On / Off	ローキーサチュレーション機能をON/OFFする。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Noise Suppression ノイズサプレスの機能の設定	Setting On / Off	ノイズサプレス機能をON/OFFする。
	Level Low / Mid / High	ノイズサプレスのレベルを選択する。
Knee ニー補正の設定	Setting On / Off	ニー補正機能をON/OFFする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)
	Auto Knee On / Off	オートニー機能をON/OFFする。
	Point 75%～109% (90%)	ニーポイントを設定する。
	Slope -99～+99 (±0)	ニースロープを設定する。
	Knee Saturation On / Off	Onにすると、ニーサチュレーション（ニーポイントより上の部分の色つき具合）の調整が有効になる。
		<div> ご注意 <ul style="list-style-type: none"> Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。 Low Key SaturationとKnee Saturationの機能は同時に使用できません。 </div>
White Clip ホワイトクリップ調整の設定	Knee Saturation Level -99～+99 (±0)	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。
	Setting On / Off	ホワイトクリップ調整機能をON/OFFする
	Level 90.0%～ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Detail(QFHD) ディテール調整 の設定	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
	Crispeneing -99～+99 (±0)	クリスプニングレベルを設定する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Knee Aperture On / Off	ニアパーチャール補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level -99～+99 (±0)	ニアパーチャールレベルを設定する。
	White Limit -99～+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99～+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
Detail (HD)	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
	Crispeneing -99～+99 (±0)	クリスプニングレベルを設定する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Knee Aperture On / Off	ニアパーチャール補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level -99～+99 (±0)	ニアパーチャールレベルを設定する。
	White Limit -99～+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99～+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Detail (SD)	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
	Crispeneing -99～+99 (±0)	クリスピーニングレベルを設定する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Knee Aperture On / Off	ニアパーチャ補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level -99～+99 (±0)	ニアパーチャレベルを設定する。
	White Limit -99～+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99～+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
Skin Detail スキンディテール補正の設定	Setting On / Off	スキンディテール補正機能をON/OFFする。
	Area Detection Execute / Cancel	スキンディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
	Area Indication On / Off	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	スキンディテールレベルを設定する。
	Saturation -99～+99 (±0)	スキンディテール補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。
	Hue 0 ～359	スキンディテール補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
	Width 0 ～90 (40)	スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。
Aperture アパーチャ補正の設定	Setting On / Off	Onにすると、アパーチャ補正（ビデオ信号に、高周波数のアパーチャ信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理）が有効になる。
	Level -99～+99 (±0)	アパーチャ補正のレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Matrix マトリクス補正 の設定	Setting On / Off	マトリクス補正機能をON/OFFする。
	Adaptive Matrix On / Off	アダプティブマトリックス機能をON/OFFする。
	Preset Matrix On / Off	プリセットマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Select 1:SMPTE 240M / 2:ITU-709 / 3:SMPTE Wide / 4:NTSC / 5:EBU / 6:PAL	プリセットマトリクスを選択する。
	User Matrix On / Off	ユーザーマトリクス補正機能をON/OFFする。
	User Matrix Level -99～+99 (±0)	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
	User Matrix Phase -99～+99 (±0)	映像全域の色あい（フェーズ）を調整する。
	User Matrix R-G -99～+99 (±0)	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix R-B -99～+99 (±0)	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix G-R -99～+99 (±0)	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix G-B -99～+99 (±0)	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix B-R -99～+99 (±0)	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix B-G -99～+99 (±0)	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
Multi Matrix マルチマトリク ス補正の設定	Setting On / Off	Multi Matrix補正機能をON/OFFする。
	Area Indication On / Off	Area Indication機能をON/OFFする。
	Color Detection Execute / Cancel	Multi Matrix補正の対象となる色を検出する。
	Reset Execute / Cancel	各軸のHueとSaturationをすべて初期値にする。
	Axis B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	Axisを選択する。
	Hue -99 ～ +99 (±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
	Saturation -99 ～ +99 (±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。
Maintenance メンテナンスの 設定	Test Saw On / Off	テスト信号をON/OFFする。

Audioメニュー

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力の設定	CH2 EXT Input Select INPUT1 / INPUT2	記録チャンネル2の入力を選択する。EXT音源選択時のみ有効。
	CH3 Input Select Off / INPUT1 / Internal MIC / Shoe CH1	記録チャンネル3の入力を選択する。
	CH4 Input Select Off / INPUT1 / INPUT2 / Internal MIC / Shoe CH2	記録チャンネル4の入力を選択する。
	INPUT1 MIC Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INPUT2 MIC Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	Internal MIC Level -12dB / -6dB / 0dB / +6dB / +12dB	内蔵マイクレベルを選択する。AUDIO LEVELダイヤルの設定に関わらず選択できる。
	Line Input Reference +4dB / 0dB / -3dB / EBUL	INPUT1/INPUT2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
	Reference Level -20dB / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	基準入力レベルの1kHz信号の記録レベルを選択する。
	CH1 Wind Filter On / Off	記録チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH2 Wind Filter On / Off	記録チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH3 Wind Filter On / Off	記録チャンネル3の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH4 Wind Filter On / Off	記録チャンネル4の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Limiter Mode Off / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの手動調節時、大きな信号に対するリミッター特性（飽和レベル）を選択する。
	CH1&2 AGC Mode Mono / Stereo	記録チャンネル1と記録チャンネル2の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。
	CH3&4 AGC Mode Mono / Stereo	記録チャンネル3と記録チャンネル4の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。
	AGC Spec -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの自動調節時、大きな信号に対するAGC特性（飽和レベル）を選択する。
	1kHz Tone on Color Bars On / Off	カラーバー表示中の1kHzの基準音声信号をON/OFFする。

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Output 音声出力の設定	Monitor CH	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。
	CH1/CH2 / CH3/CH4 / MIX ALL / CH1/ CH2 / CH3 / CH4	
	Headphone Out Mono / Stereo	ヘッドホンをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する。
	Alarm Level 0～7 (4)	アラーム音量を設定する。
	HDMI Output CH CH1/CH2 / CH3/CH4	HDMIに出力する音声チャンネルの組み合わせを選択する。
	Analog Output CH CH1/CH2 / CH3/CH4	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせを選択する。

Videoメニュー

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Output On/Off 映像出力の設定	SDI On / Off	SDI出力をON/OFFする。
	HDMI On / Off	HDMI出力をON/OFFする。
	VIDEO On / Off	VIDEO出力をON/OFFする。
Output Format 出力フォーマットの設定 • 設定項目について詳しくは、「ビデオフォーマットと出力信号」(164ページ)をご覧ください。	SDI	SDI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	HDMI	HDMI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	VIDEO	解像度とスキャン方式を表示する (表示のみ)。
Output Display 出力信号の設定	SDI/HDMI/VIDEO On / Off	SDI/HDMI/VIDEO出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
SDI/HDMI Rec Control 外部接続機器のコントロール設定	Setting On / Off	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をON/OFFする。 で注意 • HDMI出力信号による制御を行う場合は、TC/UBメニューのHDMI TC OutのSettingをOnに設定してください。

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Down Converter ダウンコンバーターの動作モードの選択	Edge Crop / Letter Box / Squeeze	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。 Letter Box：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。

LCD/VFメニュー

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD Setting 液晶画面（LCD）の設定	Brightness -99～+99 (±0)	液晶画面（LCD）の明るさを調整する。
VF Setting ビューファインダーの設定	Brightness -99～+99 (±0)	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
	Color Mode Color / B&W	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
Peaking ピーキングの設定	Setting On / Off	ピーキング機能をON/OFFする。
	Type Normal / Color	ピーキングの種類を選択する。 Normal：通常のピーキング Color：カラーピーキング
	Normal Peaking Frequency Normal / High	ピーキング周波数を標準（Normal）にするか高く（High）するかを選択する。
	Normal Peaking Level 0～99 (50)	ノーマルピーキングのレベルを設定する。
	Color B&W / Red / Yellow / Blue	カラーピーキングの信号色を選択する。
	Color Peaking Level 0～99 (50)	カラーピーキングのレベルを設定する。

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Marker マーカ表示の 設定	Setting On / Off	すべてのマーカ表示をまとめてON/OFFする。
	Color White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue	マーカの表示色を選択する。
	Center Marker 1 / 2 / 3 / 4 / Off	センターマーカをON/OFFする。
	Safety Zone On / Off	セーフティーゾーンマーカをON/OFFする。
	Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティーゾーンマーカの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Marker Line / Mask / Off	アスペクトマーカを選択する。 Line：白線で表示する。 Mask：マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Off：表示しない。
	Aspect Mask 0～15 (12)	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカの 外側の映像の明るさを選択する。
	Aspect Safety Zone On / Off	アスペクトセーフティーゾーンマーカをON/OFFする。
	Aspect Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカの比を選択する。
	Guide Frame On / Off	ガイドフレーム表示をON/OFFする。
	100% Marker On / Off	100%のセーフティーゾーンマーカの表示をON/OFFする。
	User Box On / Off	ボックスカーソルの表示をON/OFFする。
	User Box Width 40～999 (500)	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
	User Box Height 70～999 (500)	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
	User Box H Position -479～+479 (±0)	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する。
	User Box V Position -464～+464 (±0)	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する。

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zebra ゼブラパターン の設定	Setting On / Off	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する。
	Zebra1 Level 0%～107% (70%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
	Zebra1 Aperture Level 1%～20% (10%)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
	Zebra2 Level 0%～109% (100%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。
Gamma Display Assist ガンマ表示アシ ストの設定	Setting On / Off	ガンマ表示アシスト機能をON/OFFする。
Display On/Off 画面表示項目の 設定	Network Status On / Off	液晶画面やビューファインダー画面に表示する項目を 選択する。
	File Transfer Status On / Off	
	Rec/Play Status On / Off	
	Tally On / Off	
	NCM/Streaming Status On / Off	
	Battery Remain On / Off	
	Focus Mode On / Off	
	Focus Position Meter / Feet / Off	
	Focus Macro On / Off	
	Face Detection Frame On / Off	
	Lens Info Meter / Feet / Off	
	Rec Format On / Off	
	Frame Rate On / Off	
	Zoom Position Number / Bar / Off	
	Digital Extender On / Off	
	UWP RF Level On / Off	

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off 画面表示項目の 設定	GPS	
	On / Off	
	SteadyShot	
	On / Off	
	Gamma	
	On / Off	
	SDI/HDMI Rec Control	
	On / Off	
	Gamma Display Assist	
	On / Off	
	Proxy Status	
	On / Off	
	Focus Assist Indicator	
	On / Off	
	Focus Assist Area	
	On / Off	
	Media Status	
	On / Off	
	Video Signal Monitor	
	Off / Waveform / Vector / Histogram	
	Clip Name	
	On / Off	
	White Balance	
	On / Off	
	Scene File	
	On / Off	
	Auto Exposure Mode	
	On / Off	
	Auto Exposure Level	
	On / Off	
	Timecode	
	On / Off	
	ND Filter	
	On / Off	
	Iris	
	On / Off	
	Gain	
	On / Off	
	Shutter	
	On / Off	
	Audio Level Meter	
	On / Off	
	Video Level Warning	
	On / Off	

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off	Clip Number	
画面表示項目の 設定	On / Off	
	Notice Message	
	On / Off	

TC/UBメニュー

TC/UB		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode	Mode	タイムコードの歩進モードを設定する。
タイムコードの 設定	Preset / Regen / Clock	Preset（プリセット）：設定された状態から歩進する。 Regen（リジエネ）：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 Clock（クロック）：内蔵時計をタイムコードとして使用する。
	Run	Rec Run：記録時のみ歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET：決定
	Reset	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
	Execute / Cancel	Execute：実行
	TC Format	タイムコードのフォーマットを設定する。
	DF / NDF	DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
Users Bit	Mode	ユーザービットのモードを設定する。
ユーザービット に関する設定	Fix / Time	Fix：ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Time：ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。
HDMI TC Out	Setting	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。
	On / Off	

Recordingメニュー

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
S&Q Motion	Setting	スロー&クイックモーションモードをON/OFFする。
スロー&クイックモーション モードの設定	On / Off	
	Frame Rate	S&Q設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なる。
	1fps~120fps	

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Interval Rec インターバル レックモードの 設定	Setting On / Off	インターバルレックモードをON/OFFする
	Interval Time 1sec / 2sec / 3sec / 4sec / 5sec / 6sec / 7sec / 8sec / 9sec / 10sec / 15sec / 20sec / 30sec / 40sec / 50sec / 1min / 2min / 3min / 4min / 5min / 6min / 7min / 8min / 9min / 10min / 15min / 20min / 30min / 40min / 50min / 1hour / 2hour / 3hour / 4hour / 6hour / 12hour / 24hour	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の録画 間隔（インターバル）を選択する。
	Number of Frames システム周波数の設定に応 じて変わる。 2frames / 6frames / 12frames 1frame / 3frames / 6frames / 9frames	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の1回 の記録フレーム数を選択する。 記録フォーマットのフレームレートが50P、59.94Pの とき 記録フォーマットのフレームレートが上記以外のとき
	Pre-Lighting Off / 2sec / 5sec / 10sec	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯 させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させ ない場合はOffを選択する。
Picture Cache Rec ピクチャー キャッシュレック モードの設定	Setting On / Off	ピクチャーキャッシュ機能をON/OFFする。
	Cache Rec Time 設定値は記録フォーマット の設定により変わる。	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 （キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を設定す る。
Clip Continuous Rec クリップコン ティニュアス レックモードの 設定	Setting On / Off	クリップコンティニュアスレックモードをON/OFFす る。
	Find Mode Clip / Rec Start	NEXTボタン/PREVボタンを押したときの動作を選択す る。
Simul Rec 同時記録の設定	Setting On / Off	本線同時記録機能のON/OFFと記録先メディアを一括設 定する。
	Rec Button Set Rec Button: A B Handle Rec Button: A B / Rec Button: A Handle Rec Button: B / Rec Button: B Handle Rec Button: A	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
4K & HD (Sub) Rec 4K & HD (Sub) 記録の設定	Setting On / Off	4K & HD (Sub) 記録をON/OFFする。
Proxy Rec プロキシ記録 モードの設定	Setting On / Off	プロキシ記録モードをON/OFFする。 <div> ご注意 <ul style="list-style-type: none"> RecordingメニューのS&Q MotionのSetting（129ページ）がOnのときは、プロキシ記録モードをOnにできません。 </div>
	Proxy Format 1920×1080(9Mbps) / 1280×720(9Mbps) / 1280×720(6Mbps) / 640×360(3Mbps) / 480×270(1Mbps) / 480×270(0.5Mbps)	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。 1920×1080(9Mbps)に設定した場合、システム周波数が23.98のときはプログレッシブで、システム周波数が23.98以外の場合はインターレースで記録される。 1920×1080(9Mbps)以外に設定した場合は、システム周波数に関わらずプログレッシブで記録される。
	Audio Channel CH1/CH2 / CH3/CH4	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
	Chunk 30sec / 1min / 2min	プロキシファイルの分割記録時間を設定する。
Rec Review レックレビュー の設定	Setting 3sec / 10sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

Thumbnailメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties クリップ詳細情報画面の表示		クリップ詳細情報画面を開く。
Set Shot Mark ショットマークの設定	Delete Shot Mark1	Shot Mark1を削除する。
	Delete Shot Mark2	Shot Mark2を削除する。
Set Clip Flag クリップフラグの編集	Add OK	OKフラグを付ける。
	Add NG	NGフラグを付ける。
	Add KEEP	Keepフラグを付ける。
	Delete Clip Flag	すべてのフラグを外す。
Lock / Unlock Clip クリップの保護設定	Select Clip	保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
	Lock All Clips	すべてのクリップを保護する。
	Unlock All Clips	すべてのクリップを保護解除する。
Delete Clip クリップの削除	Select Clip	任意のクリップを削除する。
	All Clips	クリップを一括削除する
Copy Clip クリップのコピー	Select Clip	任意のクリップをコピーする。
	All Clips	クリップを一括コピーする。
Copy Sub Clip サブクリップのコピー	All Clips	4K&HD（Sub）記録で記録されたサブクリップを、別のメディアにメインクリップとして一括コピーする。
Transfer Clip クリップの転送	Select Clip	任意のクリップを転送する。
	All Clips	クリップを一括転送する。
<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> 転送できるクリップの上限は200件です。 		
Transfer Clip (Proxy) プロキシクリップの転送	Select Clip	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。
	All Clips	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。
<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> 転送できるクリップの上限は200件です。 		
Set Index Picture クリップの代表画の設定		クリップの代表画を設定する。

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Thumbnail View サムネイル画面の表示形態の設定	Essence Mark Thumbnail	エッセンスマークのついているフレームをサムネイル表示する。
	All / Rec Start / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Shot Mark3 / Shot Mark4 / Shot Mark5 / Shot Mark6 / Shot Mark7 / Shot Mark8 / Shot Mark9 / Shot Mark0	
	Clip Thumbnail	記録されているクリップのサムネイルを表示する。
	OK	OKフラグのついたクリップのみを表示する。
	NG	NGフラグのついたクリップのみを表示する。
	KEEP	Keepフラグのついたクリップのみを表示する。
Filter Clips 表示するクリップの設定	None	フラグのついていないクリップのみを表示する。
	All	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。
	Thumbnail Caption	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。
	Date Time / Time Code / Duration / Sequential Number	
Customize View 静止画サムネイル画面の表示		

Mediaメニュー

Mediaメニューは、対象となるメディアが未装着のときは無効になります。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Update Media メモリの更新	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
Format Media メモリの初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Utility SD/MS Execute / Cancel	UTILITY SD/MSスロットのメディアを初期化する。 Execute：実行

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
USB SxSメモリー カードスロット に挿入された記録メディア内の クリップをUSB メディアにコピーする操作に 関する設定	Select Folder	USBメディア内のフォルダーを選択する。 USBメディア内に新しいフォルダーを作成する。
	View Clip List	USBメディアのクリップ一覧を表示する。
	Rename Folder	USBメディア内のフォルダー名を編集する。
	Error Check On / Off	USBメディアへクリップをコピーするときに、エラー チェックを行うかどうかを選択する。
	Format USB Execute / Cancel	USBメディアを初期化する。 Execute：実行
	Copy to USB Media(A) to USB / Media(B) to USB / Media(A)(B) to USB	SxSメモリーカードスロット内のクリップをUSBメディアへフォルダーごとコピーする場合の対象スロットを選択する。
	Media Remain	USBメディアの空き容量を表示する（表示のみ）。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip Naming クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming	クリップ名の設定方法を選択する。
	Title / Plan	Title: Title Prefixで任意に設定する。 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。
	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo. の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4～46文字) を設定する Edit File Name画面を呼び出す。 Edit File Name画面の構成 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.;=@[]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置にスペースを挿入する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 BS: カーソル位置の左の文字を削除する。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア。 タイトルを設定するには 1 ♠/♦/♥/♣ボタンを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、SEL/SETダイヤルを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、BSを使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、Doneを選択してEdit File Name画面を閉じる。
	Number Set	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。
	Auto NamingがTitleのとき 0001 ～9999	プランニングメタデータを使用する場合は、5桁になります。
	Auto NamingがPlanのとき 00001 ～99999	

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Planning Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定	Load from Media(A) または Load from Media(B) Execute / Cancel	スロットAまたはBのメモリーカードからプランニングメタデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAまたはBのメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> ファイルリストには、ファイルは512個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が512個以下であっても、メモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー(XDROOT/General/Sony/Planning)に513個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。 読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、メモリーカードを抜かないください。
Properties Execute / Cancel		Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name : ファイル名 Assign ID : アサインID Created : ファイルの生成日時 Modified : ファイルの最終更新日時 Modified by : ファイルの更新者 Title1 : ファイルで指定されたTitle1の内容 (ASCII形式のクリップ名) Title2 : ファイルで指定されたTitle2の内容 (UTF-8形式のクリップ名) Material Group : マテリアルグループ (同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群) の数 Shot Mark0~9 : ショットマーク0~9の名前
Clear Memory Execute / Cancel		Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を消去する。
Clip Name Display Title1(ASCII) / Title2(UTF-8)		プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。
Sort by Date/Time (0-9) / Date/Time (9-0)		Date/Time (0-9) : ファイルリストのDate/Time列で昇順 (生成日時が古い方を前) に並べる。 Date/Time (9-0) : Date/Time列で降順 (生成日時が新しい方を前) に並べる。

Fileメニュー

File		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User File ユーザーファイルの操作に関する設定	Load from Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードまたは“メモリースティック”から呼び出す。 Execute：実行
	Save to Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードまたは“メモリースティック”へ保存する。 Execute：実行
	File ID	ユーザーファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
	Load Customize Data On / Off	Load from Utility SD/MSの実行時にUserメニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
	Load White Data On / Off	Load from Utility SD/MSの実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。
All File Allファイルに関する設定	Load from Utility SD/MS Execute / Cancel	AllファイルをSDカードまたはメモリースティックから呼び出す。 Execute：実行
	Load from Cloud(Private) Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」（個人）に保存されているAllファイルを読み込む。 Execute：実行
	Load from Cloud(Share) Execute / Cancel	クラウドサービス「C3 Portal」（共通）に保存されているAllファイルを読み込む。 Execute：実行
	Save to Utility SD/MS Execute / Cancel	AllファイルをSDカードまたはメモリースティックに保存する。 Execute：実行
	Save to Cloud(Private) Execute / Cancel	Allファイルをクラウドサービス「C3 Portal」（個人）に保存する。 Execute：実行
	Save to Cloud(Share) Execute / Cancel	Allファイルをクラウドサービス「C3 Portal」（共通）に保存する。 Execute：実行
	File ID	ファイルに名前を付ける。
	Load Network Data On / Off	Load from Utility SD/MS、Load from Cloud(Private)、およびLoad from Cloud(Share)を実行するときに、Networkメニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。
Scene File Scene Fileに関する設定	Recall Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーからSceneファイルを読み出す。 Execute：実行
	Store Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーにSceneファイルを保存する。 Execute：実行
	Load from Utility SD/MS Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードから呼び出しを実行する。
	Save to Utility SD/MS Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存する。 /PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/PXW-Z280V/

File		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Scene File	File ID	ファイルに名前を付ける。
Scene Fileに関する設定	Scene White Data On / Off	Scene Fileを呼び出し時にWhite Balanceのデータを反映させるかどうかを設定する。
Network Public Key 公開鍵に関する設定	Key Export Execute / Cancel	公開鍵をUTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアに保存する。 Execute：実行
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> 連続してKey Exportが失敗する場合、公開鍵が破損している可能性があります。このようなときは、Key Clearで公開鍵を消去してから、Key Exportを実行してください。
	Key Clear Execute / Cancel	本機に保存されている公開鍵を消去する。 Execute：実行
	Create Key Date	公開鍵の生成日時を以下の形式で表示する（表示のみ）。 年4桁（西暦）＋月2桁＋日2桁＋時2桁（24時間）＋分2桁＋秒2桁 表示例：2020年12月1日12時34分56秒 →20201201123456

Networkメニュー

Network		
項目	細目と設定値	内容
Setup for Mobile App ネットワーク設定支援ツール	Setup	ネットワーク設定支援ツールを起動する。
Access Authentication 認証に関する設定	User Name	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
	Input Password	アクセス認証のためのパスワードを設定する。
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。
	Generate Password Execute / Cancel	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 Execute：実行
	Show Settings	アクセス認証のユーザー名、パスワードおよびシリアル番号をテキストとQRコードで表示する。
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出しないように注意してください。

Network		
項目	細目と設定値	内容
Wireless LAN ワイヤレスLAN 接続に関する設定	Setting	ワイヤレスLAN接続の動作モードを選択する。
	Access Point Mode / Station Mode / Off	
	WPS Execute / Cancel	WPS (Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	NFC Execute / Cancel	NFC (Near Field Communication) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	MAC Address	本機のワイヤレスLANインターフェースのMACアドレスを表示する（表示のみ）。
AP Mode Settings アクセスポイントモードでの接続に関する設定	Channel	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。
	Auto(5GHz) / Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11	
	Camera SSID & Password	本機のSSIDとパスワードを表示する。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute：実行
	IP Address	本機のアクセスポイントモードでのIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	本機のアクセスポイントモードでのサブネットマスクを表示する。
ST Mode Settings ステーションモードでの接続に関する設定	Camera Remote Control Enable / Disable	ステーションモードで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
	Connected Network	接続中のワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を表示する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを表示する。 セキュリティがWEP/WPA時：***** セキュリティがNone時：空欄
	DHCP	DHCPの有効（On）、無効（Off）を表示する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを表示する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを表示する。
	DNS Auto	DNS自動取得のON/OFFを表示する。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを表示する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを表示する。

Network		
項目	細目と設定値	内容
ST Mode Settings ステーション モードでの接続 に関する設定	Scan Networks	ワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を検出し、リスト表示する。 リストから接続先を選択し、接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP On / Off	DHCPの有効（On）、無効（Off）を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを入力する。
	Manual Register	アクセスポイントと手動接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを入力する。
	Security None / WEP / WPA	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。接続先アクセスポイントのセキュリティ種別がWPAまたはWPA2の場合は、WPAを選択。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP On / Off	DHCPの有効（On）、無効（Off）を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリー DNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリー DNSサーバーを入力する。

Network		
項目	細目と設定値	内容
Wired LAN 有線LAN接続に関する設定	Setting On / Off	有線LANをON/OFFする。
	Camera Remote Control Enable / Disable	本機と有線LAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
	Detail Settings	有線LAN接続の詳細設定を行う。
	DHCP On / Off	DHCPの有効（On）、無効（Off）を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリー DNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリー DNSサーバーを入力する。
Modem モデム/スマートフォンの使用に関する設定	Setting On / Off	モデム/スマートフォン接続の有効（On）、無効（Off）を設定する。
	Camera Remote Control Enable / Disable	モデム/スマートフォンで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
	Modem1 IP Address	Modem1のIPアドレスを表示する。
	Modem1 Subnet Mask	Modem1のサブネットマスクを表示する。
	Modem2 IP Address	Modem2のIPアドレスを表示する。
	Modem2 Subnet Mask	Modem2のサブネットマスクを表示する。

Network		
項目	細目と設定値	内容
Network Client Mode ネットワーククライアントモードに関する設定	Setting On / Off	ネットワーククライアントモードを開始（On）または停止（Off）する。
	NCM Settings Select	ネットワーククライアントモードの接続先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定（NCM Settings1/ NCM Settings2/NCM Settings3）から選択する。
	NCM Settings1	
	Display Name	NCM Settingsのメニュー上の表示名を入力する。
	CCM Address	接続先CCMのアドレスを設定する。ホスト名またはIPアドレス
	CCM Port（1～65535 (8443) ）	接続先CCMのポート番号を設定する。
	User Name	CCM接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	CCM接続の認証パスワードを設定する。
	CCM Certificate Load / Clear / None	CCMに接続する際の証明書の読み込み、削除を設定する。
	CCM Certificate Status Loaded / Default	CCMに接続する際の証明書の読み込み状態を表示する。
	Camera Control Enable / Disable	CCM接続時のCCMからのカメラコントロール許可／不許可を設定する。
	Camera Setting Always / Onetime / Off	CCM接続時のCCMからのAll File操作の許可／不許可を設定する。 Always：常にCCMからのAll File 操作を許可する Onetime：1回だけCCMからのAll File 操作（Load）を許可する Off：CCMからのAll File操作を許可しない
	Reset Execute / Cancel	NCM Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute：実行
	NCM Settings2	NCM Settings1と同じ
	NCM Settings3	NCM Settings1と同じ

Network		
項目	細目と設定値	内容
File Transfer ファイルの転送 に関する設定	Auto Upload On / Off	オリジナルファイルの自動転送をOn/Offする。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> RecordingメニューのSimul RecのSetting（130ページ）がOnに設定されている場合は、スロットBのメディア上に記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
	Auto Upload (Proxy) On / Off / Chunk	On：プロキシファイルの自動転送を有効（On）にする。 Off：プロキシファイルの自動転送を無効（Off）にする。 Chunk：分割記録したプロキシファイルを転送する。
	Default Upload Server	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、自動転送先、およびサムネイル画面からのファイル転送先のサーバーになる。 Server Settings (NCM)、Server Settings 1～3で設定したDisplay Nameを表示する。
	Clear Completed Jobs Execute / Cancel	転送完了済みのジョブをリストからクリアする。 Execute：実行
	Clear All Jobs Execute / Cancel	すべての転送ジョブをリストからクリアする。 Execute：実行
	View Job List	転送ジョブ一覧を表示する。
	Server Settings(NCM)	NCMサーバーのDisplay Nameおよびサービス（CCM）を表示する（表示のみ）。
	Display Name	NCMサーバーのDisplay名を表示する（表示のみ）。
	Service	サービスを表示する（表示のみ）。
	Server Settings1	
	Display Name	転送先設定のメニュー上の表示名を入力する。
	Service FTP	サーバーの種類を表示する（表示のみ）。
	Host Name	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	Port（1～65535（21））	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	User Name	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	Passive Mode On / Off	PASVモードのON/OFFする。
	Destination Directory	転送先ディレクトリーを入力する。
	Using Secure Protocol On / Off	セキュアなFTP転送（FTPESのExplicit Mode：FTPES）を行うか（On）、行わないか（Off）を設定する。
	Root Certificate Load / Clear / None	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。
	Root Certificate Status Loaded / No Certificate	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
	Reset Execute / Cancel	Server Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute：実行
	Server Settings2	Server Settings1と同じ
	Server Settings3	Server Settings1と同じ

Network		
項目	細目と設定値	内容
Streaming 映像・音声のストリーミングに関する設定	Setting On / Off	ストリーミングを開始（On）または停止（Off）する。
	Destination Select	ストリーミングの送信先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定（Destination Settings1/Destination Settings2/Destination Settings3）から選択する。
	Destination Settings1	
	Display Name	ストリーミングの送信先設定のメニュー上の表示名を入力する。
	Streaming Type	ストリーミング送信先のストリーミング方式を表示する（表示のみ）。
	Streaming Format 1920x1080 9M / 1920x1080 6M / 1920x1080 3M / 1280x720P 9M / 1280x720P 6M / 1280x720P 3M / 1280x720P 2M / 640x360P 3M / 640x360P 2M / 640x360P 1M / 480x270P 1M / 480x270P 0.5M / 480x270P 0.3M / 480x270P 0.2M / 320x180P 0.2M	ストリーミングする映像のフォーマットを選択する。
	Audio Channel CH1/CH2 / CH3/CH4 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4	ストリーミングする音声のチャンネルを選択する。
	Destination Address	ストリーミングの送信先サーバーのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス
	Destination Port（1～65535（1234））	ストリーミングの送信先サーバーのポート番号を設定する。
	Reset Execute / Cancel	Destination Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute：実行
	Destination Settings2	Destination Settings1と同じ
	Destination Settings3	Destination Settings1と同じ

Network		
項目	細目と設定値	内容
RTMP/RTMPS 映像・音声の RTMP/RTMPSス トリーミングに 関する設定	Setting On / Off	RTMP/RTMPSストリーミングを開始 (On) または停止 (Off) する。
	RTMP Settings Select	RTMP/RTMPSストリーミングの送信先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定 (RTMP Settings1/RTMP Settings2/RTMP Settings3) から選択する。
	RTMP Settings1	
	Display Name	RTMP Settingsのメニュー上の表示名を入力する。
	Streaming Format	ストリーミングする映像のフォーマット選択する。
	Destination URL	接続するRTMPサーバーのURLを設定する。
	Stream Name	ストリーミングサーバーから配布されるストリーミングチャンネル名を入力する。
	RTMPS Certificate Load / Clear / None	RTMPS接続用の証明書の読み込みや消去を設定する。
	RTMPS Certificate Status Loaded / Default	RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示する。 Loaded : 証明書が読み込まれた状態。読み込まれた証明書が使用される。 Default : 証明書が読み込まれていない状態。カムコーダーに内蔵されている証明書が使用される。
	Load from Utility SD/MS Load / None	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアに記録されているRTMP/RTMPSのDisplay Name、Destination URL、およびStream Nameの情報を本機に読み込む。
	Reset Execute / Cancel	各設定項目を初期値に戻す。 Execute : 実行
	RTMP Settings2	RTMP Settings1と同じ
	RTMP Settings3	RTMP Settings1と同じ
	Replace Default Certificates Execute / Cancel	既定証明書をSDメモリーカードから読み込む。 Execute : 実行
	Reset Default Certificates Execute / Cancel	既定証明書を本機内蔵の既定証明書に戻す。 Execute : 実行
	Default Certificates Status	既定証明書の状態を表示する。
	Network Reset Reset Execute / Cancel	ネットワークの設定をリセットする。 Execute : 実行

Systemメニュー

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Base Setting 撮影モードの 設定	Shooting Mode SDR / HDR	ダイナミックレンジのモードを選択する。

System			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
HDR Setting ダイナミックレ ンジの設定	Rec/Out HDR(HLG) / HDR(S-Log3)	HDRモード時の記録と出力信号のガンマカーブを選択する。	
	LCD/VF SDR Preview Off / On	Off：ガンマ表示アシスト機能有効でHDRモード時、HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する。 On：ガンマ表示アシスト機能有効でHDRモード時、HDRからSDRへの変換を想定して、簡易変換されたSDRを表示する。	
	SDR Gain 0dB / -1dB / ... -6dB ... / -14dB / -15dB	LCD/VF SDR PreviewがOnのとき、液晶画面/ビューファインダーに表示されるSDRのゲインを設定する。Rec/OutでHDR(S-Log3)を選択した場合、およびRec/OutでHDR(HLG)を選択し、かつHDR Paint SettingのHLG LookをLiveに設定した場合は、-6dBが標準値になる。(1dB刻み)	
Rec Format 記録フォーマッ トの設定	Frequency 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	システム周波数を選択する。	
	File System exFAT / UDF / FAT	ファイルシステムを選択する。	
	Codec XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD 422 / MPEG HD 420 / DVCAM(MXF)	記録・再生モードを設定する。	
	Video Format Frequency, File System, Codecの設定に応じて変わる。	録画フォーマットを設定する。 SET：実行	
	File System Frequency Codec	選択肢	
exFAT 59.94		XAVC-I	3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i 1280×720P
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25 1280×720P 50
		MPEG HD422	1920×1080i 50 1280×720P 50
		MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
		DVCAM(MXF)	720×480i

System				
メニュー項目	細目と設定値	内容		
Rec Format 記録フォーマットの設定	50	XAVC-I	3840×2160P 1920×1080P 1920×1080i 1280×720P	
		XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25 1280×720P 50	
		MPEG HD422	1920×1080i 50 1280×720P 50	
		MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ	
		DVCAM(MXF)	720×576i	
		29.97	XAVC-I	3840×2160P 1920×1080P
			XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35
	MPEG HD422		1920×1080P 50 1280×720P 50	
	25	MPEG HD420	1920×1080P HQ	
		XAVC-I	3840×2160P 1920×1080P	
			XAVC-L	3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35
	23.98	MPEG HD422	1920×1080P 50 1280×720P 50	
		MPEG HD420	1920×1080P HQ	
		XAVC-I	3840×2160P 1920×1080P	
	XAVC-L		3840×2160P 1920×1080P 50 1920×1080P 35	
			MPEG HD422	1920×1080P 50 1280×720P 50
		MPEG HD420	1920×1080P HQ	

System				
メニュー項目	細目と設定値		内容	
Rec Format 記録フォーマットの設定	UDF	59.94	MPEG HD422	1920×1080i 50 1280×720P 50
			MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
			DVCAM(MXF)	720×480i
		50	MPEG HD422	1920×1080i 50 1280×720P 50
			MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
			DVCAM(MXF)	720×576i
		29.97	MPEG HD422	1920×1080P 50 1280×720P 50
			MPEG HD420	1920×1080P HQ
		25	MPEG HD422	1920×1080P 50 1280×720P 50
			MPEG HD420	1920×1080P HQ
		23.98	MPEG HD422	1920×1080P 50 1280×720P 50
			MPEG HD420	1920×1080P HQ
	FAT	59.94	MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
		50	MPEG HD420	1920×1080i HQ 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
		29.97	MPEG HD420	1920×1080P HQ
		25	MPEG HD420	1920×1080P HQ
		23.98	MPEG HD420	1920×1080P HQ
		Aspect Ratio (SD)		
16:9 / 4:3		DVCAM記録時のアスペクト比を設定する。		

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button	<1>～<10>	アサインابلボタンに機能を割り当てる。
アサインابلボタンへの機能割り当て設定	Push AF/Push MF / Face Detection AF / ND Filter	Push AF/Push MF：プッシュオートフォーカス機能の実行
	Position / Auto ND Filter / Push Auto ND / Push Auto Iris / Turbo Gain / AGC / Shutter / Auto Exposure Level / Spotlight / Backlight / Flash Band Reduce / Digital Extender ×2 /	Face Detection AF：顔検出AF機能ON/OFF切り替え ND Filter Position：NDフィルターのポジションの切り替え Auto ND Filter：Auto ND Filter機能のON/OFF切り替え Push Auto ND：Auto ND Filterの機能の一時実行 Push Auto Iris：ワンプッシュオートアイリス機能の実行
	Handle Zoom / Color Bars / Preset White Select / ATW / ATW Hold / Audio Monitor CH / Audio Mon. CH Switch / Marker / Zebra / Peaking / Video Signal Monitor /	Turbo Gain：Turbo GainのON/OFF切り替え AGC：オートゲインコントロール機能の切り替え Shutter：オートシャッター / マニュアルシャッターの切り替え Auto Exposure Level：AEレベルの調節 Spotlight：AE ModeのSpotlightに切り替え
	Focus Magnifier / Lens Info / LCD/VF Adjust / VF Mode / Gamma Display Assist /	Backlight：AE ModeのBacklightに切り替え Flash Band Reduce：フラッシュバンド補正機能のON/OFF切り替え
	Display / Rec / S&Q Motion / Clip Continuous Rec /	Digital Extender ×2：画面拡大（2倍）機能のON/OFF切り替え
	Picture Cache Rec / Proxy Rec Start/Stop / Rec Review / Last Clip Del. / Thumbnail / Shot Mark1 /	Handle Zoom：ハンドルズーム動作の切り替え Color Bars：カラーバー表示のON/OFF切り替え Preset White Select：ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え
	Shot Mark2 / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag	ATW：ATWのON/OFF切り替え ATW Hold：ATW の動作を一時ホールド
	Keep / NFC / Network Client Mode / Intercom	Audio Monitor CH：音声チャンネルの組み合わせの切り替え
	Level / Streaming / RTMP/ RTMPS / Auto Upload	Audio Mon. CH Switch：音声チャンネルの組み合わせの切り替え
	(Proxy) / Direct Menu / User Menu / Menu	Marker：マーカー機能のON/OFF切り替え Zebra：ゼブラ機能のON/OFF切り替え Peaking：ピーキング機能のON/OFF切り替え Video Signal Monitor：映像信号モニター（ヒストグラムなど）の表示切り替え Focus Magnifier：ピント拡大機能のON/OFF切り替え Lens Info：被写界深度表示の切り替え LCD/VF Adjust：液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーの表示 VF Mode：ビューファインダー画面のカラー / モノクロ切り替え Gamma Display Assist：ガンマ表示アシスト機能の切り替え Display：モニター画面表示のON/OFF切り替え Rec：記録の開始または停止 S&Q Motion：スロー&クイックモーション機能のON/OFF切り替え、フレームレート設定画面の表示 Clip Continuous Rec：クリップコンティニュアスレック機能のON/OFF切り替え

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定		Picture Cache Rec：ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF切り替え Proxy Rec Start/Stop：プロキシ単独記録の開始または停止 Rec Review：レックレビューの開始 Last Clip Del.：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行 Thumbnail：サムネイル画面表示のON/OFF切り替え Shot Mark1：記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加 Shot Mark2：記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加 Clip Flag OK：記録中または再生中のクリップにOKフラグを設定、解除 Clip Flag NG：記録中または再生中のクリップにNGフラグを設定、解除 Clip Flag Keep：記録中または再生中のクリップにKeepフラグを設定、解除 NFC：NFC機能の実行 Network Client Mode：ネットワーククライアントモードのON/OFF切り替え Intercom Level：インカムの受話レベル調整用レベルバーの表示 Streaming：ストリーミングの実行または停止 RTMP/RTMPS：RTMP/RTMPSストリーミングの実行または停止 Auto Upload (Proxy)：プロキシファイルの自動転送のON/OFF/Chunk切り替え Direct Menu：ダイレクトメニューの設定 User Menu：Userメニューの表示 Menu：セットアップメニューの表示
Switch Hold Setting 操作ホールドの設定	FULL AUTO Button Off / Hold(On)	Off：FULL AUTOボタンを有効にする。 Hold(On)：FULL AUTOボタンのON/OFFの変更ができないようにする。
Tally 記録/タリーランプの設定	Front On / Off Rear On / Off	記録/タリーランプ（Front）をON/OFFする。 記録/タリーランプ（Rear）をON/OFFする。
Language 言語の設定	Select	表示する言語を設定する。 SET：実行

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Time Zone UTC -12:00~UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
	12H/24H 12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H：12時間表示 24H：24時間表示
	Date	現在の日付を設定する。 SET：決定
	Time	現在の時刻を設定する。 SET：決定
Hours Meter 積算時間の表示	Hours(System)	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
	Hours(Reset)	積算使用時間（リセット可）を表示する。
	Reset Execute / Cancel	Hours（Reset）表示を0にリセットする。 Execute：実行
GPS GPSの設定	GPS On / Off	GPSをON/OFFする。
Battery Alarm バッテリー電圧 低下警告の設定	Low Battery 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
	Battery Empty 3% ~7%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する（1%刻み）。
DC Voltage Alarm DC IN入力電圧 低下警告の設定	DC Low Voltage1 11.2V ~ 14.0V (11.3V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する（0.1V刻み）。
	DC Low Voltage2 11.0V ~ 14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する（0.1V刻み）。
Menu Settings メニューに関する設定	Direct Menu with <SET> On / Off	ダイレクトメニュー操作を、SETボタンを押すことで開始できるようにするかを設定する。
	<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> Onにすると、顔検出AF機能での登録顔登録操作ができなくなります。また、現在登録されている登録顔がクリアされます。 	
	User Menu Only On / Off	メニューを表示したときに、Userメニューだけを表示するか（On）、メニューリストを表示するか（Off）を設定する。
	User Menu with Lock On / Off	メニュー表示にロックをかけて、Userメニューだけの表示にするかどうかを設定する。
Fan Control ファン制御の設定	<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> 通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、108ページをご覧ください。 	
	Setting Auto / Minimum / Off in Rec	ファンの制御モードを選択する。

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Reset Execute / Cancel	工場出荷状態へのリセットを実行する。 Execute：実行
	Reset without Network Execute / Cancel	Networkの設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。 Execute：実行
Version 本機のバージョンの表示	Version Number x.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
	Version Up Execute / Cancel	本機をバージョンアップ*する。 Execute：実行 * バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。

設定データ

セットアップメニューの設定内容を、本機の内蔵メモリーまたはSDカード、“メモリースティック”に保存することができます。また、Allファイルをクラウドサービスに保存することができます。これらのデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データは、次のように分類されて保存されます。

User File (ユーザーファイル)

カスタマイズしたUserメニューの設定項目と設定データを保存します。

SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、Userメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

All File (ALL ファイル)

全メニューの設定データを保存します。SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。C3 Portal (クラウドサービス) には、個人 (Private) 60個までと共通 (Share) 60個までの計120個まで保存することができます。

ご注意

- 機器固有のデータ (機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど) は保存されません。

Scene File (シーンファイル)

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

設定データ保存に使用可能なメディア

SDXCメモリーカード* (Speed Class : 4~10/UHS非対応/容量 : 2~32GB、64GB~)

SDHCメモリーカード* (Speed Class : 4~10/UHS非対応/容量 : 2~32GB)

SDメモリーカード* (容量 : 2GBまで)

“メモリースティックPRO-HGデュオ”**

“メモリースティックPROデュオ”**

* 本書ではSDカードと表現しています。

** 本書では“メモリースティック”と表現していません。

メディアをフォーマット (初期化) する

本機で初めてSDカードや“メモリースティック”を使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードや“メモリースティック”は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードや“メモリースティック”を装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット (10ページ) に差し込む。

2 MediaメニューのFormat Media (133ページ) のUtility SD/MSでExecuteを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して画面を消します。


ご注意

- SDカードや“メモリスティック”をフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する




メディアステータス画面（18ページ）を表示させると、SDカードや“メモリスティック”の残量を確認することができます。




ご注意

- SDカードや“メモリスティック”がプロテクトされている場合は、マークが表示されます。
- 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用する場合は、あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。







ユーザーファイル、ALLファイルを保存する

メモリーカードに保存するには

- 1 SDカードまたは“メモリスティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。
- 2 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（137ページ）のUser FileのSave to Utility SD/MSを選択する。ALLファイルの場合は、FileメニューのAll FileのSave to Utility SD/MSを選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。
- 3 / /  ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 4 / /  ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

ALLファイルをクラウドサービスに保存するには

- 1 本機をスマートフォンアプリC3 Portal専用アプリに接続する。
- 2 FileメニューのAll FileのSave to Cloud(Private)またはSave to Cloud(Share)を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。
- 3 / /  ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 4 / /  ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

ユーザーファイル、ALLファイルを呼び出す

メモリーカードから呼び出すには

- 1 ファイルを保存したSDカードまたは“メモリスティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。
- 2 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（137ページ）のUser FileのLoad from Utility SD/MSを選択する。
ALLファイルの場合は、Fileメ

ニューのAll FileのLoad from Utility SD/MSを選択する。

ファイルの一覧画面が表示されます。

- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

- 4 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

ご注意

- 設定データを呼び出すと、本機は自動的に再起動されます。
- FileメニューのAll FileのLoad Network DataがOffの場合は、Networkメニューの設定項目を除いたALLファイルを読み出します。

Allファイルをクラウドサービスから呼び出すには

- 1 本機をスマートフォンアプリC3 Portal専用アプリに接続する。
- 2 FileメニューのAll FileのLoad from Cloud(Private)またはLoad from Cloud(Share)を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 4 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

シーンファイルを保存する

内蔵メモリーに保存するには

- 1 Fileメニュー（137ページ）のScene FileのStore Internal Memoryで、Executeを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されています。
- 2 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
選択した保存先にシーンファイルが上書き保存されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

SDカードまたは“メモリースティック”に保存するには

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。
- 2 Fileメニュー（137ページ）のScene FileのSave to Utility SD/MSで、Executeを選択する。
シーンファイルの保存先画面が表示されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 4 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

シーンファイルを読み出す

内蔵メモリーから読み出すには

- 1 Fileメニュー（137ページ）のScene FileのRecall Internal Memoryで、Executeを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
- 2 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで読み出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
シーンファイルは、ダイレクトメニュー（45ページ）で読み出すこともできます。

SDカードまたは“メモリースティック”から読み出すには

- 1 シーンファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（10ページ）に差し込む。
- 2 Fileメニュー（137ページ）のScene FileのLoad from Utility SD/MSで、Executeを選択する。
シーンファイルの一覧画面が表示されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで読み出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。

- 4 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

File IDを変更するには

- 1 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（137ページ）のUser Fileで、File IDを選択する。
ALLファイルの場合は、Fileメニュー（137ページ）のAll Fileで、File IDを選択する。
シーンファイルの場合は、Fileメニュー（137ページ）のScene Fileで、File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 **▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで文字を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
- 3 手順2を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、**▲/▼/◀/▶**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでDoneを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

使用上のご注意

海外で使う

電源について


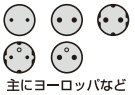

本機は、海外でも使えます。

ACアダプター（別売）やチャージャー BC-U1A/U2A（別売）は、全世界の電源（AC 100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

時差補正機能について

海外で使うとき、SystemメニューのClock SetのTime Zone（151ページ）を設定します。

安全にご使用いただくために、別紙の取扱説明書と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がリ、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをSTANDBYにして電源を切ってください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

レンズに向けてレーザーなどの光線を照射しない

イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

バッテリーについて

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - ーバッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - ー高容量バッテリーを使う。

- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（24ページ）。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。

- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やビューファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面やビューファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - －シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - －上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - －ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につなが

い、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

画面について

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押ししたり、引っかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面・有機EL画面の輝点・減点について

本機の液晶パネル・有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネル・有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

有機ELパネルの表示について

一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。

また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はご購入の店にご相談ください。
- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- 機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用させていただくために、定期点検を実施することをお願いします。
点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、液晶画面やビューファインダーの映像が乱れることがあります。
 - －フォーマットを切り替えたとき
 - －サムネイル画面から再生を開始したとき

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、MediaメニューのFormat Media（133

ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

セキュリティに関するご注意

- 安全に設計されたファイアウォールの下で使用してください。信用できない機器に接続される可能性があるネットワークには、本機を接続しないでください。
- FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されないため、FTPSを使用できる場合はFTPSを使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上で使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します（138ページ）。特にOpenのネットワークに接続する場合はご注意ください。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

GPSについて

GPS（Global Positioning System）とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報（アルマナックデータ）と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
 - ー トンネルの中・屋内やビルの陰
 - ー 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
 - ー 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - ー 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- GPSがOnの状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSをOffにして撮影してください（151ページ）。

誤差について

- GPSをOnにした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。

GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺的环境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

- 測位時間による誤差

本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

ビデオフォーマットについて

記録メディアについて

記録メディアと対応フォーマット

■通常記録

	ファイルシステム		SxS Pro+	SxS Pro	SxS-1	XQD	SDXC	SDHC
XAVC-I	exFAT	3840x2160	○	-	-	○	-	-
		1920x1080	○	○	-	○	-	-
		1280x720	○	-	-	○	-	-
XAVC-L	exFAT	3840x2160	○	○	○	○	-	-
		1920x1080	○	○	○	○	○	-
		1280x720	○	○	○	○	○	-
MPEG	exFAT		○	○	○	○	○	-
HD422	UDF		○	○	○	○	-	-
MPEG	exFAT		○	○	○	○	○	-
HD420	UDF		○	○	○	○	-	-
	FAT		-	-	-	-	-	○
DVCAM	exFAT		○	○	○	○	○	-
	UDF		○	○	○	○	-	-

○：対応

-：非対応

■S&Q モード

	ファイルシステム	SxS Pro+	SxS Pro	SxS-1	XQD	SDXC	SDHC
XAVC-I	exFAT	○	-	-	○	-	-
XAVC-L		○	○	○	○	-	-
MPEG HD422		○	○	○	○	○	-
MPEG HD420		○	○	○	○	○	-

○：対応

-：非対応

ソニー製SxSメモリーカードとソニー製XQDメモリーカード（Gシリーズ、S（EB Stream）シリーズ）以外のメモリーカードでの動作は、保証いたしません。

特殊記録の対応

	XAVC-I	XAVC-L	MPEG HD422		MPEG HD420			DVCAM
	exFAT	exFAT	exFAT	UDF	exFAT	UDF	FAT	
インターバルレック	○	○	○	-	○	-	-	-
クリップコンティニュア スレック	○	○	○	○	○	○	-	-
ピクチャーキャッシュ レック	○	○	○	○	○	○	○	-
スロー&クイックモー ション	○	○	○	-	○	-	-	-
2スロット同時記録	○	○	○	○	○	○	-	-
4K & HD (Sub) 記録	○	○	-	-	-	-	-	-

○：対応

-：非対応

クリップの最大記録時間

記録フォーマット	連続撮影時間（メディア1枚当たり）リレー記録の記録可能時間	
XAVC-I	約24時間	約24時間
XAVC-L	約24時間	約24時間
MPEG HD422	約24時間	約24時間
MPEG HD420	約24時間	約24時間
DVCAM	約24時間	約24時間

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

ご注意

- SDI出力設定とHDMI出力設定に同時に3840x2160Pを設定することはできません。

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号
59.94	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 59.94P
		1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x486i	720x486 59.94i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x486i	720x486 59.94i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x486i	720x486 59.94i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P
		720x486i	720x486 59.94i
	720x486i	720x486i	720x486 59.94i
29.97	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 29.97PsF
	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 29.97PsF
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)
23.98	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 23.98PsF
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 23.98PsF
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
		720x486i (2-3PD)	720x486 59.94i (2-3PD)
	1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)
		720x486i (2-3PD)	720x486 59.94i (2-3PD)

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号
50	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 50P
		1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
25	3840x2160P	1280x720P	1280x720 50P
		720x576i	720x576 50i
	1920x1080P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)
		720x576i	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)
		720x576i	720x576 50i (PsF)

HDMI OUT端子の出力フォーマット

ご注意

- SDI出力設定とHDMI出力設定に同時に3840x2160Pを設定することはできません。

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号
59.94	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 59.94P
		1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P
		720x480i	720x480 59.94i
	720x486i	720x480i	720x480 59.94i
		720x480P	720x480 59.94P

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号
29.97	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 29.97P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)
		720x480i	720x480 59.94i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)
		720x480i	720x480 59.94i (PsF)
23.98	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 23.98P
		1920x1080P	1920x1080 23.98P
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 23.98P
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)
	1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)
50	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 50P
		1920x1080P	1920x1080 50P
		1920x1080i	1920x1080 50i
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 50P
		1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P
		720x576i	720x576 50i
25	3840x2160P	720x576i	720x576 50i
		720x576P	720x576 50P
	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 25P
		1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)
		720x576i	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)
		720x576i	720x576 50i (PsF)

GENLOCK IN/VIDEO OUT端子の出力フォーマット

VIDEO 出力信号

記録フォーマット設定		出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	同期信号	出力信号
59.94	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1920x1080i	HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1440x1080i	HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1280x720P	HD Sync	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	720x486i	Composite	720x486 59.94i
		SD-Sync	720x486 59.94i
29.97	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 29.97PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 29.97PsF
		Composite	720x486 59.94i (PsF)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 29.97PsF
		Composite	720x486 59.94i (PsF)
23.98	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		HD-Y	1920x1080 23.98PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 23.98PsF
		HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		Composite	720x486 59.94i (2-3PD)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		Composite	720x486 59.94i (2-3PD)
50	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 50i
	1920x1080P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1920x1080i	HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1440x1080i	HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1280x720P	HD Sync	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	720x576i	Composite	720x576 50i
		SD-Sync	720x576 50i

記録フォーマット設定		出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	同期信号	出力信号
25	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 25PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 25PsF
		Composite	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 25PsF
		Composite	720x576 50i (PsF)

ご注意

- 再生クリップの画サイズが、VIDEOメニューのOutput FormatのSDI、HDMIの出力に設定されている画サイズよりも小さい場合、それぞれの端子からは映像信号が出力されません。

ネットワークと映像出力の組み合わせ

SDI	HDMI	VIDEO	有線LAN	モデム/スマートフォン	無線LAN	LCDモニター
ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	省電力モード
ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	省電力モード
OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	省電力モード
OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	

ご注意

- 省電力モードでは、液晶画面の明るさが暗くなります。

記録機能間の制約

Recordingメニュー	S&Q Motion	Interval Rec	Picture Cache Rec	Clip Continuous Rec	Simul Rec	4K & HD(Sub) Rec	Proxy Rec
S&Q Motion	-	×	×	×	×	×	×
Interval Rec	×	-	×	×	×	×	×
Picture Cache Rec	×	×	-	×	×	×	×
Clip Continuous Rec	×	×	×	-	×	×	○
Simul Rec	×	×	×	×	-	×	×
4K & HD(Sub) Rec	×	×	×	×	×	-	×
Proxy Rec	×	×	×	○	×	×	-

○：使用できる、×：使用できない

All File/Scene Fileに保存される項目

表凡例

○：ファイルに保存されます

×：ファイルに保存されません

－：ファイルに保存されません（一時的動作メニュー）

Camera

細目1	細目2	All File	Scene File
Focus	Face Detection AF	○	×
ND Filter	Preset1	○	○
	Preset2	○	○
	Preset3	○	○
Gain	Gain<L>	○	○
	Gain<M>	○	○
	Gain<H>	○	○
	Gain <Turbo>	○	○
	High Sensitivity Mode	○	○
	Shockless Gain	○	○
Shutter	Mode	○	○
	Shutter Speed	○	○
	Shutter Angle	○	○
	ECS	○	○
	ECS Frequency	○	○
Auto Exposure	Level	○	○
	Mode	○	○
	Speed	○	○
	Auto ND Filter	○	○
	AGC	○	○
	AGC Limit	○	○
	AGC Point	○	○
	Auto Shutter	○	○
	A.SHT Limit	○	○
	A.SHT Point	○	○
	Clip High light	○	×
	Detect Window	○	×
	Detect Window Indication	○	○
	Average Peak Level Ratio	○	×
	Custom Width	○	×
	Custom Height	○	×
	Custom H Position	○	×
	Custom V Position	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Color Bars	Setting	×	×
	Type	○	×
Flicker Reduce	Mode	○	×
	Frequency	○	×
Flash Band Reduce	Setting	×	×
Handle Zoom	Setting	○	×
	High	○	×
	Low	○	×
Auto Black Balance	Auto Black Balance	–	–
Auto FB Adjust	Auto FB Adjust	–	–
Video Light Set	Video Light Set	○	×

Paint

1) : FileメニューのScene FileのScene White DataがOffのときは保存されません。

細目1	細目2	All File	Scene File
HDR Paint Setting	HLG Look	○	○
	HDR Black Offset	○	○
	HDR Knee	○	○
	HDR Knee Point	○	○
	HDR Knee Slope	○	○
White	Preset White	○	×
	Color Temp <A>	○	○ ¹⁾
	Color Temp Balance <A>	○	○ ¹⁾
	R Gain <A>	○	○ ¹⁾
	B Gain <A>	○	○ ¹⁾
	Color Temp 	○	○ ¹⁾
	Color Temp Balance 	○	○ ¹⁾
	R Gain 	○	○ ¹⁾
	B Gain 	○	○ ¹⁾
White Setting	Shockless White	○	×
	ATW Speed	○	×
	ATW Mode	○	○
	White Switch	○	○
	Filter White Memory	○	×
Offset White	Offset White <A>	○	×
	Warm Cool <A>	○	×
	Warm Cool Balance <A>	○	×
	Offset White 	○	×
	Warm Cool 	○	×
	Warm Cool Balance 	○	×
	Offset White<ATW>	○	×
	Warm Cool<ATW>	○	×
	Warm Cool Balance<ATW>	○	×
Black	Setting	○	○
	Master Black	○	○

細目1	細目2	All File	Scene File
Gamma	Setting	○	○
	Master Gamma	○	○
	Gamma Category	○	○
	Gamma Select	○	○
Black Gamma	Setting	○	○
	Range	○	○
	Master Black Gamma	○	○
Low Key Saturation	Setting	○	○
	Level	○	○
	Range	○	○
Saturation Mode	Saturation Mode	○	○
	Knee Saturation	○	○
	Black Gamma	○	○
	Low Key Saturation	○	○
Noise Suppression	Setting	○	○
	Level	○	○
Knee	Setting	○	○
	Auto Knee	○	○
	Point	○	○
	Slope	○	○
	Knee Saturation	○	○
	Knee Saturation Level	○	○
White Clip	Setting	×	○
	Level	○	○
Detail(QFHD)	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispening	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
Detail(HD)	V Detail Creation	○	○
	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispening	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
	V Detail Creation	○	○

細目1	細目2	All File	Scene File
Detail(SD)	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispeneing	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
	V Detail Creation	○	○
Skin Detail	Setting	○	○
	Area Detection	–	–
	Area Indication	×	×
	Level	○	○
	Saturation	○	○
	Hue	○	○
	Width	○	○
Aperture	Setting	○	○
	Level	○	○
Matrix	Setting	○	○
	Adaptive Matrix	○	○
	Preset Matrix	○	○
	Preset Select	○	○
	User Matrix	○	○
	User Matrix Level	○	○
	User Matrix Phase	○	○
	User Matrix R-G	○	○
	User Matrix R-B	○	○
	User Matrix G-R	○	○
	User Matrix G-B	○	○
	User Matrix B-R	○	○
	User Matrix B-G	○	○
Multi Matrix	Setting	○	○
	Area Indication	×	×
	Color Detection	–	–
	Reset	–	–
	Axis	×	×
	Hue	○	○
	Saturation	○	○
Maintenance	Test Saw	○	×

Audio

細目1	細目2	All File	Scene File
Audio Input	CH2 EXT Input Select	○	×
	CH3 Input Select	○	×
	CH4 Input Select	○	×
	INPUT1 MIC Reference	○	×
	INPUT2 MIC Reference	○	×
	Internal MIC Level	○	×
	Line Input Reference	○	×
	Reference Level	○	×
	CH1 Wind Filter	○	×
	CH2 Wind Filter	○	×
	CH3 Wind Filter	○	×
	CH4 Wind Filter	○	×
	Limiter Mode	○	×
	CH1&2 AGC Mode	○	×
	CH3&4 AGC Mode	○	×
	AGC Spec	○	×
	1kHz Tone on Color Bars	○	×
Audio Output	Monitor CH	○	×
	Headphone Out	○	×
	Alarm Level	○	×
	HDMI Output CH	○	×
	Analog Output CH	○	×

Video

細目1	細目2	All File	Scene File
Output On/Off	SDI	○	×
	HDMI	○	×
	VIDEO	○	×
Output Format	SDI	○	×
	HDMI	○	×
	VIDEO	×	×
Output Display	SDI/HDMI/VIDEO	○	×
SDI/HDMI Rec Control	Setting	○	×
Down Converter	Down Converter	○	×

LCD/VF

細目1	細目2	All File	Scene File
LCD Setting	Brightness	○	×
VF Setting	Brightness	○	×
	Color Mode	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Peaking	Setting	○	×
	Type	○	×
	Normal Peaking Frequency	○	×
	Normal Peaking Level	○	×
	Color	○	×
	Color Peaking Level	○	×
Marker	Setting	○	×
	Color	○	×
	Center Marker	○	×
	Safety Zone	○	×
	Safety Area	○	×
	Aspect Marker	○	×
	Aspect Mask	○	×
	Aspect Safety Zone	○	×
	Aspect Safety Area	○	×
	Aspect Select	○	×
	Guide Frame	○	×
	100% Marker	○	×
	User Box	○	×
	User Box Width	○	×
	User Box Height	○	×
Zebra	Setting	○	×
	Zebra Select	○	×
	Zebra1 Level	○	×
	Zebra1 Aperture Level	○	×
	Zebra2 Level	○	×
Gamma Display Assist	Setting	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Display On/Off	Network Status	○	×
	File Transfer Status	○	×
	Rec/Play Status	○	×
	Tally	○	×
	NCM/Streaming Status	○	×
	Battery Remain	○	×
	Focus Mode	○	×
	Focus Position	○	×
	Focus Macro	○	×
	Face Detection Frame	○	×
	Lens Info	○	×
	Rec Format	○	×
	Frame Rate	○	×
	Zoom Position	○	×
	Digital Extender	○	×
	UWP RF Level	○	×
	GPS	○	×
	SteadyShot	○	×
	Gamma	○	×
	SDI/HDMI Rec Control	○	×
	Gamma Display Assist	○	×
	Proxy Status	○	×
	Focus Assist Indicator	○	×
	Focus Assist Area	○	×
	Media Status	○	×
	Video Signal Monitor	○	×
	Clip Name	○	×
	White Balance	○	×
	Scene File	○	×
	Auto Exposure Mode	○	×
	Auto Exposure Level	○	×
	Timecode	○	×
	ND Filter	○	×
	Iris	○	×
	Gain	○	×
	Shutter	○	×
	Audio Level Meter	○	×
	Video Level Warning	○	×
	Clip Number	○	×
	Notice Message	○	×

TC/UB

細目1	細目2	All File	Scene File
Timecode	Mode	○	×
	Run	○	×
	Setting	×	×
	Reset	—	—
	TC Format	○	×
Users Bit	Mode	○	×
	Setting	×	×
HDMI TC Out	Setting	○	×

Recording

細目1	細目2	All File	Scene File
S&Q Motion	Setting	○	×
	Frame Rate	○	×
Interval Rec	Setting	×	×
	Interval Time	○	×
	Number of Frames	○	×
	Pre-Lighting	○	×
Picture Cache Rec	Setting	○	×
	Cache Rec Time	○	×
Clip Continuous Rec	Setting	○	×
	Find Mode	○	×
Simul Rec	Setting	○	×
	Rec Button Set	○	×
4K & HD (Sub) Rec	Setting	○	×
Proxy Rec	Setting	○	×
	Proxy Format	○	×
	Audio Channel	○	×
	Chunk	○	—
Rec Review	Setting	○	×

Thumbnail

細目1	細目2	All File	Scene File
Display Clip Properties	—	—	—
Set Shot Mark	Delete Shot Mark1	—	—
	Delete Shot Mark2	—	—
Set Clip Flag	Add OK	—	—
	Add NG	—	—
	Add KEEP	—	—
	Delete Clip Flag	—	—

細目1	細目2	All File	Scene File
Lock/Unlock Clip	Select Clip	—	—
	Lock All Clips	—	—
	Unlock All Clips	—	—
Delete Clip	Select Clip	—	—
	All Clips	—	—
Copy Clip	Select Clip	—	—
	All Clips	—	—
Copy Sub Clip	All Clips	—	—
Transfer Clip	Select Clip	—	—
	All Clips	—	—
Transfer Clip (Proxy)	Select Clip	—	—
	All Clips	—	—
Set Index Picture	—	—	—
Thumbnail View	Essence Mark Thumbnail	—	—
	Clip Thumbnail	—	—
Filter Clips	OK	—	—
	NG	—	—
	KEEP	—	—
	None	—	—
	All	—	—
Customize View	Thumbnail Caption	○	○

Media

細目1	細目2	All File	Scene File
Update Media	Media(A)	—	—
	Media(B)	—	—
Format Media	Media(A)	—	—
	Media(B)	—	—
	Utility SD/MS	—	—
USB	Select Folder	—	—
	View Clip List	—	—
	Rename Folder	—	—
	Error Check	○	×
	Format USB	—	—
	Copy to USB	—	—
	Media Remain	—	—
Clip Naming	Auto Naming	○	×
	Title Prefix	○	×
	Number Set	×	×
Planning Metadata	Load from Media(A)	—	—
	Load from Media(B)	—	—
	Properties	—	—
	Clear Memory	—	—
	Clip Name Display	○	×
	Sort by	○	×

File

細目1	細目2	All File	Scene File
User File	Load from Utility SD/MS	—	—
	Save to Utility SD/MS	—	—
	File ID	×	×
	Load Customize Data	○	×
	Load White Data	○	×
All File	Load from Utility SD/MS	—	—
	Load from Cloud(Private)	—	—
	Load from Cloud(Share)	—	—
	Save to Utility SD/MS	—	—
	Save to Cloud(Private)	—	—
	Save to Cloud(Share)	—	—
	File ID	○	×
Scene File	Load Network Data	×	×
	Recall Internal Memory	—	—
	Store Internal Memory	—	—
	Load from Utility SD/MS	—	—
	Save to Utility SD/MS	—	—
	File ID	×	○
Network Public Key	Scene White Data	○	×
	Key Export	—	—
	Key Clear	—	—
	Create Key Date	—	—

Network

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
Setup for Mobile App	Setup	—	—	—
Access Authentication	User Name	—	×	×
	Input Password	—	×	×
	Generate Password	—	×	×
	Show Settings	—	×	×
Wireless LAN	Setting	—	○	×
	WPS	—	—	—
	NFC	—	—	—
	MAC Address	—	—	—
AP Mode Settings	Channel	—	○	×
	Camera SSID & Password	—	—	—
	Regenerate Password	—	—	—
	IP Address	—	—	—
	Subnet Mask	—	—	—

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
ST Mode Settings	Camera Remote Control	—	○	×
	Connected Network	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
		Secondary DNS Server	○	×
	Scan Networks	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
		Secondary DNS Server	○	×
	Manual Register	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
Wired LAN	Setting	—	○	×
	Camera Remote Control	—	○	×
	Detail Settings	DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
		Secondary DNS Server	○	×

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
Modem	Setting	—	○	×
	Camera Remote Control	—	○	×
	Modem1 IP Address	—	—	—
	Modem1 Subnet Mask	—	—	—
	Modem2 IP Address	—	—	—
	Modem2 Subnet Mask	—	—	—
Network Client Mode	Setting	—	○	×
	NCM Settings Select	—	○	×
	NCM Settings1	Display Name	○	×
		CCM Address	○	×
		CCM Port	○	×
		User Name	×	×
		Password	×	×
		CCM Certificate	×	×
		CCM Certificate Status	×	×
		Camera Control	○	×
		Camera Setting	×	×
		Reset	—	—
	NCM Settings2	NCM Settings1に同じ		
	NCM Settings3	NCM Settings1に同じ		
File Transfer	Auto Upload	—	○	×
	Auto Upload (Proxy)	—	○	×
	Default Upload Server	—	○	×
	Clear Completed Jobs	—	—	—
	Clear All Jobs	—	—	—
	View Job List	—	—	—
	Server Settings(NCM)	Display Name	○	—
		Service	○	—
	Server Settings1	Display Name	○	×
		Service	○	×
		Host Name	○	×
		Port	○	×
		User Name	×	×
		Password	×	×
		Passive Mode	○	×
		Destination Directory	○	×
		Using Secure Protocol	○	×
		Root Certificate	×	×
		Root Certificate Status	×	×
		Reset	—	—
	Server Settings2	Server Settings 1に同じ		
	Server Settings3	Server Settings 1に同じ		

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
Streaming	Setting	—	×	×
	Destination Select	—	○	×
	Destination Settings1	Display Name	○	×
		Streaming Type	○	×
		Streaming Format	○	×
		Audio Channel	○	×
		Destination Address	○	×
		Destination Port	○	×
		Reset	—	—
	Destination Settings2	Destination Settings1に同じ		
	Destination Settings3	Destination Settings1に同じ		
RTMP/RTMPS	Setting	—	×	×
	RTMP Settings Select	—	○	×
	RTMP Settings1	Display Name	○	×
		Streaming Format	○	×
		Destination URL	×	×
		Stream Name	×	×
		RTMPS Certificate	—	—
		RTMPS Certificate Status	—	—
		Load from Utility SD/MS	—	—
		Reset	—	—
	RTMP Settings2	RTMP Settings1と同じ		
	RTMP Settings3	RTMP Settings1と同じ		
	Replace Default Certificates	—	—	—
	Reset Default Certificates	—	—	—
	Default Certificates Status	—	—	—
Network Reset	Reset	—	—	—

System

細目1	細目2	All File	Scene File
Base Setting	Shooting Mode	○	—
HDR Setting	Rec/Out	○	—
	LCD/VF SDR Preview	○	—
	SDR Gain	○	—
Rec Format	Frequency	○	×
	File System	○	×
	Codec	○	×
	Video Format	○	×
	Aspect Ratio (SD)	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Assignable Button	<1>	○	×
	<2>	○	×
	<3>	○	×
	<4>	○	×
	<5>	○	×
	<6>	○	×
	<7>	○	×
	<8>	○	×
	<9>	○	×
	<10>	○	×
Switch Hold Setting	FULL AUTO Button	○	×
Tally	Front	○	×
	Rear	○	×
Language	Select	○	×
Clock Set	Time Zone	○	×
	Date Mode	○	×
	12H/24H	○	×
	Date	—	—
	Time	—	—
Hours Meter	Hours(System)	—	—
	Hours(Reset)	—	—
	Reset	—	—
GPS	GPS	○	×
Battery Alarm	Low Battery	○	×
	Battery Empty	○	×
DC Voltage Alarm	DC Low Voltage1	○	×
	DC Low Voltage2	○	×
Menu Settings	Direct Menu with <SET>	○	×
	User Menu Only	○	×
	User Menu with Lock	×	×
Fan Control	Setting	○	×
All Reset	Reset	—	—
	Reset without Network	—	—
Version	Version Number	—	—
	Version Up	—	—

トラブル時の対処

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（23ページ）か、ACアダプターを使用してAC電源に接続する（24ページ）。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（23ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（23ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不充分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（23ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対策
録画ボタンを押しても記録が始まらない。	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（29ページ）。
音声記録できない。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（42ページ）。
記録した音声ひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（42ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（42ページ）。外部マイク選択時は、AudioメニューのAudio InputのINPUT MIC Referenceの設定値も調節する（123ページ）。

症状	原因	対策
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。 コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。 クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です（102ページ）。

ワイヤレスLAN使用時

ご注意

- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントまたは端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
端末機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスLANの接続(IPアドレスなど)を確認してください ● アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
Webリモコンが表示できない	IPアドレスを確認してください。

インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	3G/4Gの電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

NDフィルターダイヤルについて

NDフィルターが動かない場合は、次の作業により、手動でClearの位置に移動させることができます。

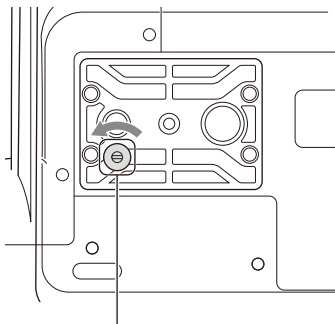
1. 本機の電源スイッチをSTANDBYにする。

2. 底面の丸いフタを外す。

3. ドライバーを穴に差し込んで左に回す。

左に回すことで、NDフィルターがCLEAR側に動きます。CLEARの位置になるまで回し続けてください。

φ2.4以下のマイナスドライバーを使用してください。ドライバー挿入部の深さは約3.2cmです。



ドライバー挿入部（フタを外した状態）

4. ND FILTERモード切り替えスイッチ（9ページ）をPRESETの位置にして、ND FILTERスイッチ（9ページ）をCLEARの位置にする。

ご注意

- 上記の作業は、通常の動作時には行わないでください。NDフィルターが動かなくなった場合のみに行ってください。通常の動作時に行うと、NDユニットが故障するおそれがあります。
- 上記の作業を行ったあと、サービスセンターで本機を修理してください。
- 上記の作業を行ってもエラーメッセージが出たままの場合がありますが、撮影は可能です。

エラー/警告/注意表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	断続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●Recと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをSTANDBYにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。) 本機の状態によっては、エラー表示や警告音が出ない場合があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます (段階2)。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。

液晶画面/ビューファインダー 警告表示	警告音	記録/タ リーラン プ	原因と対策
Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
Clips Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Clips Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
Last Clip Recording	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいSxSメモリーカードをご用意ください。
Media(A) ¹⁾ Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Last Clip Rec	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Transfer Jobs Near Full	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
Transfer Jobs Full	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 ²⁾

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

2) NetworkメニューのFile TransferのView Job List (143ページ) からジョブを選んで削除することができます。または、Content Browser Mobileのジョブリストからジョブを削除することができます。

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。

表示内容	原因と対策
Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media(A) ¹⁾ Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media(A) ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆ 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Copy All Sub Clips NG: Reached Clip Number Limit NG: Same File Already Exists NG: Not Enough Capacity	Copy All Sub Clipsの全コピーが、表示されている理由で完了しませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> 最大クリップ数になった 同名のファイルが存在する メディアの残量が足りない メディアを交換してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なAllファイルが呼び出されたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度Allファイルの保存を実行してください。
The specified address is invalid.	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Cannot Use Specified Port Number	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Accessing the memory card failed.	メモリーカードへのアクセスに失敗しました。 XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、UTILITY SD/MSスロットのメディアへのアクセスができないため、本エラーが出る可能性があります。記録終了後に再設定してください。
Failed.	DHCP Onでアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
Addition of auto upload job failed.	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Not found.	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Authentication Failed	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。

表示内容	原因と対策
An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.	ワイヤレスLANと有線LANかモデム/スマートフォン、またはモデム/スマートフォン同士のネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.	ワイヤレスLANアクセスポイントモードと有線LAN、またはモデム/スマートフォンのネットワークアドレスが衝突したため、ワイヤレスLANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 IPアドレスを確認してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

カメラの状態や各種設定が原因で操作が行えないときの対応

カメラの状態や各種設定により操作が行えないことがあります。

このような場合、以下のメッセージが液晶画面/ビューファインダー画面に3秒間表示されます。

メッセージを参照して問題を解決してください。

実行できない原因が特定できるケース

1行目に操作が実行できないことが示されます。

2行目、3行目に原因が表示されます。

例 1: ホワイトバランス A の設定が原因の場合

Cannot Proceed
White: A

例 2: 記録フォーマットの設定が原因の場合

Cannot Proceed
XAVC-I
1920x1080i 59.94

例 1: ホワイトバランス A の設定が原因と推測される場合

Cannot Proceed. Possible Factor
White: A

例 2: 記録フォーマットの設定が原因と推測される場合

Cannot Proceed. Possible Factor
XAVC-I
1920x1080i 59.94

実行できない原因を限定できないケース

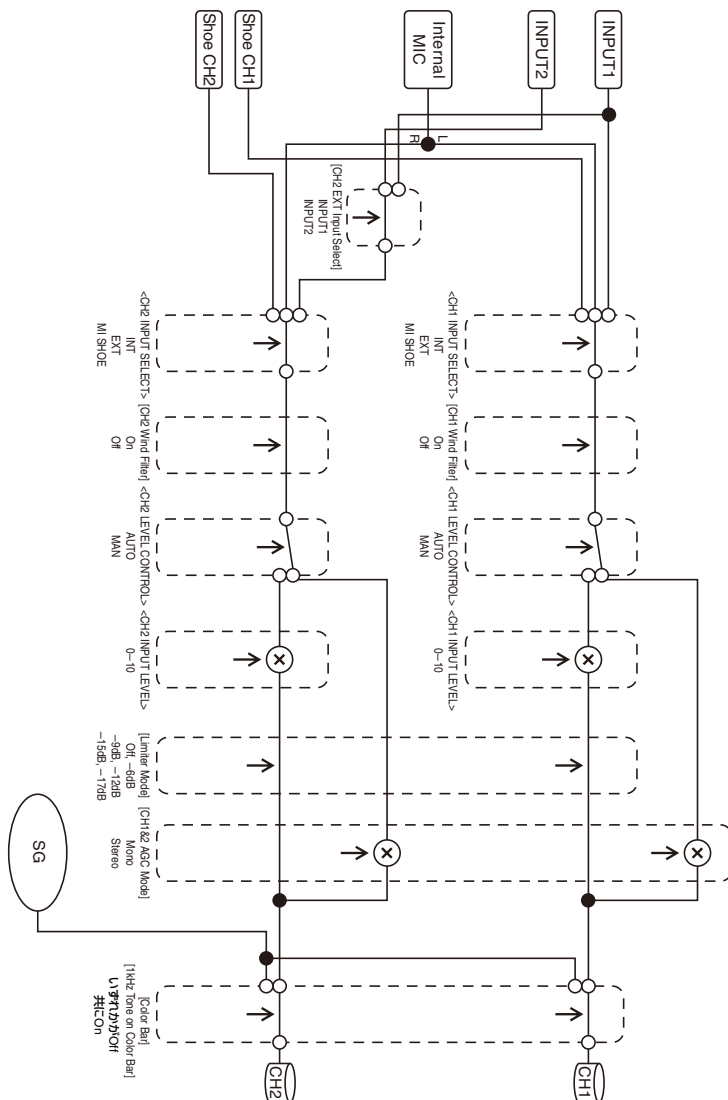
1行目に操作が実行できないことが表示されます。

2行目、3行目に可能性のある原因が表示されます。

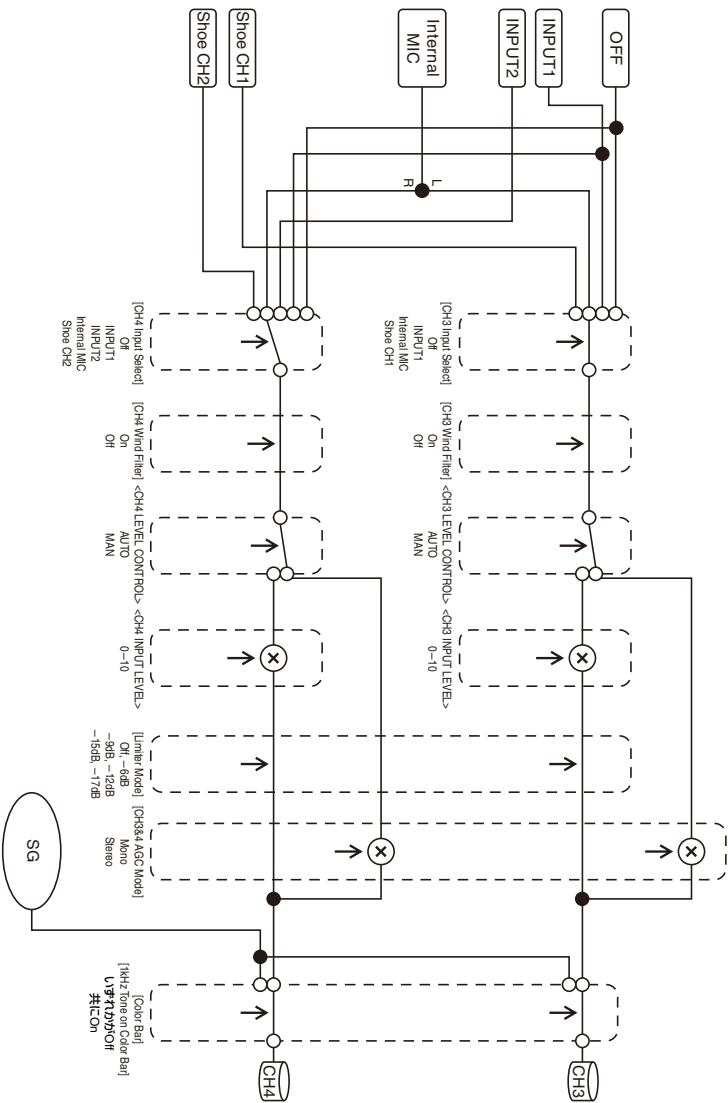
ブロックダイアグラム

「記録する音声を設定する」(42ページ)と「セットアップメニュー一覧」(111ページ)の関連項目をあわせてご覧ください。

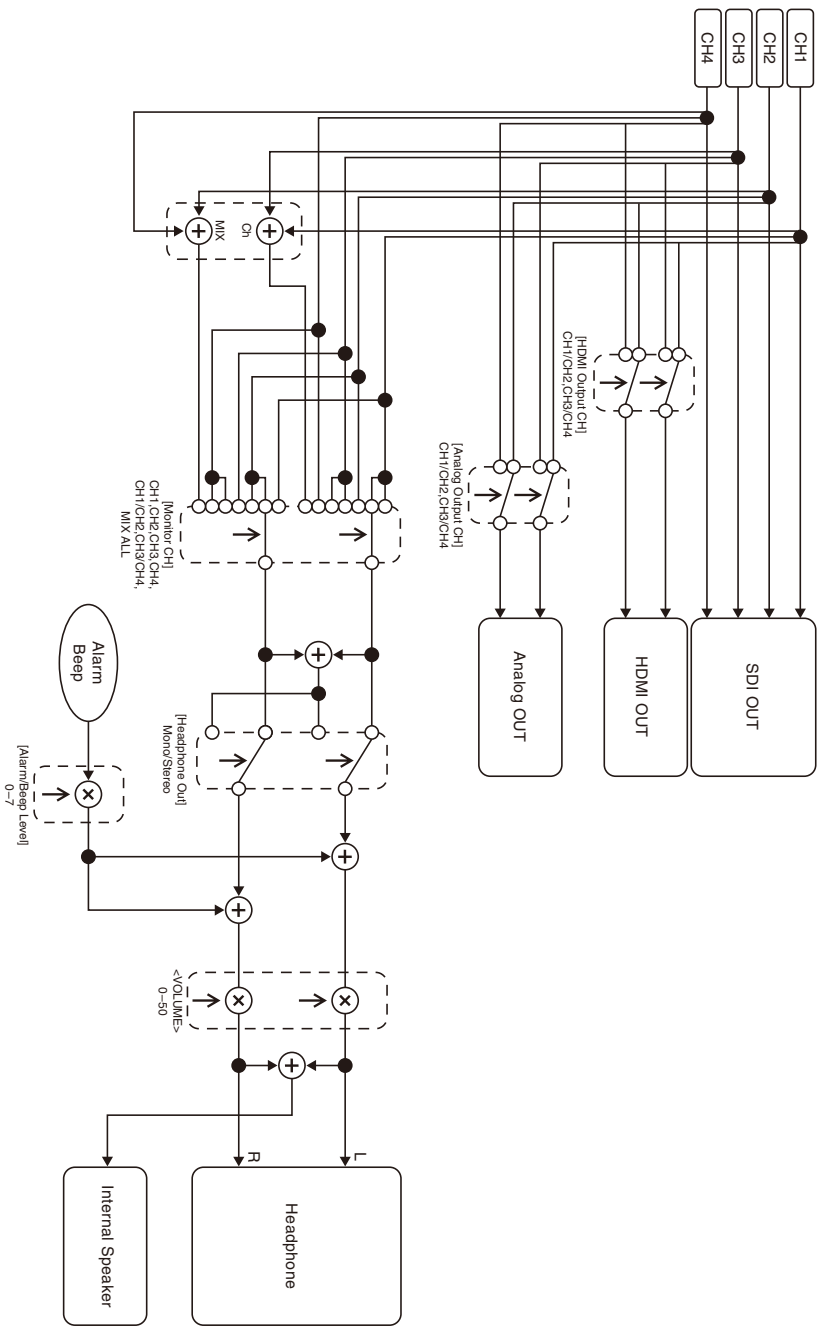
Audio Input (CH1&2)



Audio Input (CH3&4)



Audio Output



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

質量

約2.6 kg（本体のみ）
約3.0 kg（レンズフード、アイカップ、
バッテリーパックBP-U35、SxSメモ
リーカード各1装着時）

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

178.4 mm × 202.0 mm × 426.3 mm
最大外形寸法。奥行きはレンズフード
前面から大型アイカップまでの長さ。

電源電圧

DC 12 V（11 V ～ 16.5 V）

消費電力

約24W
記録時、液晶画面：Off、ビューファイン
ダー：On、外部機器接続なし
約36W
記録時、液晶画面：On、ビューファイン
ダー：On、HD SDI、HDMI、外部機
器接続端子を使用
約36W
USBメディアへのコピー時

動作温度

0℃～40℃

保存温度

-20℃～+60℃

連続動作時間

約1時間20分（バッテリーパックBP-U35使
用時）
（記録時、液晶画面：Off、ビューファイン
ダー：On、外部機器接続なし）

記録フォーマット (ビデオ)

XAVC Intra

XAVC-I QFHDモード：VBR、最大ビット
レート600Mbps、MPEG-4 AVC/
H.264

XAVC-I HDモード：CBG、最大ビットレ
ート222Mbps、MPEG-4 AVC/H.264

XAVC Long

XAVC-L QFHDモード：VBR、最大ビット
レート150Mbps、MPEG-4 H.264/
AVC

XAVC-L HD 50モード：VBR、最大ビット
レート50Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 35モード：VBR、最大ビット
レート35Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 25モード：VBR、最大ビット
レート25Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422モード：CBR、最大ビット
レート50Mbps、MPEG-2 422P@HL

MPEG HD420 HQモード：VBR、最大ビッ
トレート35Mbps、MPEG-2 MP@HL

DVCAM

CBR、25Mbps

Proxy

AVC/H.264 Main Profile 4:2:0 Long GOP、
VBR

1920x1080/9Mbps、1280x720/9Mbps、
1280x720/6Mbps、640x360/3Mbps、
480x270/1Mbps、480x270/500Kbps

記録フォーマット (オーディオ)

XAVC Intra

XAVC-I モード：LPCM 24ビット、48kHz、
4チャンネル

XAVC Long

XAVC-Lモード：LPCM 24ビット、48kHz、
4チャンネル

MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422 モード：LPCM 24ビット、
48kHz、4チャンネル

MPEG HD420 HQ モード：LPCM 16ビッ
ト、48kHz、4チャンネル

DVCAM

LPCM 16ビット、48kHz、4チャンネル

Proxy

AAC-LC、128 kbps、2チャンネル

記録フレームレート

XAVC Intra

XAVC-I QFHDモード：3840x2160/
59.94P、50P、29.97P、23.98P、
25P

XAVC-I HDモード：1920x1080/59.94P、
59.94i、50P、50i、29.97P、
23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC Long

XAVC-L QFHDモード：3840x2160/
59.94P、50P、29.97P、23.98P、
25P

XAVC-L HD 50モード：1920x1080/
59.94P、50P、59.94i、50i、
29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC-L HD 35モード：1920x1080/
59.94P、50P、59.94i、50i、
29.97P、23.98P、25P

XAVC-L HD 25モード：1920x1080/
59.94i、50i

MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422 モード：1920x1080/59.94i、
50i、29.97P、23.98P、25P
1280x720/59.94P、50P、29.97P、
23.98P、25P

MPEG HD420 HQ モード：1920x1080/
59.94i、50i、29.97P、23.98P、
25P

1440x1080/59.94i、50i

1280x720/59.94P、50P

DVCAM

720x480/59.94i、29.97PsF
720x576/50i、25PsF

記録・再生時間

XAVC Intra

XAVC-I QFHDモード

約22分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-I HD（1920x1080）モード

約57分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-I HD（1280x720）モード

約105分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC Long

XAVC-L QFHDモード

約86分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L HD 50モード

約230分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L HD 35モード

約310分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L 25モード

約420分：SBP-128B（128GB）使用時

MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422 モード

約215分：SBP-128B（128GB）使用時

MPEG HD420 HQ モード

約330分：SBP-128B（128GB）使用時

DVCAM

約405分：SBP-128B（128GB）使用時

4K & HD (Sub) 記録

XAVC-I QFHDモード

約20分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L QFHDモード

約62分：SBP-128B（128GB）使用時

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

レンズ

レンズマウント

固定式

ズーム比

17倍

焦点距離

5.6 mm ～ 95.2 mm

(35 mm換算 30.3 mm ～ 515 mm)

フォーカス範囲

AF/MF/Full MF切り替え可能

800 mm ～ ∞ (マクロOFF)

50 mm ～ ∞ (マクロON、広角端)

800 mm ～ ∞ (マクロON、望遠端)

絞り

自動/手動切り替え可能

F1.9 ～ F16およびC (クローズ)

手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

フィルター径

φ77 mm、ピッチ0.75 mm

マクロ

ON/OFF可能

カメラ部

撮像素子

1/2型 ExmorR 3CMOSセンサー

有効画素数

3840 (H) × 2160 (V)

分光系

F1.6 プリズムシステム

内蔵フィルター

NDフィルター

CLEAR: クリア

1: 1/4ND

2: 1/16ND

3: 1/64ND

リア可変ND（1/4ND～1/128ND相当）

感度（2000ルクス、89.9%反射）

F12（標準、1920x1080/59.94pモード）

F13（標準、1920x1080/50pモード）

F12（標準、3840x2160/59.94p、高感度モード）

F13（標準、3840x2160/50p、高感度モード）

最低被写体照度

0.0013 lx（標準、1920x1080/59.94i）

(F1.9、+42dB、高感度モード、64フ
レーム蓄積)

SN比

63 dB (Y) (標準)

水平解像度
2000 TV本以上（3840x2160pモード） 1000 TV本以上（1920x1080Pモード）
シャッタースピード
64F ～ 1/8000秒
スロー&クイックモーション
XAVC Intra、XAVC Long 2160P：1～60フレーム 1080P：1～60、100、120フレーム 720P：1～60フレーム
MPEG HD422 1080P：1～30フレーム 720P：1～60フレーム
MPEG HD420 HQ 1080P：1～30フレーム 720P：1～60フレーム
ホワイトバランス
プリセットモード（3200K）、 メモリー Aモード、メモリー Bモード/ ATWモード
ゲイン
-3、0、3、6、9、12、15、18 dB、42dB （Turbo Gain ON）、AGC
ガンマカーブ
切り替え可能

ワイヤレスLAN

対応規格
IEEE 802.11a/b/g/n/ac
使用周波数帯
2.4GHz帯 5.2/5.3/5.6GHz帯
セキュリティ
WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

入出力

オーディオ入力
XLR型3ピン（2）、凹型、LINE/MIC/ MIC+48V切り替え可能 LINE：+4dBu/0dBu/-3dBu（EBUL）/ 10 kΩ MIC：-80dBu ～ -30dBu / 3 kΩ （基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms）
オーディオ出力
マルチ/マイクロUSB

ビデオ出力
BNC型（1）、GENLOCK IN端子と切り替え 可能、HD-Y/HD-SYNC/コンポジット 信号 1.0 Vp-p、75 Ω
SDI出力
BNC型（1）、12G/3G/HD/SD切り替え可能
タイムコード入力
BNC型（1）、TC OUT端子と切り替え可能 0.5 V ～ 18 Vp-p、3.3 kΩ
タイムコード出力
BNC型（1）、TC IN端子と切り替え可能 1.0 Vp-p、75 Ω
GENLOCK入力
BNC型（1）、VIDEO OUT端子と切り替え可 能 1.0 Vp-p、75 Ω
USB端子
マルチ/マイクロUSB（1） ホスト：USB 3.0/2.0 type A（1）、USB 2.0 type A（1）
ヘッドホン出力
ステレオミニジャック（1） -16dBu 16 Ω
スピーカー出力
モノラル 出力：500 mW
DC入力
DC ジャック
HDMI出力
HDMIコネクター（Type A）
リモート端子
ステレオミニミニジャック（φ2.5 mm）
有線LAN端子
RJ-45（1）、1000BASE-T、100BASE-T、 10BASE-T

表示部

ビューファインダー
画面サイズ：1.3 cm（0.5型） 有効画素数：約236万ドット
液晶画面
画面サイズ：8.8 cm（3.5型） 有効画素数：約156万ドット

内蔵マイク

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサーマイク

メディアスロット部

タイプ

ExpressCard/34 (2)、SD/MS (1)

付属品

USBケーブル (1)
レンズフード (1)
大型アイカップ (1)
ショルダーストラップ (1)
ご使用になる前に (1)
保証書 (1)

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：

日本 <https://www.sony.jp/professional/>

日本以外の国 <https://pro.sony/> (ページ下部の「Change Country & Language」で地域と言語を選択できます)

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

- Explorer (Windows環境) や Finder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- XQD、および **XQD** はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他における登録商標または商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です。
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致

したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといひます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

GPL/LGPL 適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっていきます。

<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

あ行

アイリスリング	38
アサインابلボタン	48
インカム通話	80
液晶画面	13
エラー表示	186
音声	37
オートホワイトバランス	41

か行

海外で使う	157
外部モニター	99
顔検出 AF	14, 45
クリップ	35, 92, 93, 102
クリップ名	35
警告表示	186
ゲイン	39
結露	158
広角	35
コンセント	24

さ行

サムネイル画面	91
自動追尾ホワイトバランス	40
出力信号	164
ショルダーストラップ	11
ズーム	35
ズームリング	36
ズームレバー	35
セットアップメニュー	105, 107, 111, 153

た行

タイムコード	44
タイムデータ	44
チャージャー	23
注意・動作確認表示	187
手ぶれ補正	44
時計	25

な行

内蔵充電式電池	159
ノンリニア編集	102

は行

バッテリーバック	23
ハンドルズーム	35
ハンドルズームスイッチ	35
ハンドルズームレバー	35
日付 / 時刻	25
ビデオフォーマット	164
ビューファインダー	13
視度調整つまみ	26
ピント拡大	37
フォーカスリング	36
フォーマット（初期化）	28, 30, 31
プランニングメタデータ	58
プリセットモード	40
ヘッドホン端子	37
望遠	35
ホワイトバランス	40

ま行

メディアアダプター	30
メモリー A モード	40
メモリー B モード	40
モニター音量	37

や行

ユーザービット	44
---------------	----

ら行

レンズ	159
レンズカバー付きフード	25
録画ボタン	34

A

AC アダプター	24
All File	137, 153
All Reset	152
Aperture	121
Assignable Button	48, 149
ATW	40
Audio Input	123
AUDIO INPUT1 端子	42
AUDIO INPUT2 端子	42
Audio Output	124
Audio メニュー	123
Auto Black Balance	115

Auto Exposure	113
---------------------	-----

B

Battery Alarm	151
Black	117
Black Gamma	118

C

Camera メニュー	112
Change Thumbnail View	133
Clip	135
Clip Continuous Rec	130
Clock Set	151
Color Bars	114
Customize View	133

D

Delete Clip	132
Detail (HD mode)	120
Detail (SD Mode)	121
Display Clip Properties	94, 132
Display On/Off	127
Down Converter	125

F

Face Detection AF	14, 45
File メニュー	137
Filter Clips	133
Flicker Reduce	114
FOCUS スイッチ	36
Format Media	133
Full MF モード	36

G

Gain	112
GAIN スイッチ	39
Gamma	118
GENLOCK/VIDEO 端子	99, 167
GPS	151

H

Handle Zoom	115
HDMI OUT 端子	99, 165
HDMI TC Out	129
Hours Meter	151

I

INPUT1 スイッチ	42
INPUT2 スイッチ	42
IRIS スイッチ	38

K

Knee	119
------------	-----

L

Language	150
LCD Setting	125
LCD/VF メニュー	125
Lock / Unlock Clip	132

M

Maintenance	122
Marker	126
Matrix	122
MEAD-SD02	31
Media Full	29
Media Near Full	29
Media メニュー	133
MENU ボタン	107
Multi Matrix	122

N

ND Filter	112
ND フィルター	39
Network メニュー	138

O

Output Display	124
Output Format	124
Output On/Off	124

P

Paint メニュー	116
Peaking	125
Planning Metadata	136
Proxy Recording Mode	131
PUSH (レンズフード取り外し) ボタン	25

R

Rec Format	146
------------------	-----

Recording メニュー	129
RTMP/RTMPS ストリーミング	82

S

Scene File	137, 153
SD カード	31
SDI OUT 端子	99, 164
SEL/SET ダイアル	107
Set Clip Flag	132
Set Index Picture	132
Set Shot Mark	132
Shutter	113
Simul Rec	130
Skin Detail	121
SLOT SELECT ボタン	28
SxS メモリーカード	27
System メニュー	145
S&Q Motion	129

T

TC/UB メニュー	129
Thumbnail メニュー	132
Time Zone	25
Timecode	129

U

Update Media	133
USB ケーブル	102
User File	137, 153
User メニュー	111
Users Bit	129
UTC	25

V

Version	152
VF Setting	125
Video Light Set	115
Video メニュー	124
VOLUME ボタン	37

W

WB SET ボタン	40
Web リモコン	85
White	116
White Clip	119
White Switch	117

WHT BAL スイッチ	41
--------------------	----

X

XQD メモリーカード	30
-------------------	----

Z

Zebra	127
-------------	-----